

令和3年度  
沖縄県M I C E開催実態調査事業  
報告書  
(概要版)

令和4年3月  
沖縄県



## 目次

1. 開催実態調査・新型コロナウイルス感染症影響調査	1
1-1. 調査目的	1
1-2. 本年度調査について	1
(1) 調査対象期間	1
(2) 調査対象催事	1
(3) 調査対象施設等	1
(4) 調査・集計方法	1
1-3. 過去5年の調査対象件数と回答件数	2
1-4. 令和3年調査対象区分と回答内容	2
1-5. MICE 開催実態調査	3
1-5-1. 調査結果概要（全体の開催件数）	3
1-5-2. 規模別開催実態	5
(1) 規模別開催件数	5
(2) 参加者数1,000人以上の開催件数	9
(3) 海外及び県外参加者300人以上の開催件数	11
1-5-3. 月別開催実態	13
(1) 月別開催件数	13
(2) 月別参加者数	16
(3) 月別1件当たり平均参加者数	18
1-5-4. 参加者区分から見た開催実態	21
(1) 参加者の地域分布	21
(2) 海外からの参加があった開催件数	23
1-5-5. 様々な区分から見た開催実態	24
(1) 産業別開催件数・参加者数	24
(2) 主催企業の所在地・出発地	31
(3) エリア別・市町村別開催件数	33
(4) エリア別・市町村別参加者数	39
(5) 施設別開催件数	42
1-6. 新型コロナウイルス感染症 MICE 影響調査	44
1-6-1. 調査結果概要（全体の中止件数）	44
(1) 規模別開催・中止件数	46
1-6-2. 参加区分から見た実態	47
(1) 中止案件における参加予定者の地域分布	47
(2) エリア別・市町村別中止件数	48
(3) エリア別・市町村別参加予定者数（中止案件）	51
1-6-3. 様々な区分から見た実態	54
(1) 産業別中止件数	54
1-7. 経済波及効果の結果	61
1-7-1. 経済効果（直接効果）	61
1-7-2. 経済波及効果（間接効果）	63
1-8. 経済損失（直接効果）について	64
2. 参考資料	65
2-1. 開催実態調査 調査票	65
2-2. ガイドライン	66



## 1. 開催実態調査・新型コロナウイルス感染症影響調査

### 1-1. 調査目的

本事業は、今後の本県における MICE 施策推進の指針となる基礎資料とするため、本県における MICE 開催の実態、並びに、新型コロナウイルス感染症の流行による本県の MICE 開催への影響について把握することを目的とする。

### 1-2. 本年度調査について

#### (1) 調査対象期間

令和3年1月1日～令和3年12月31日（1年分）

#### (2) 調査対象催事

以下に該当する MICE 催事で、かつ、県外または海外からの参加者が 10 人以上の催事を対象とする。

- ① 企業等の行う会議（Meeting）
- ② 企業等の行う報奨・招待・研修旅行（Incentive Travel）
- ③ 国際機関・団体や学会等が行う国内・国際会議（Convention）
- ④ 展示会・見本市・商談会（Exhibition）
- ⑤ その他ビジネスイベント（Event）等

※前年度調査までは「Exhibition, Event」をまとめて集計していたが、本年度調査から「Exhibition」と「Event」とに細分化して集計する方法に変更した。ただし、過年度調査との比較にかかる一部図表については、従前通り「Exhibition, Event」とまとめた形式で表記している。

#### (3) 調査対象施設等

- ① 会議施設
- ② 宿泊施設（主に宿泊人数 150 人以上の宿泊施設）
- ③ 県内大学
- ④ 団体受入を実施している観光施設等
- ⑤ その他、MICE 受入実績を有する旅行会社・PCO・施設・団体等

#### (4) 調査・集計方法

調査は所定の調査票（参考資料 2-1）を郵便または電子メールにて調査対象となる施設等に送付する方法により実施した。なお、データ集計に際しては、以下の内容について精査した上で集計を行った。

- ① 各事業所から回答があった開催案件の中で、催事名及び開催期間が重複した場合、同一催事とみなし統合
- ② 中止案件において、催事名が重複していたものは、開催期間の重複がない場合であっても、当該催事がいったん延期され、その後に中止になったものである可能性が高いため、これを同一催事とみなし統合
- ③ 「沖縄県 MICE 開催実態調査ガイドライン」（県外・海外からの参加者が 10 人以上の催事）に該当する実績を集計（ガイドラインに定める調査対象催事に該当しない催事は除外）

※小数点以下の数値は四捨五入表記とする。

### 1-3. 過去5年の調査対象件数と回答件数

調査対象件数および回答件数は下表のとおりである。

図表1. 調査対象件数及び回答件数 【平成29年～令和3年】

(単位:件)

	平成29年	平成30年	平成31 (令和元)年	令和2年	令和3年
調査対象件数	475	452	520	547	506
回答件数	360	319	386	429	384
うち受入有	99	117	118	148	100
受入無	253	199	268	249	284
不明	8	3	0	0	0
回答率	76%	71%	74%	78%	76%

### 1-4. 令和3年調査対象区分と回答内容

今年度調査の対象区分と回答件数等は下表のとおりである。

図表2. 調査対象区分別・回収件数

(単位:件)

団体・施設・期間	送付 件数	回答(MICE受入の確認)			未回答	回答率
		受入有	受入無	合計		
会議施設	79	19	47	66	13	84%
ホテル	203	46	88	134	69	66%
ユニークベニュー	19	5	7	12	7	63%
旅行会社	30	2	13	15	15	50%
体験プログラム	22	1	18	19	3	86%
視察・見学	21	1	18	19	2	90%
官公庁・外郭団体	102	17	78	95	7	93%
産業団体その他	20	4	12	16	4	80%
PCO	10	5	3	8	2	80%
合計	506	100	284	384	122	76%

## 1-5. MICE 開催実態調査

### 1-5-1. 調査結果概要（全体の開催件数）

沖縄県における MICE 開催件数は平成 31(令和元)年まで年々増加傾向にあったが、令和 2 年および令和 3 年においては大幅な減少が確認された。これは、新型コロナウイルス感染症流行拡大に伴う集会開催の自粛や開催規模の制限、海外から日本への外国人新規入国制限措置等による人流の減少が大きく影響したものと考えられる。なかでも、令和 3 年 1 月 7 日に日本政府は 4 都県に緊急事態宣言の発令を行い、沖縄県もまた令和 3 年 5 月 23 日から同宣言の発令を受け、9 月 30 日までの約 4 か月間は同宣言下における集会開催の自粛や開催規模の制限等を余儀なくされた。後述に整理するが、緊急事態宣言が発令されていた 5 月～9 月においては、MICE 催事の開催が少なく、施設管理者や主催者が慎重に判断された結果と考えられる。

令和 3 年の開催件数は計 273 件となっており、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の平成 31(令和元)年に比べて大幅減(同年比約 17%)となった。また、令和 3 年と同様に新型コロナウイルス感染症の影響を多大に受けた令和 2 年と比較すると、開催件数合計 217 件減(前年比 56%)と約半数まで減少していることが確認された。ただし、令和 2 年においては、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前であった同年 1 月および 2 月に多数の MICE 催事が開催されていたことに留意されたい。

全体の催事別(M/I/C/E)の構成は、過去の傾向と同様「Incentive Travel」の割合が大きく、148 件で構成比(54%)となっている。続いて「Meeting」が 51 件(同 19%)、「Convention」が 36 件(同 13%)である。年間の数値としてはどの催事においても大幅に減少しているが、3 月から 12 月で比較すると、令和 2 年は 177 件、令和 3 年は 253 件と微増の傾向が見られる。

令和 3 年に開催された催事の 60%が、政府による緊急事態宣言が解除された 10 月から 12 月において実施されている。ただし、これらの案件に関しては、小規模での開催が多く、感染リスクの回避がなされたことがうかがえる。

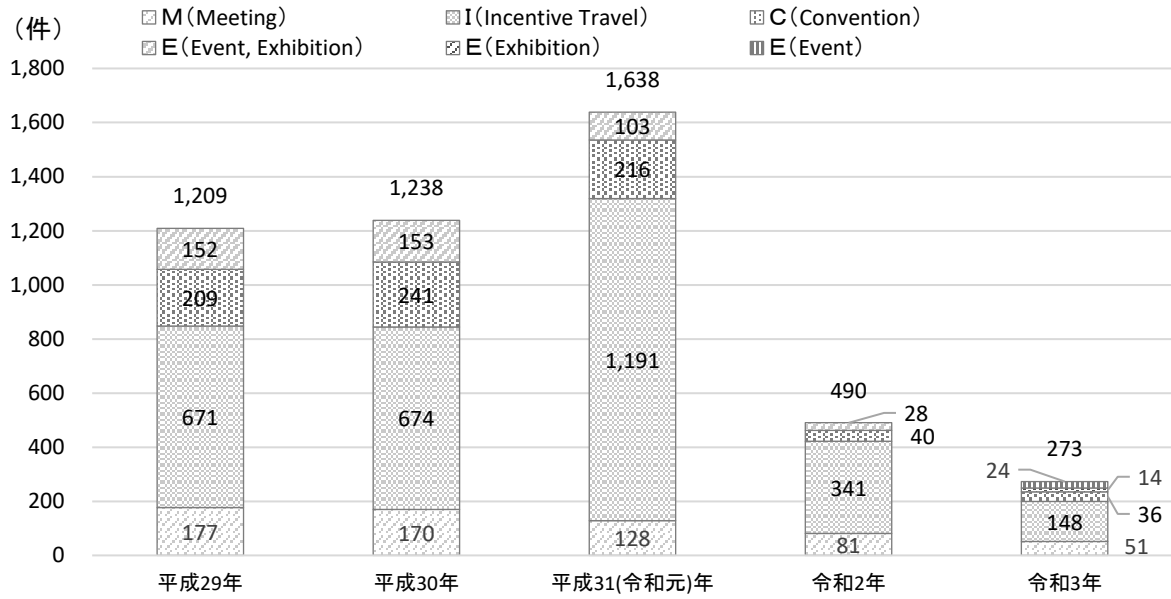
開催規模や時系列ごとの影響分析については各項において記述する。

図表3. 年別開催件数 【平成 29 年～令和 3 年】

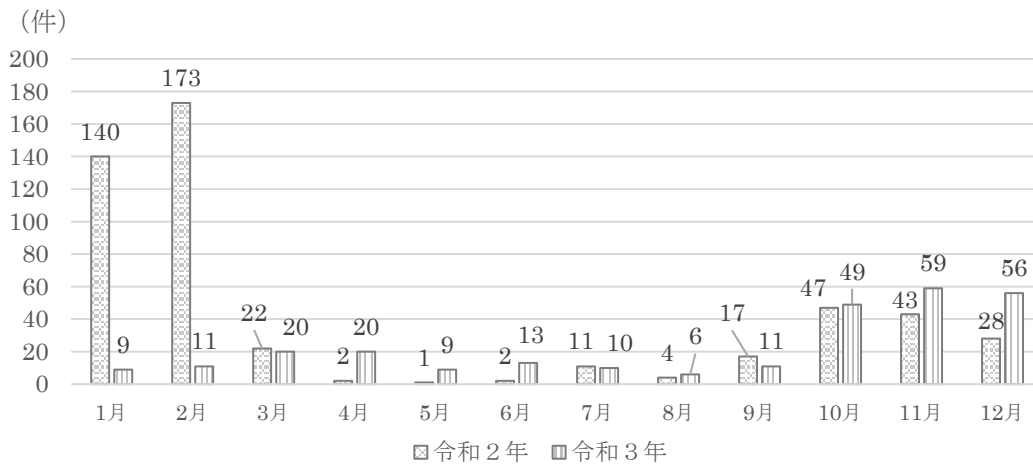
(単位:件)

	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 (令和元)年	令和 2 年	令和 3 年		
	件数	件数	件数	件数	件数(割合)	増減数	前年比
M(Meeting)	177	170	128	81	51 (19%)	▲30	63%
I(Incentive Travel)	671	674	1,191	341	148 (54%)	▲193	43%
C(Convention)	209	241	216	40	36 (13%)	▲4	90%
E(Exhibition, Event)	152	153	103	28	38 (14%)	10	136%
E(Exhibition)	-	-	-	-	14 (5%)	-	-
E(Event)	-	-	-	-	24 (9%)	-	-
合計	1,209	1,238	1,638	490	273 100%	▲217	56%

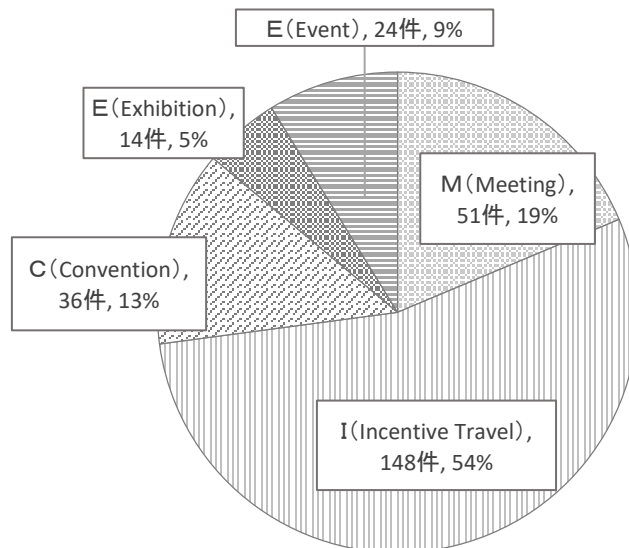
図表4. 開催件数の推移【平成29年～令和3年】



図表5. 令和2年および令和3年 月別開催件数の推移



図表6. 令和3年 催事別開催件数の割合





## 1-5-2. 規模別開催実態

### (1) 規模別開催件数

規模別にみると、100人未満の小規模催事(10～49人：167件、50～99人：40件)が全体の76%を占めており、1,000人未満の中規模催事(100～299人：44件、300～999人：16件)22%、1,000人以上の大規模催事(6件)が2%となっている。令和2年と比較すると、100人未満の小規模催事は200件減(前年比51%)、1,000人未満の中規模催事は12件減(前年比83%)、1,000人以上の大規模催事は5件減(前年比55%)で、小規模催事の減少件数・率が大きい。ただ、前述の通り、令和2年の1月・2月は新型コロナウイルス感染症流行の影響をほぼ受けていなかった点に留意されたい。

1月・2月のみの実績を比較すると、100人未満の小規模催事は令和2年が258件に対して令和3年が18件(前年比7%)、1,000人未満の中規模催事は令和2年が47件に対して令和3年が2件(前年比4%)、1,000人以上の大規模催事は令和2年が8件に対して令和3年が0件(前年比0%)であり、規模の大小を問わず大幅な減少となっている。これに対し、ともに新型コロナウイルス感染症流行の影響を受けた3月以降の実績を比較すると、100人未満の小規模催事は令和2年が149件に対して令和3年が189件(前年比127%)、1,000人未満の中規模催事は令和2年が25件に対して令和3年が58件(前年比123%)、1,000人以上の大規模催事は令和2年が3件に対して令和3年が6件(前年比75%)であり、小規模から大規模催事すべてが令和2年を上回っている。沖縄県内での新型コロナウイルスワクチン接種が令和3年3月5日に医療従事者から開始され、令和3年4月12日からは高齢者への接種を皮切りに、順次一般の方への接種が開始された。来沖された渡航者を対象に那覇空港内でPCR検査が令和3年2月3日から開始されたことによって、沖縄県への移動に対する心理的ハードルが下がったこと、また会議施設・宿泊施設等における感染症対策の整備が進んだことにより、小規模催事から先行して増加傾向に転じたものと考えられる。

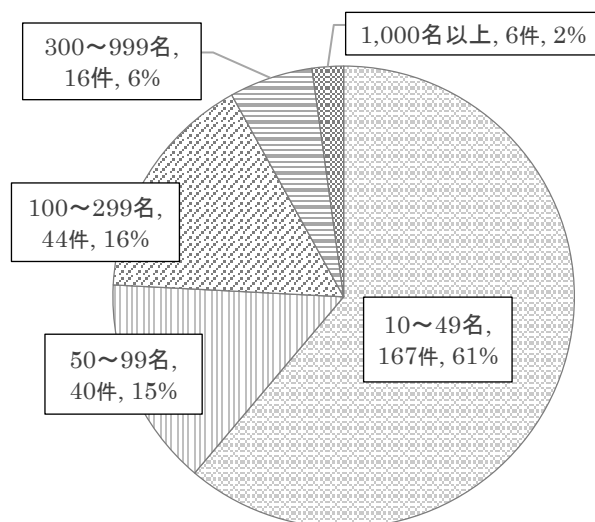
1,000人以上の催事については6件中4件が緊急事態宣言解除後の10月～12月に実施されており、緊急事態宣言の発令が大規模催事開催に係る主催者判断へ与えた影響の大きさが窺える。

月別の数値については後の項において詳しく記述する。

図表7. 令和3年 規模別開催件数

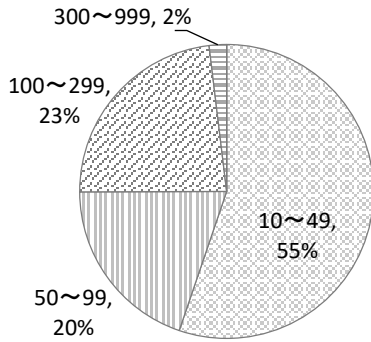
参加者数 (人)	10～49		50～99		100～299		300～999		1,000～		不明		計 件数 (前年比)
	件数 (前年比)	構成比	件数 (前年比)	構成比	件数 (前年比)	構成比	件数 (前年比)	構成比	件数 (前年比)	構成比	件数 (前年比)	構成比	
M	28 (▲26)	55%	10 (▲6)	20%	12 (2)	23%	1 (1)	2%	0 (▲1)	0%	0 (0)	0%	51 (▲30)
I	117 (▲135)	79%	16 (▲31)	11%	11 (▲23)	7%	4 (▲3)	3%	0 (▲1)	0%	0 (0)	0%	148 (▲193)
C	12 (▲8)	34%	6 (▲2)	17%	10 (5)	28%	8 (3)	22%	0 (▲2)	0%	0 (0)	0%	36 (▲4)
Ex	2 -	14%	1 -	7%	7 -	50%	2 -	15%	2 -	14%	0 -	0%	14 -
Ev	8 -	33%	7 -	29%	4 -	17%	1 -	5%	4 -	17%	0 -	0%	24 -
計	167 (▲166)	61%	40 (▲34)	15%	44 (▲15)	16%	16 (3)	6%	6 (▲5)	2%	0 (0)	0%	273 (▲217)

図表8. 令和3年 規模別開催件数

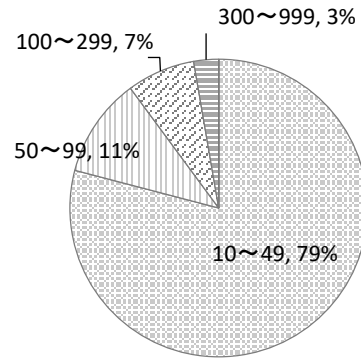


分野別構成比

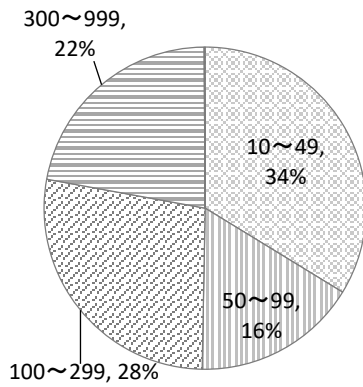
Meeting



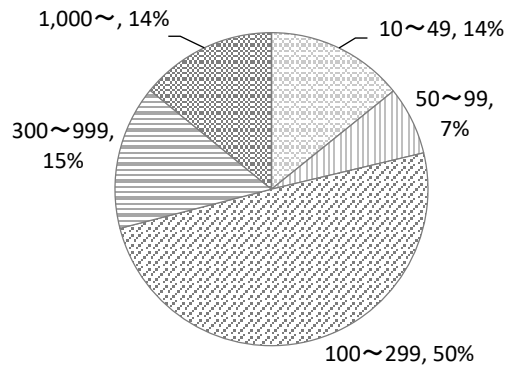
Incentive Travel



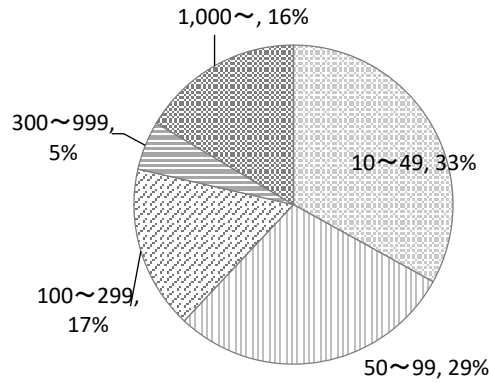
Convention



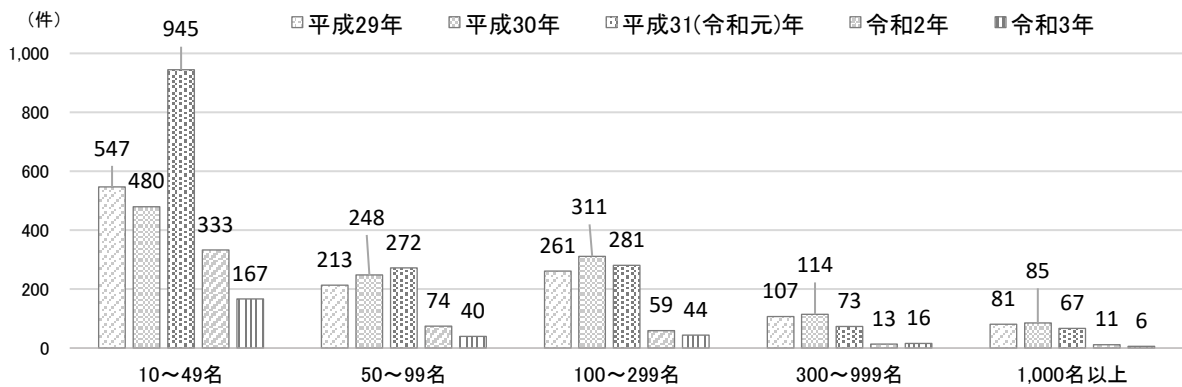
Exhibition



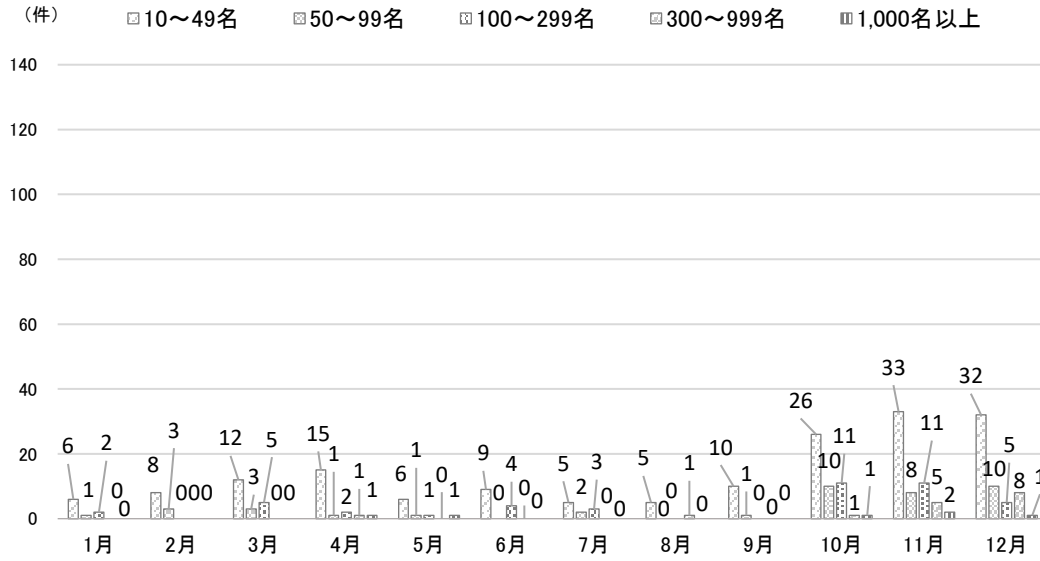
Event



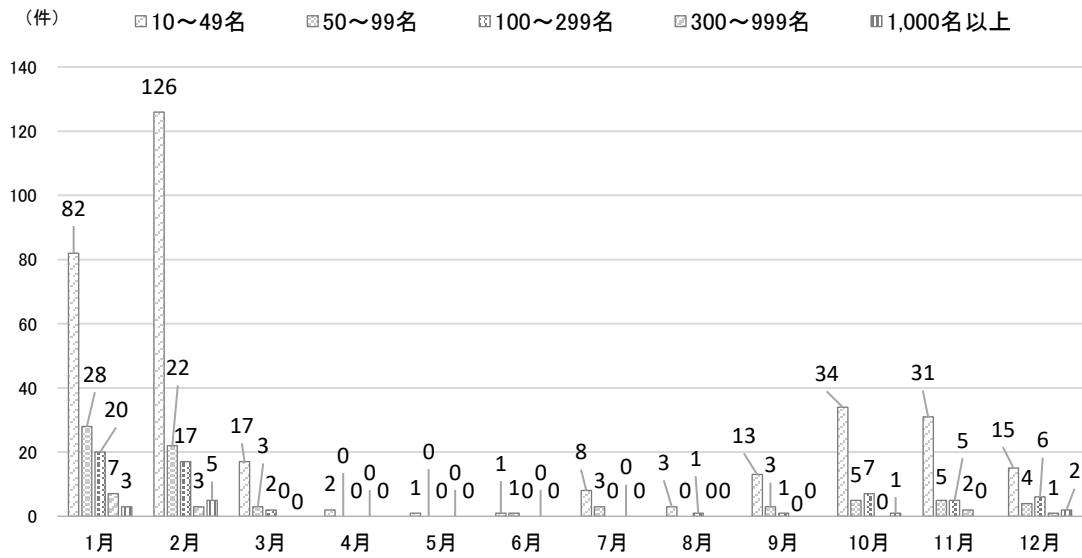
図表9. 規模別開催件数の推移【平成29年～令和3年】



図表10. 令和3年 規模別開催件数の月別推移



図表11. 令和2年 規模別開催件数の月別推移



## (2) 参加者数 1,000 人以上の開催件数

参加者 1,000 人以上の大規模催事は、令和 2 年から 5 件減少して 6 件（前年比 55%）となっている。令和 3 年は「Meeting」「Incentive Travel」「Convention」の開催はなく、「Exhibition」「Event」のみ開催されている。「Meeting」「Incentive Travel」「Convention」については、施設等へのヒアリングにおいて、新型コロナウイルス感染症拡大の状況下で MICE を開催した場合のクラスター発生などによる企業イメージの毀損や企業活動への影響等を懸念して開催を見送った主催者も多くあった旨の回答が複数寄せられている。

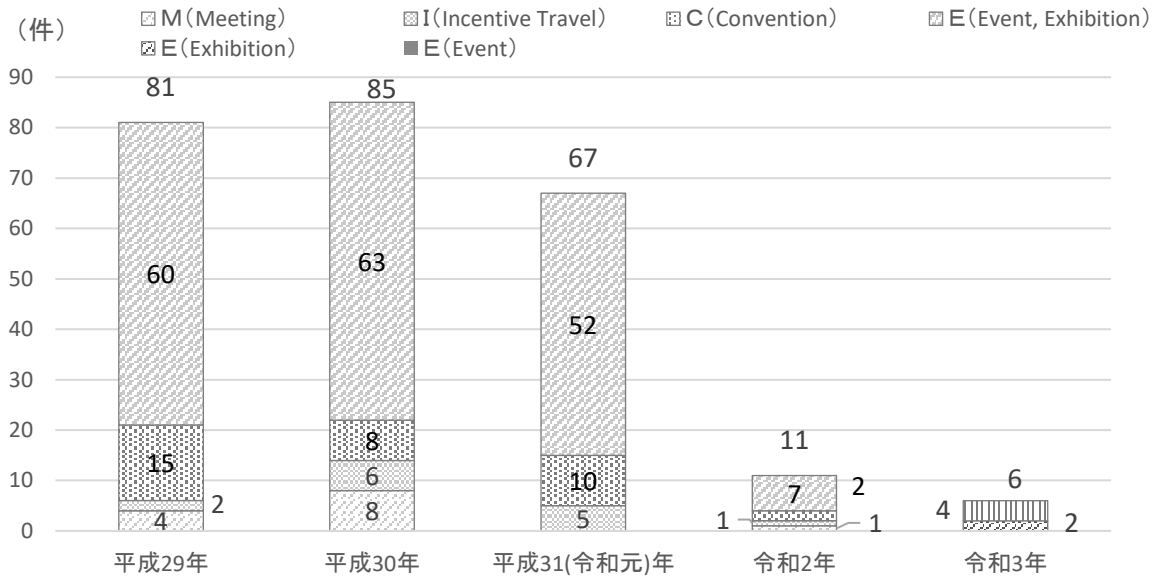
一方、「Exhibition」「Event」については、主催者にとっての収益事業であることが多く、開催中止の選択はできるだけ避けたいという主催者心理があったこと、また政府や業界団体によりイベント開催ガイドライン等が策定され、かつその周知が図られた結果、当該ガイドライン等に準拠することによって安全・安心な開催ができるとの判断がなされ、開催に至ったものと考えられる。

図表12. 参加者数 1,000 人以上の開催件数の推移（県内・外参加者含む）  
【平成 29 年～令和 3 年】

（単位：件）

	平成 29 年		平成 30 年		平成 31 (令和元)年		令和 2 年		令和 3 年	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
M(Meeting)	4	5%	8	9%	0	0%	1	9%	0	0%
I(Incentive Travel)	2	2%	6	7%	5	7%	1	9%	0	0%
C(Convention)	15	19%	8	9%	10	15%	2	18%	0	0%
E(Exhibition, Event)	60	74%	63	74%	52	78%	7	64%	6	100%
E(Exhibition)	-	-	-	-	-	-	-	-	2	33%
E(Event)	-	-	-	-	-	-	-	-	4	67%
合計	81		85		67		11		6	

図表13. 参加者数1,000人以上の開催件数の推移【平成29年～令和3年】



### (3) 海外及び県外参加者 300 人以上の開催件数

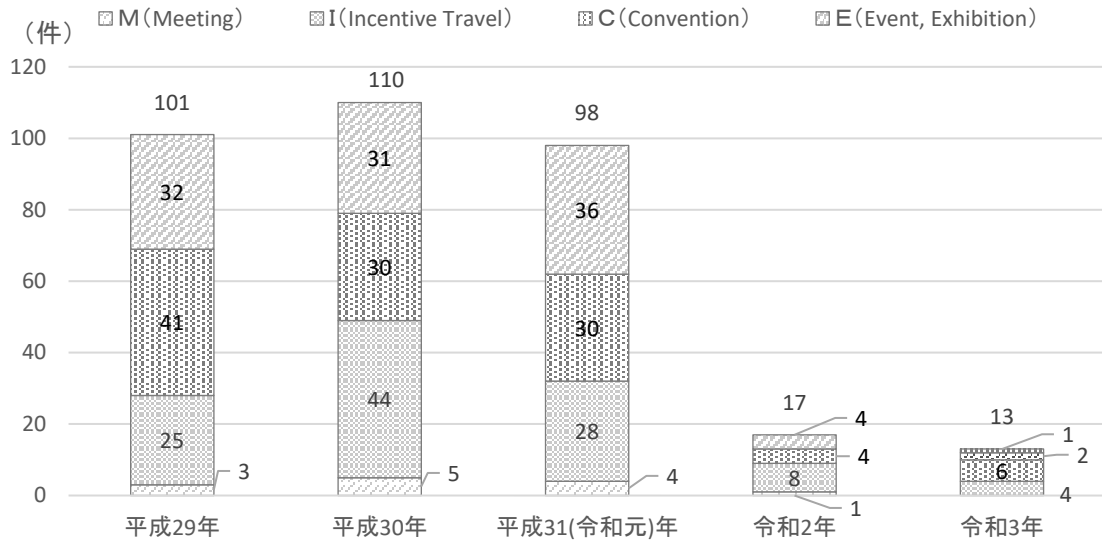
令和 2 年 3 月以降、政府による外国人新規入国制限に伴う沖縄発着の海外航空路線等の運休が継続していることが原因で海外参加者の催事は 0 件であった。また、県外参加者が合計 300 人以上の催事は 13 件で、新型コロナウイルス感染症流行拡大の影響を受ける前の平成 31 (令和元) 年に比べて 85 件の減少 (同年比 13%) となっている。令和 3 年と同様に新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた令和 2 年とを比較すると、44 件の減少 (同年比前年比 76%) となった。

本項における催事件数が伸び悩んだ要因は、先述の「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」ならびに「特措法に基づく緊急事態措置に係る沖縄県実施方針」に基づく、都道府県間の移動自粛や、催事会場の収容率にかかる収容制限といった要請が主催者の催事開催マインドに大きく影響したことが考えられる。

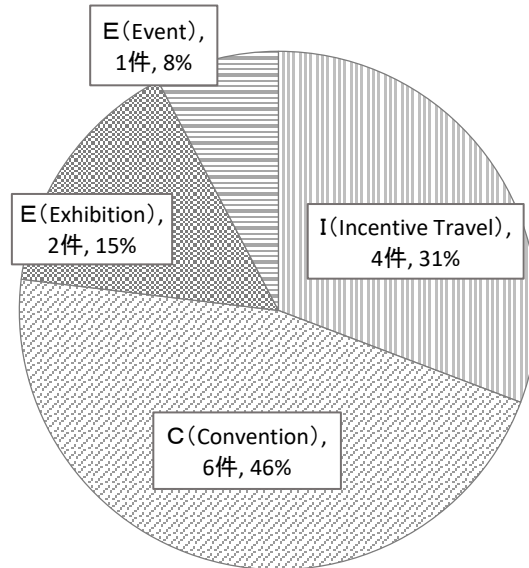
図表14. 海外+県外参加者 300 人以上催事件数【平成 29 年～令和 3 年】

	平成 29 年		平成 30 年		平成 31 (令和元)年		令和 2 年		令和 3 年	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
M(Meeting)	3	3%	5	5%	4	4%	1	6%	0	0%
I(Incentive Travel)	25	25%	44	40%	28	29%	8	47%	4	31%
C(Convention)	41	40%	30	27%	30	31%	4	24%	6	46%
E(Exhibition, Event)	32	32%	31	28%	36	37%	4	24%	3	23%
E (Exhibition)	-	-	-	-	-	-	-	-	2	15%
E(Event)	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8%
合計	101		110		98		17		13	

図表15. 海外+県外参加者 300人以上催事件数の推移【平成29年～令和3年】



図表16. 令和3年 海外+県外参加者 300人以上催事件数





### 1-5-3. 月別開催実態

#### (1) 月別開催件数

月別開催件数を見ると、11月（59件）、12月（56件）、10月（49件）の順となっており、緊急事態宣言が解除された10月以降に年間の60%の催事開催が集中している。なお、1月から4月は東京都など主要出発地となる地域に緊急事態宣言が発令され、さらに5月から9月は沖縄県全域も緊急事態宣言の対象地域となったことにより、開催件数が伸び悩んだものと考えられる。

図表17. 令和3年 月別開催件数

(単位:件)

		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
M (Meeting)	件数	51	2	2	6	2	2	3	1	1	3	9	8	12
	(%)	19%	4%	4%	12%	4%	4%	6%	2%	2%	6%	18%	16%	24%
I (Incentive Travel)	件数	148	5	6	8	13	5	8	6	4	7	27	32	27
	(%)	54%	3%	4%	5%	9%	3%	5%	4%	3%	5%	18%	22%	18%
C (Convention)	件数	36	0	2	3	3	0	2	1	0	0	4	10	11
	(%)	13%	0%	6%	8%	8%	0%	6%	3%	0%	0%	11%	28%	31%
E (Exhibition)	件数	14	0	1	2	1	1	0	1	0	0	3	4	1
	(%)	5%	0%	7%	14%	7%	7%	0%	7%	0%	0%	21%	29%	7%
E (Event)	件数	24	2	0	1	1	1	0	1	1	1	6	5	5
	(%)	9%	8%	0%	4%	4%	4%	0%	4%	4%	4%	25%	21%	21%
合計	件数	273	9	11	20	20	9	13	10	6	11	49	59	56
	(%)	100.0%	3%	4%	7%	7%	3%	5%	4%	2%	4%	18%	22%	21%
参加者数(人)		80,818	429	320	1,284	25,962	1,332	884	689	982	351	25,863	14,229	8,493

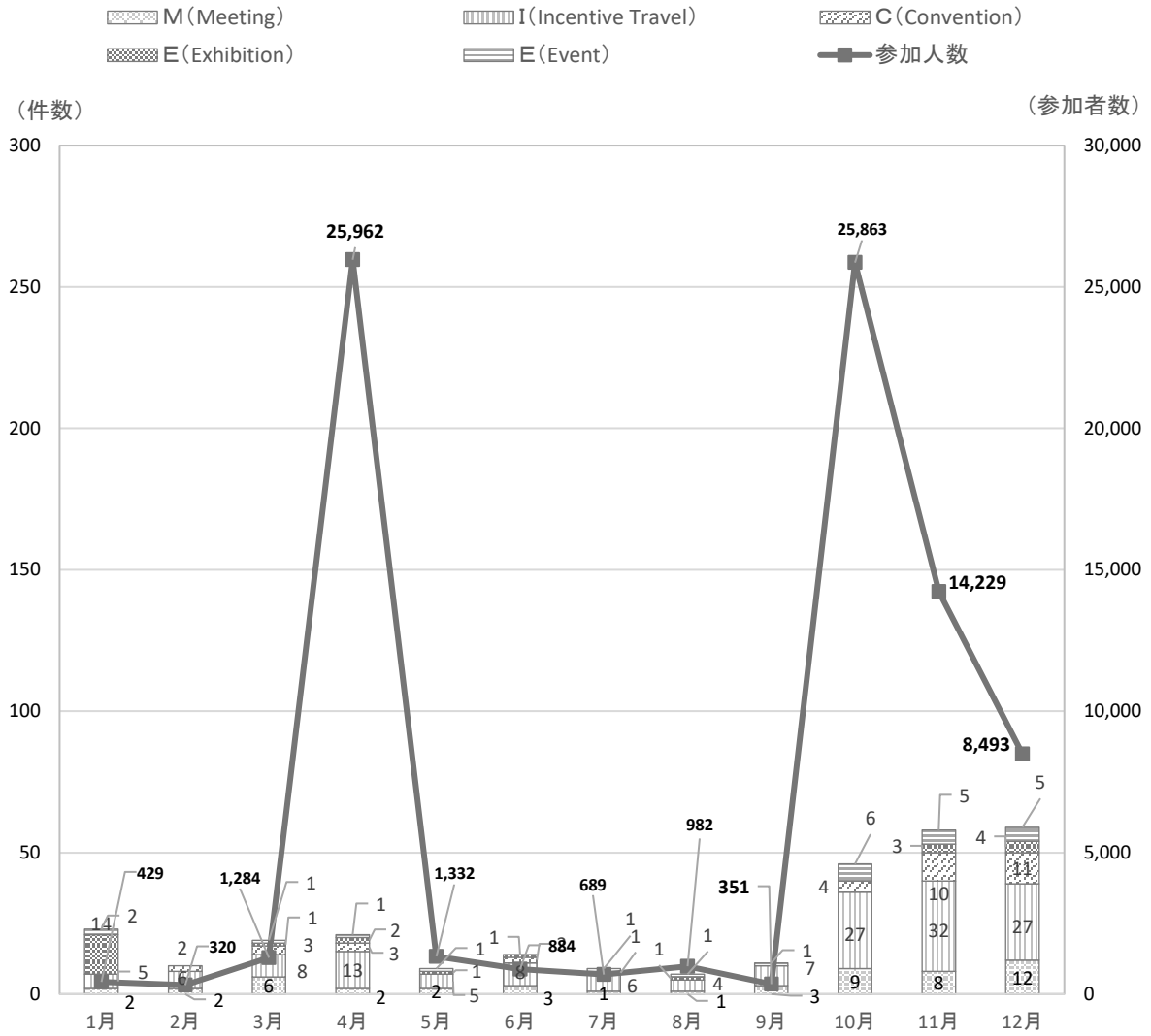
<参考>令和2年の月別開催件数

図表18. 令和2年 月別開催件数

(単位:件)

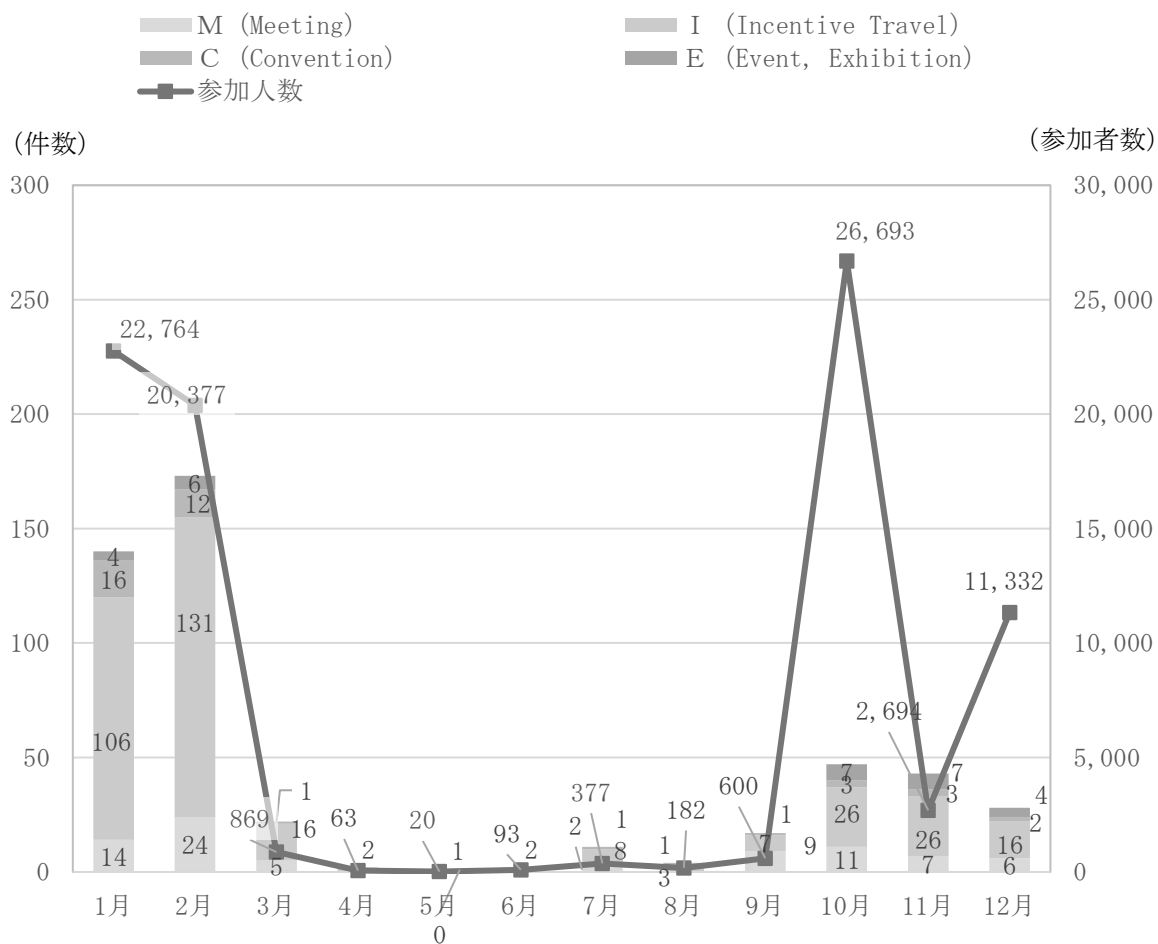
		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
M (Meeting)	件数	81	14	24	5	0	1	2	2	0	9	11	7	6
	(%)	17%	17%	30%	6%	0%	1%	2%	2%	0%	11%	14%	9%	7%
I (Incentive Travel)	件数	341	106	131	16	2	0	0	8	3	7	26	26	16
	(%)	70%	31%	38%	5%	1%	0%	0%	2%	1%	2%	8%	8%	5%
C (Convention)	件数	40	16	12	1	0	0	0	1	1	1	3	3	2
	(%)	8%	40%	30%	3%	0%	0%	0%	3%	3%	3%	8%	8%	5%
E (Event, Exhibition)	件数	28	4	6	0	0	0	0	0	0	0	7	7	4
	(%)	6%	14%	21%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	25%	25%	14%
合計	件数	490	140	173	22	2	1	2	11	4	17	47	43	28
	(%)	100.0%	29%	35%	4%	0.4%	0.2%	0.4%	2%	1%	3%	10%	9%	6%
参加人数		86,064	22,764	20,377	869	63	20	93	377	182	600	26,693	2,694	11,332

図表19. 令和3年 開催件数の月別推移



<参考> 令和2年の開催件数の月別推移

図表20. 令和2年 開催件数の月別推移



## (2) 月別参加者数

年間参加者数は80,818人となっており、令和2年より約6%の減少（前年比94%、5,246人減）となっている。

分野別では、「Event」が最も多く（34,494人、構成比43%）、次いで「Exhibition」（28,123人、構成比35%）、「Incentive Travel」（7,987人、構成比10%）、「Convention」（5,993人、構成比7%）、「Meeting」（4,221人、構成比5%）の順となっている。

月別の参加者数を見ると、4月（25,962人）、10月（25,863人）、11月（14,229人）が突出しているが、これは「島ぜんぶでおきな祭 第13回沖縄国際映画祭」（4月、25,000人）、「第45回沖縄の産業まつり」（10月、21,981人）、「ResorTech EXPO 2021 in Okinawa」（11月、4,210人）といった、特に参加者数の多い大規模催事が開催されたことによるものである。

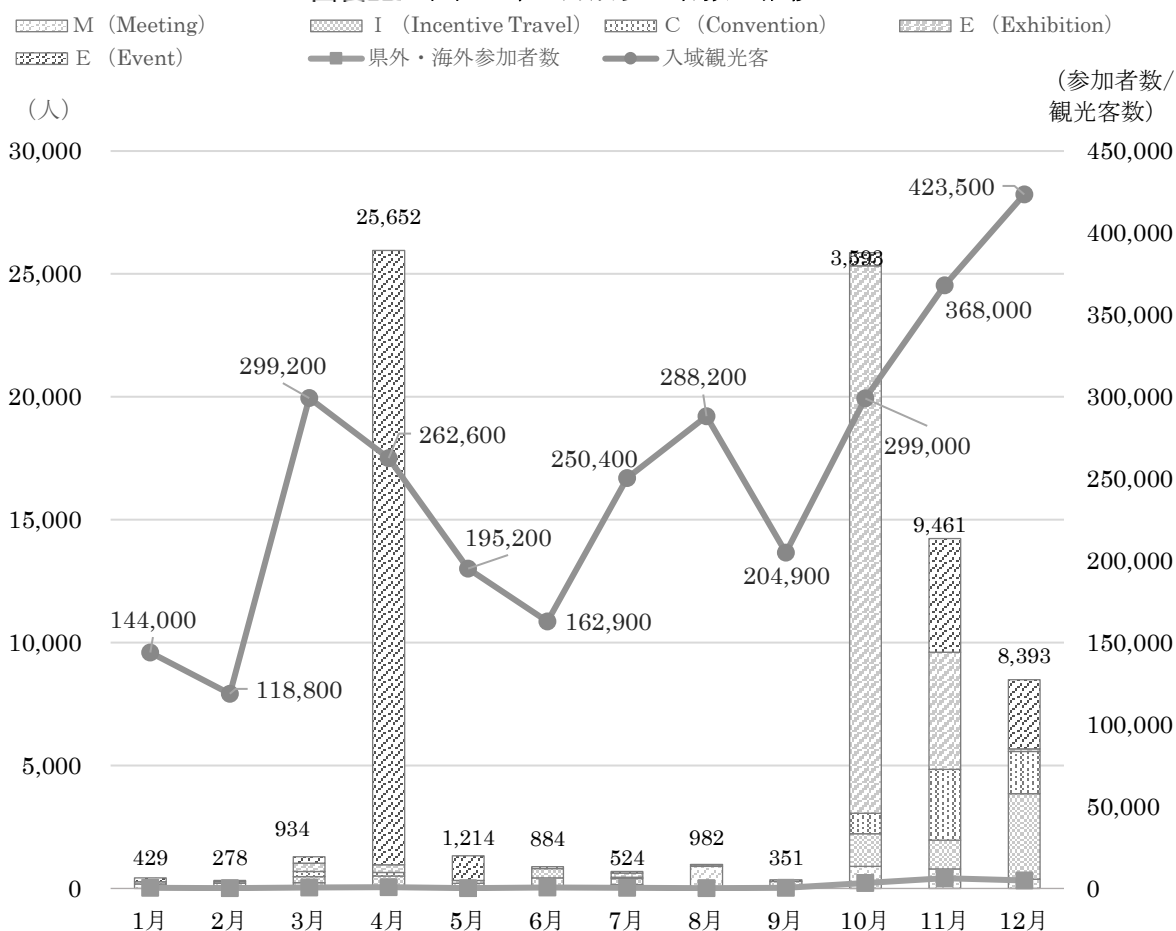
図表21. 令和3年 月別参加者数

（単位：MICE参加者数：人／入域観光客：千人）

		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
M	人数	4,221	187	100	238	45	30	428	150	900	80	896	790	377
	(%)	5%	4%	2%	6%	1%	1%	10%	4%	21%	2%	21%	19%	9%
I	人数	7,987	92	103	250	457	184	378	259	70	211	1,334	1,172	3,477
	(%)	10%	1%	1%	3%	6%	2%	5%	3%	1%	3%	17%	15%	44%
C	人数	5,993	0	75	196	150	0	78	50	0	0	835	2,886	1,723
	(%)	7%	0%	1%	3%	3%	0%	1%	1%	0%	0%	14%	48%	29%
Ex	人数	28,123	0	42	350	310	118	0	165	0	0	22,270	4,768	100
	(%)	35%	0%	0%	1%	1%	0%	0%	1%	0%	0%	79%	17%	0%
Ev	人数	34,494	150	0	250	25,000	1,000	0	65	12	60	528	4,613	2,816
	(%)	43%	0%	0%	1%	72%	3%	0%	0%	0%	0%	2%	13%	8%
合計	人数	80,818	429	320	1,284	25,962	1,332	884	689	982	351	25,863	14,229	8,493
	(%)	100%	1%	0%	2%	32%	2%	1%	1%	1%	0%	32%	18%	11%
県外・海外参加者数		17,983	359	214	673	758	212	579	364	182	331	3,225	6,258	4,828
入域観光客 (単位：千人)		3,016.7	144.0	118.8	299.2	262.6	195.2	162.9	250.4	288.2	204.9	299.0	368.0	423.5

※入域観光客数出典：「令和3年入域観光客統計概況」（沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課）

図表22. 令和3年 月別参加者数の推移



<参考> 令和2年の月別参加者数

図表23. 令和2年 月別参加者数

		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
M	人数	5,260	1,008	2,359	314	0	20	93	80	0	259	527	236	364
	(%)	6%	19%	45%	6%	0%	0%	2%	2%	0%	5%	10%	4%	7%
I	人数	17,342	7,101	5,420	535	63	0	0	262	44	307	965	1,377	1,268
	(%)	20%	41%	31%	3%	0%	0%	0%	2%	0%	2%	6%	8%	7%
C	人数	6,247	3,682	1,818	20	0	0	0	35	138	34	297	101	122
	(%)	7%	59%	29%	0%	0%	0%	0%	1%	2%	1%	5%	2%	2%
E	人数	57,215	10,973	10,780	0	0	0	0	0	0	0	24,904	980	9,578
	(%)	66%	19%	19%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	44%	2%	17%
合計	人数	86,064	22,764	20,377	869	63	20	93	377	182	600	26,693	2,694	11,332
	(%)	100%	26%	24%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	31%	3%	13%
県外・海外参加者数		38,820	18,175	9,980	849	63	20	23	295	151	487	3,688	1,925	3,164
入域観光客 (単位:千人)		3,736.6	727.8	590.9	396.3	77.3	44.0	144.1	277.3	202.8	227.6	341.2	381.1	326.2

※入域観光客数出典:「令和2年入域観光客統計概況」(沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課)

### (3) 月別1件当たり平均参加者数

1件当たりの参加者数の平均は296人(前年比168%、120人増)となっている。月平均では4月が最も多く(1,298人)、次いで10月(528人)、11月(241人)の順となっている。このうち4月は前年同月比で40倍増となっているが、前述のとおり「島ぜんぶでおーきな祭 第13回沖縄国際映画祭」の開催が寄与したものである。(同催事については、令和2年はほぼオンラインで開催されたため参加者数が非常に少ない状況であった。)

催事別では「Exhibition」が年平均2,009人と最も多い。10月・11月の参加者数増は「第45回沖縄の産業まつり」(10月)や「ResorTech EXPO 2021 in OKINAWA」(11月)等の大規模催事の開催が寄与したものである。

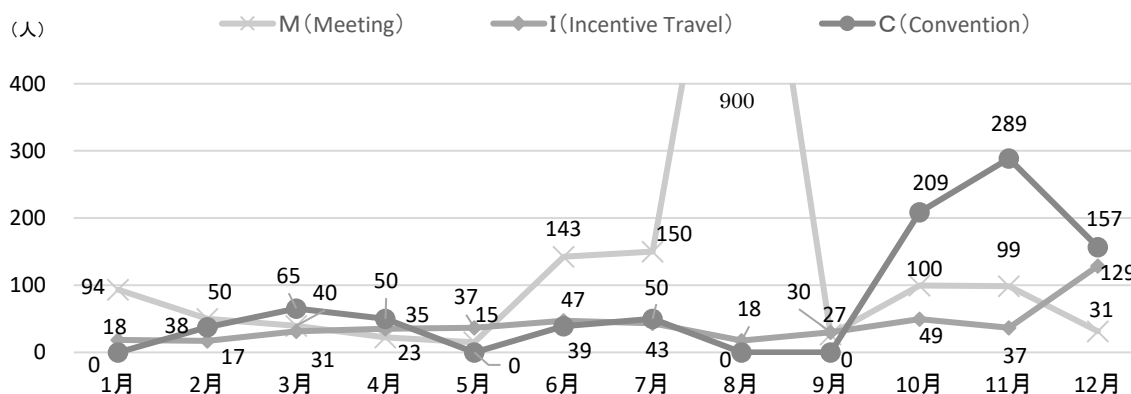
本項における数値について、令和3年と同様に新型コロナウイルス感染症流行拡大の状況下であった令和2年の3月以降の状況を比較すると、4月を除いて、概ね横ばいまたは微増となっている。

図表24. 令和3年 1件当たり平均参加者数

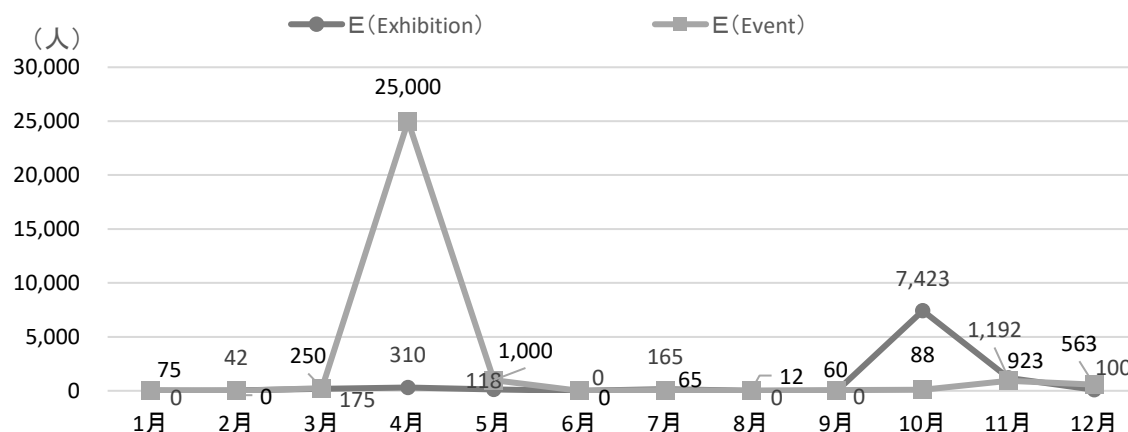
(単位:人)

	年平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
M	83	94	50	40	23	15	143	150	900	27	100	99	31
I	54	18	17	31	35	37	47	43	18	30	49	37	129
C	166	0	38	65	50	0	39	50	0	0	209	289	157
Ex	2,009	0	42	175	310	118	0	165	0	0	7,423	1,192	100
Ev	1,437	75	0	250	25,000	1,000	0	65	12	60	88	923	563
月平均	296	48	29	64	1,298	148	68	69	164	32	528	241	152

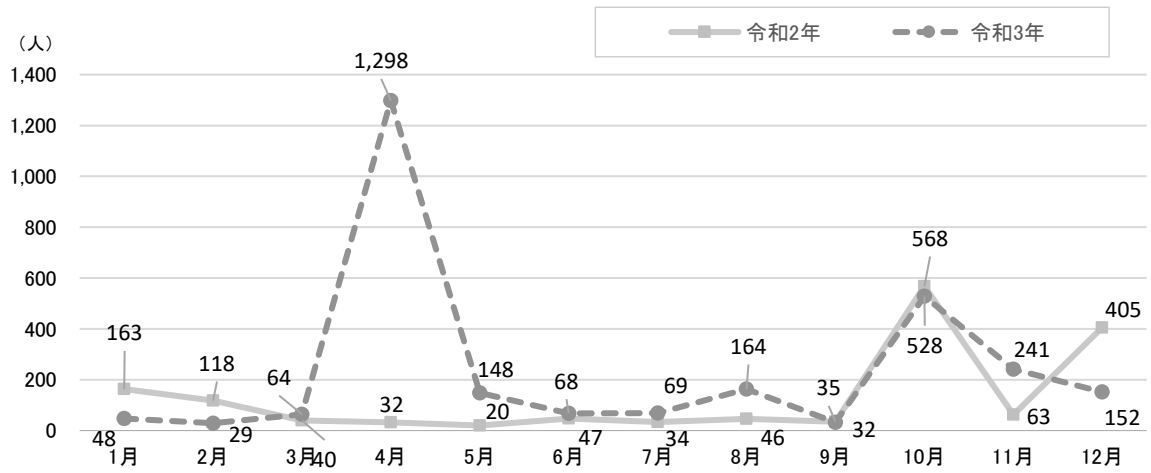
図表25. 令和3年 月別1件当たり平均参加者数  
(Meeting, Incentive Travel, Convention)



図表26. 令和3年 月別1件当たり平均参加者数 (Exhibition, Event)



図表27. 月別1件当たり参加者数 全体平均 令和2年と令和3年の比較



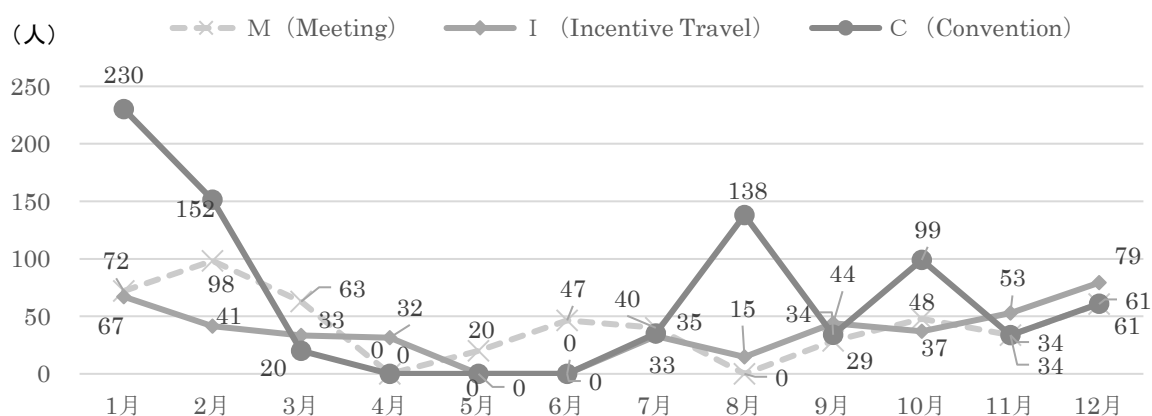
<参考> 令和2年の月別1件当たり参加者数

図表28. 令和2年1件当たり参加者平均

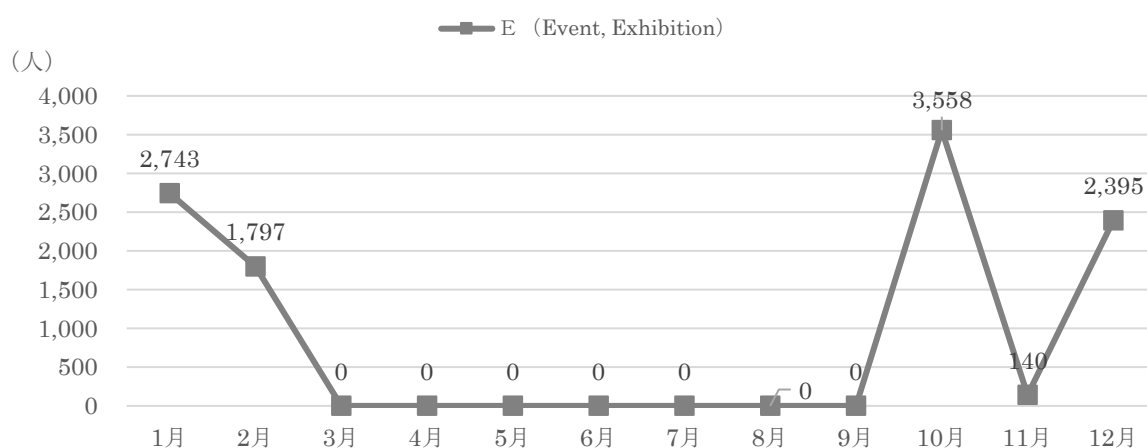
(単位:人)

	年平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
M	65	72	98	63	0	20	47	40	0	29	48	34	61
I	51	67	41	33	32	0	0	33	15	44	37	53	79
C	156	230	152	20	0	0	0	35	138	34	99	34	61
E	2,043	2,743	1,797	0	0	0	0	0	0	0	3,558	140	2,395
月平均	176	163	118	40	32	20	47	34	46	35	568	63	405

図表29. 令和2年 1件当たり参加者平均 (Meeting, Incentive Travel, Convention)



図表30. 令和2年 月別・1件当たり参加者平均 (Event, Exhibition)





#### 1-5-4. 参加者区分から見た開催実態

##### (1) 参加者の地域分布

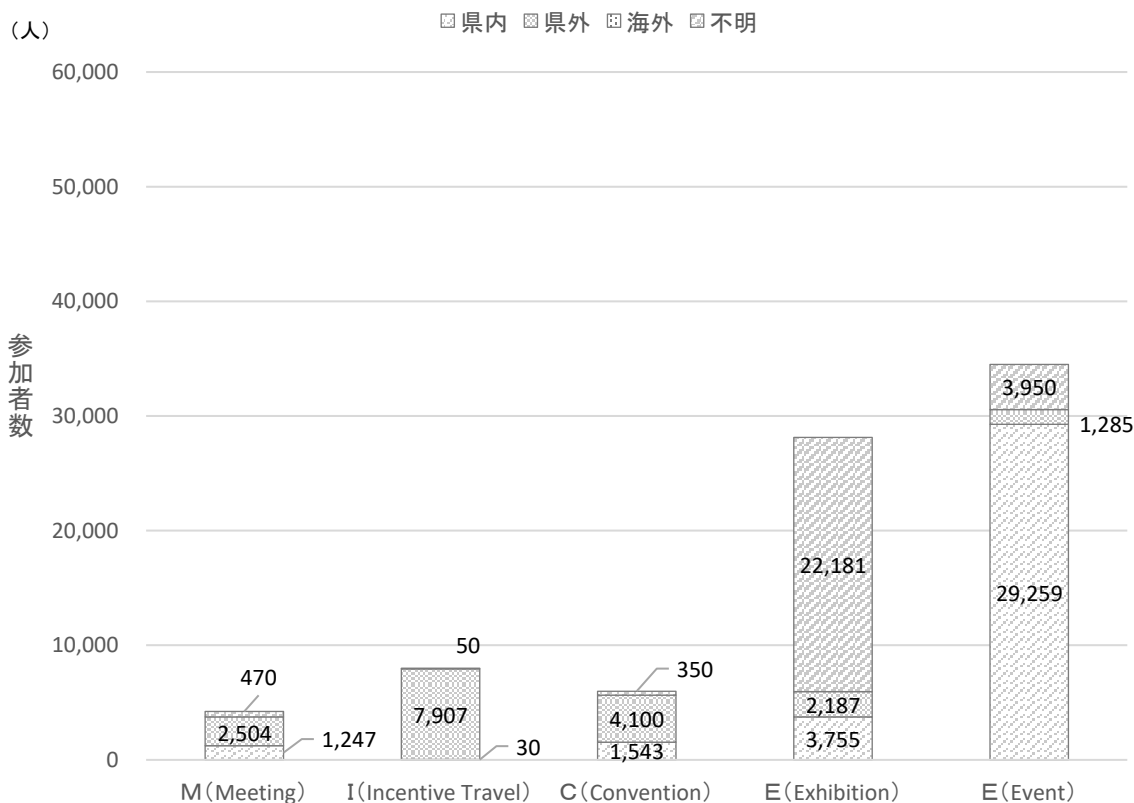
令和3年に開催されたMICE催事の参加者数は合計で80,818人(前年比94%、5,246人減)となっている。このうち、県外参加者は17,983人(前年比49%、18,571人減)とおおよそ半減しており、海外の参加者については海外から日本への入国制限措置が取られたため0人となっている。なお、県外参加者数の大幅な減少については、「Exhibition」や「Event」における大規模催事において参加者の地域分布を詳細に把握することが困難であり、地域分布不明での計上となることに留意されたい。

図表31. 令和3年 参加者の地域分布

(単位:人)

		合計	県内	県外	海外	不明
M(Meeting)	人数	4,221	1,247	2,504	0	470
	(%)	100%	30%	59%	0%	11%
I(Incentive Travel)	人数	7,987	30	7,907	0	50
	(%)	100%	0.4%	99%	0%	0.6%
C(Convention)	人数	5,993	1,543	4,100	0	350
	(%)	100%	26%	68%	0%	6%
E(Exhibition)	人数	28,123	3,755	2,187	0	22,181
	(%)	100%	13%	8%	0%	79%
E(Event)	人数	34,494	29,259	1,285	0	3,950
	(%)	100%	85%	4%	0%	11%
合計	人数	80,818	35,834	17,983	0	27,001
	(%)	100%	44%	22%	0%	33%

図表32. 令和3年 参加者の地域分布



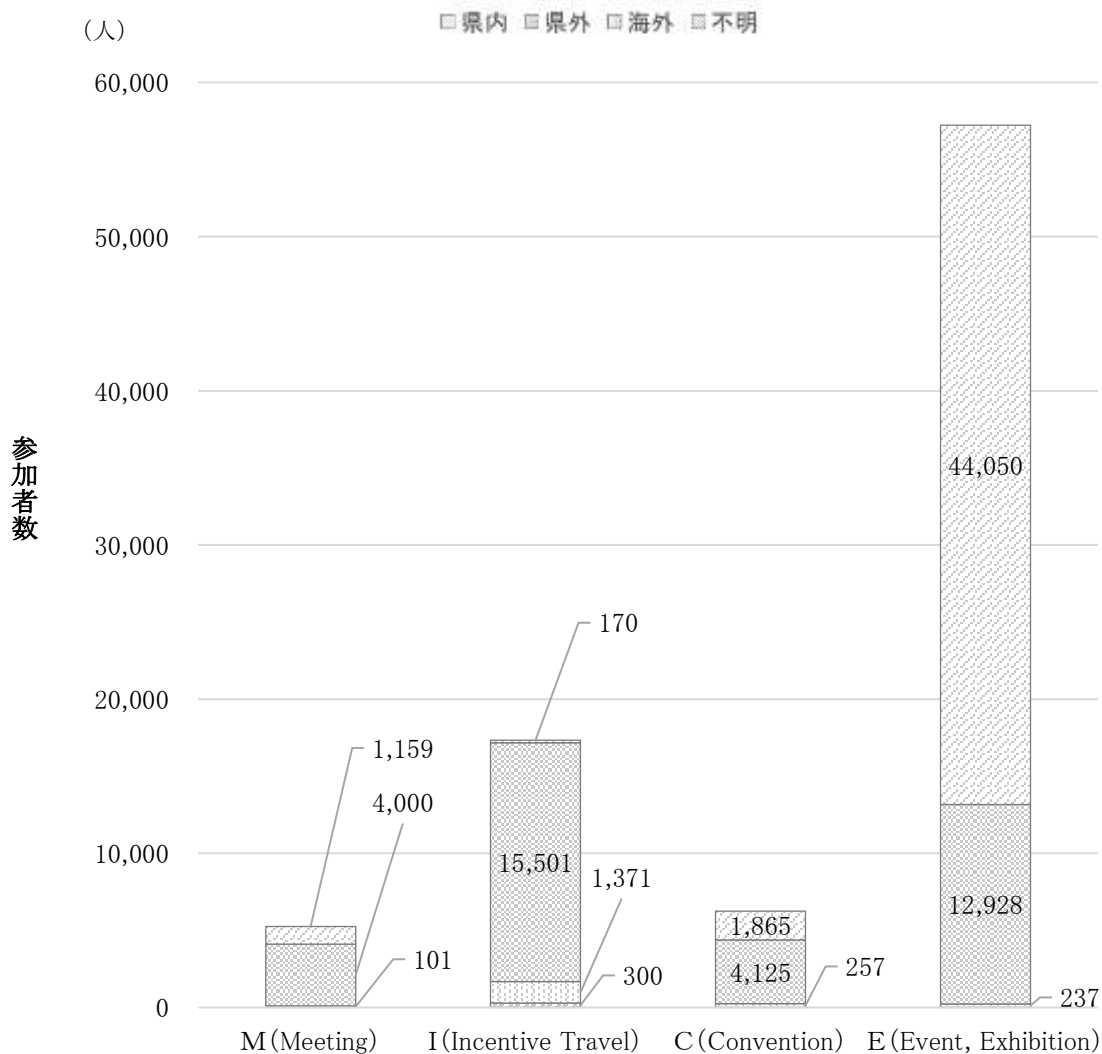
<参考> 令和2年 参加者の地域分布

図表33. 令和2年 参加者の地域分布

(単位:人)

		合計	県内	県外	海外	不明
M(Meeting)	人数	5,260	1,159	4,000	101	0
	(%)	100%	22%	76%	2%	0%
I(Incentive Travel)	人数	17,342	170	15,501	1,371	300
	(%)	100%	1.0%	89%	8%	1.7%
C(Convention)	人数	6,247	1,865	4,125	257	0
	(%)	100%	30%	66%	4%	0%
E(Event, Exhibition)	人数	57,215	44,050	12,928	237	0
	(%)	100%	77%	23%	0.4%	0%
合計	人数	86,064	47,244	36,554	1,966	300
	(%)	100%	55%	42%	2%	0%

図表34. 令和2年 参加者の地域分布



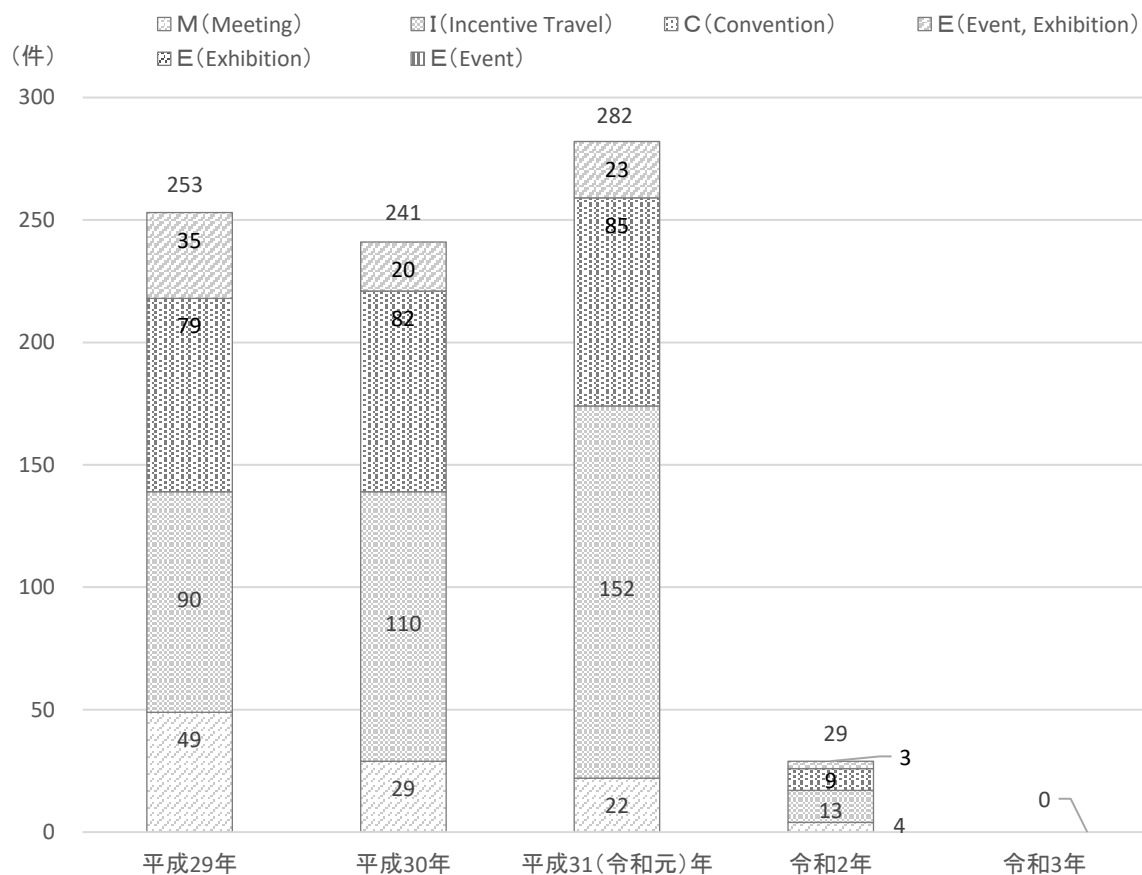
## (2) 海外からの参加があった開催件数

令和3年においては、政府による外国人新規入国制限措置が取られた影響で、県内開催のMICE 催事への海外参加者はゼロであった。(なお、一部催事について、開催形態がオンライン方式、またはハイブリッド方式に変更されたことによって、海外在住者がオンライン参加した事例も複数確認されている。)

図表35. 海外からの参加者があった催事の開催件数【平成29年～令和3年】

	平成29年		平成30年		平成31 (令和元)年		令和2年		令和3年		
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	(前年比)
M(Meeting)	49	19%	29	12%	22	8%	4	14%	0	0%	0%
I(Incentive Travel)	90	36%	110	46%	152	54%	13	45%	0	0%	0%
C (Convention)	79	31%	82	34%	85	30%	9	31%	0	0%	0%
E(Exhibition, Event)	35	14%	20	8%	23	8%	3	10%	0	0%	0%
合計	253		241		282		29		0		
(参考) 全体件数	1,209		1,238		1,638		490		273		
(海外から参加が あった催事の割合)	(20%)		(19%)		(17%)		(6%)		(0%)		

図表36. 海外からの参加者があった催事の開催件数推移【平成29年～令和3年】



## 1-5-5. 様々な区分から見た開催実態

### (1) 産業別開催件数・参加者数

本項では開催件数および参加者数について、「Meeting」、「Incentive Travel」、「Exhibition, Event」は日本標準産業分類(中分類)に準じ、「Convention」については日本政府観光局(JNTO)の発行する「国際会議統計」における会議分類に準じた分類により区分けを行っている。

「Meeting」について、様々な企業・団体による催事(企業主催の商品説明会や投資セミナー、学術団体を除く団体の総会など)が混在し、区分の困難なものがあることから傾向分析を省略するが、産業別のほぼ全分野において開催件数および参加者数の減少傾向が確認できた。

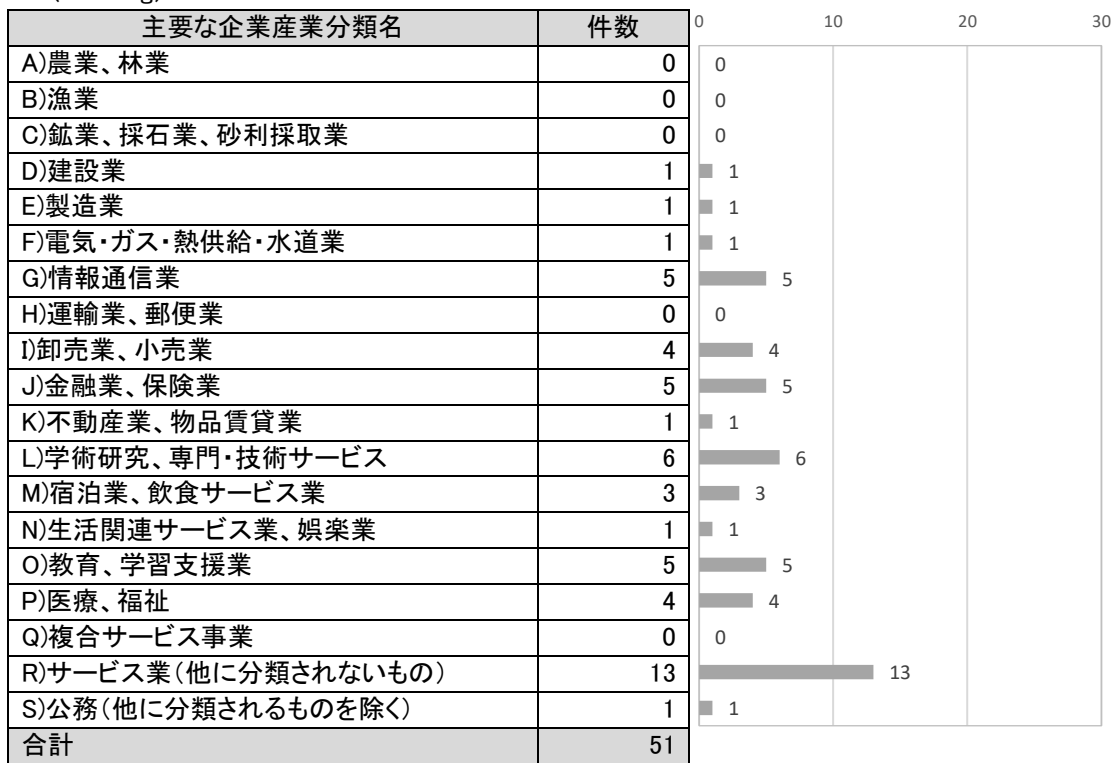
「Incentive Travel」について、過年度調査においては、「R」サービス業(その他に分類されないもの)を除き、「D」建設業、「E」製造業、「I」卸売業・小売業が開催件数および参加者数の上位3位を占めていた。しかし、令和3年の調査では、上記3分類の開催件数が大幅に減少し、「E」製造業の代わりに「K」不動産業、物品賃貸業が上位となり、参加者数では「L」学術研究、専門・技術サービス業、「O」教育、学術支援業が上位となった。また、令和2年と比較すると、概ね全分野で開催件数および参加者数が減少したが、「Q」複合サービス事業については開催件数および参加者数で増加している。

「Convention」について、令和2年は大幅に減少した「3」医学は、令和2年と比較して開催件数が2倍になっており、参加者数も増加している。また、同様に昨年大幅な減少があった「4」産業分野においても開催件数および参加者数が増加している。

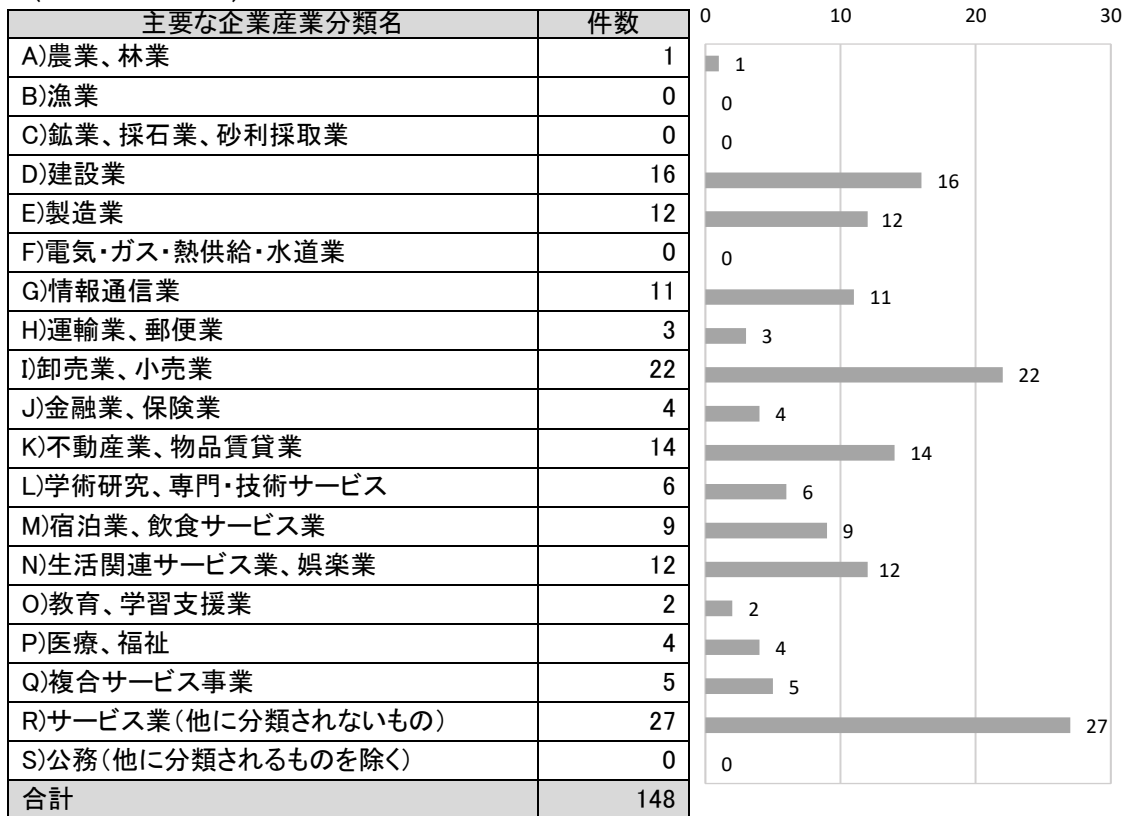
「Exhibition」「Event」について、令和2年との比較では開催件数が1.4倍に増加している。特に「Exhibition」では「I」卸売業、小売業関連の展示会・商談会が増加しており、コロナ収束を見据えた商談機会の需要に対応したものと推察される。なお、参加者数は前年比67%と減少しているが、令和2年は大型催事「ツーリズム EXPO ジャパン 旅の祭典 in 沖縄」が開催されたことによる反動減である。

図表37. 令和3年産業別開催件数

M(Meeting)

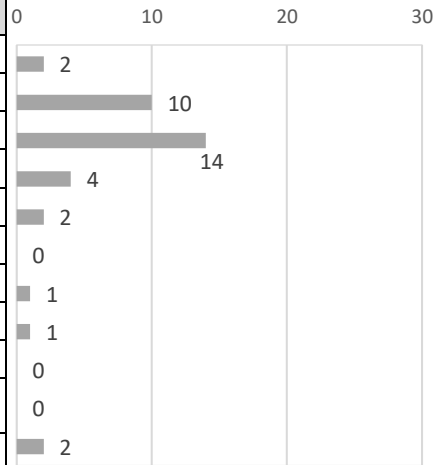


I(Incentive Travel)



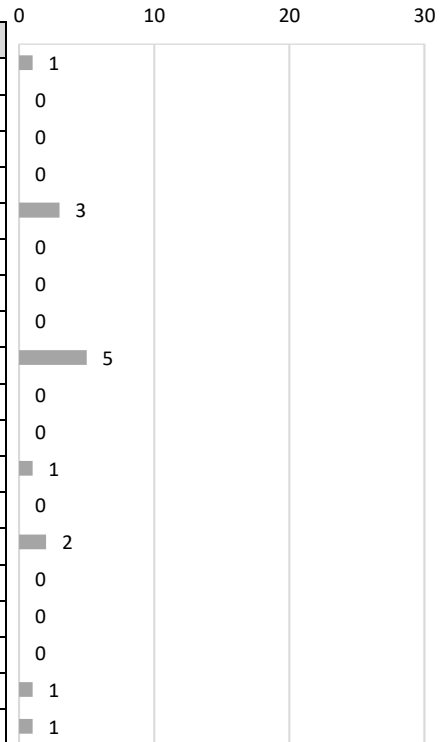
C(Convention)

会議分野名	件数
1)政治・経済・法律	2
2)科学・技術・自然	10
3)医学	14
4)産業	4
5)芸術・文化・教育	2
6)社会	0
7)運輸・観光	1
8)社交・親善	1
9)宗教	0
10)スポーツ ※セミナーや講演会などがある場合	0
11)その他	2
合計	36



E(Exhibition)

主要な企業産業分類名	件数
A)農業、林業	1
B)漁業	0
C)鉱業、採石業、砂利採取業	0
D)建設業	0
E)製造業	3
F)電気・ガス・熱供給・水道業	0
G)情報通信業	0
H)運輸業、郵便業	0
I)卸売業、小売業	5
J)金融業、保険業	0
K)不動産業、物品賃貸業	0
L)学術研究、専門・技術サービス	1
M)宿泊業、飲食サービス業	0
N)生活関連サービス業、娯楽業	2
O)教育、学習支援業	0
P)医療、福祉	0
Q)複合サービス事業	0
R)サービス業(他に分類されないもの)	1
S)公務(他に分類されるものを除く)	1
合計	14

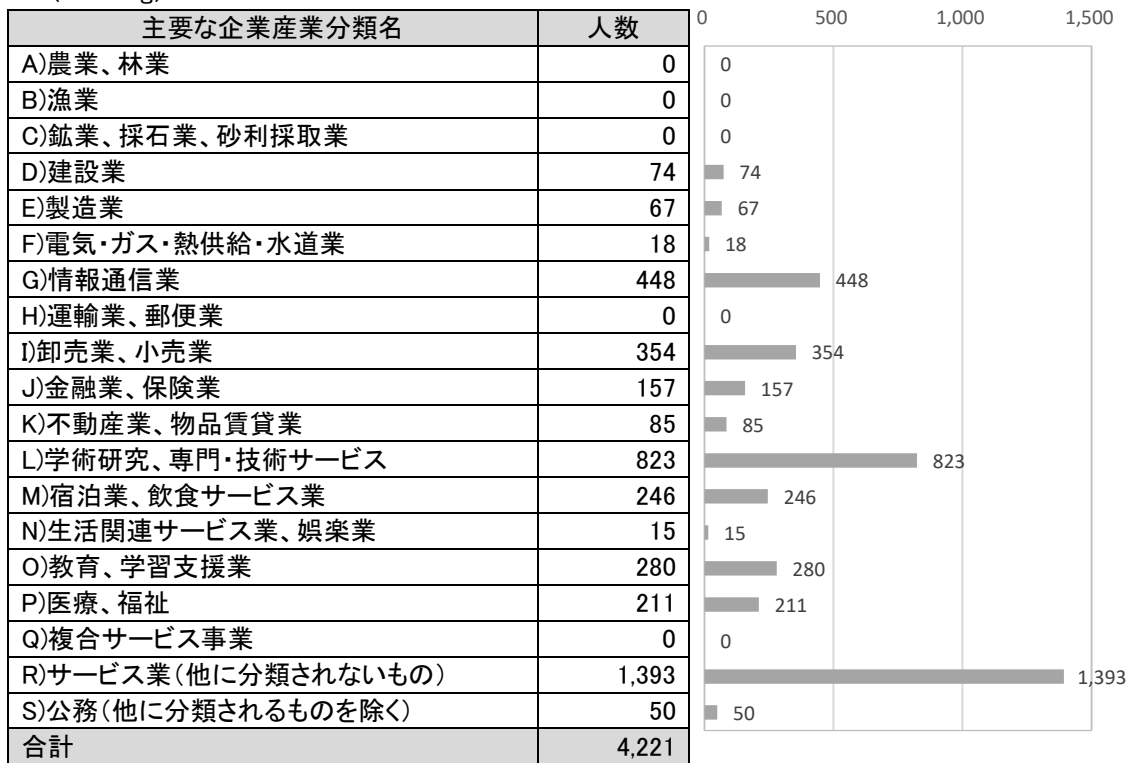


E(Event)

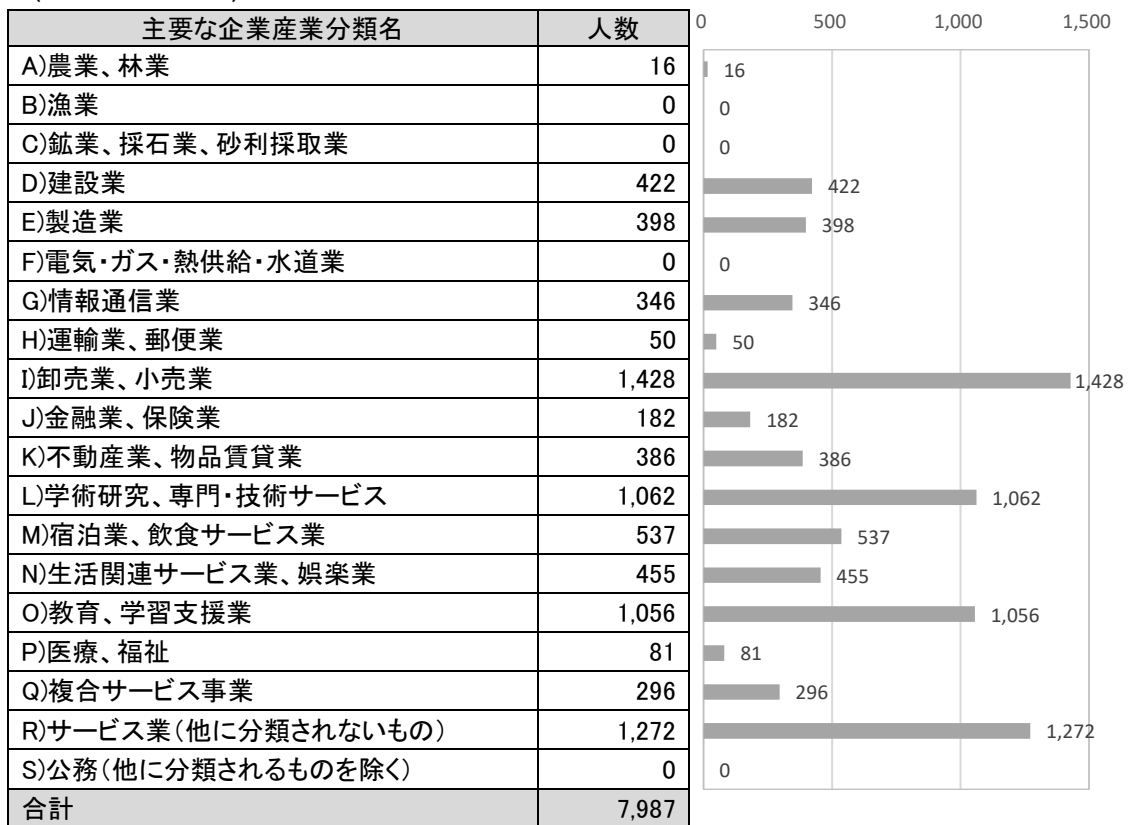


図表38. 令和3年産業別参加者数

M(Meeting)



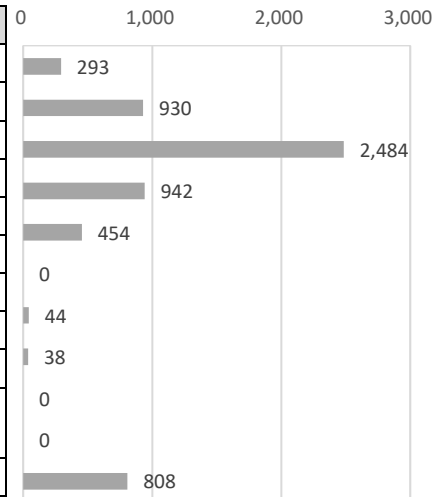
I(Incentive Travel)





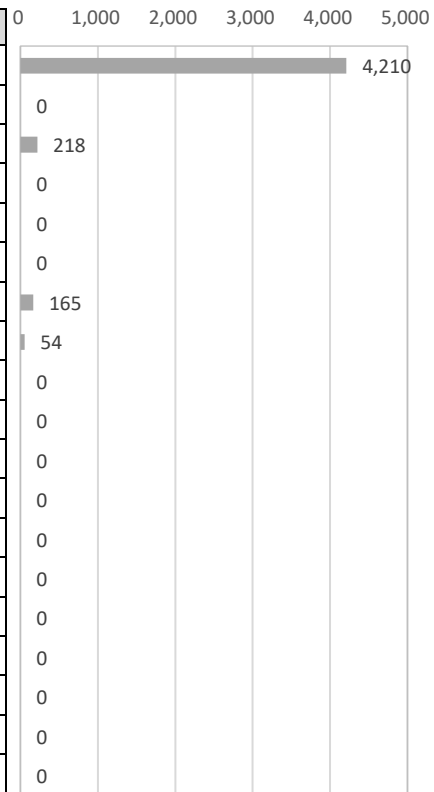
C(Convention)

会議分野名	人数
1)政治・経済・法律	293
2)科学・技術・自然	930
3)医学	2,484
4)産業	942
5)芸術・文化・教育	454
6)社会	0
7)運輸・観光	44
8)社交・親善	38
9)宗教	0
10)スポーツ	0
※セミナーや講演会などがある場合	0
11)その他	808
合計	5,993

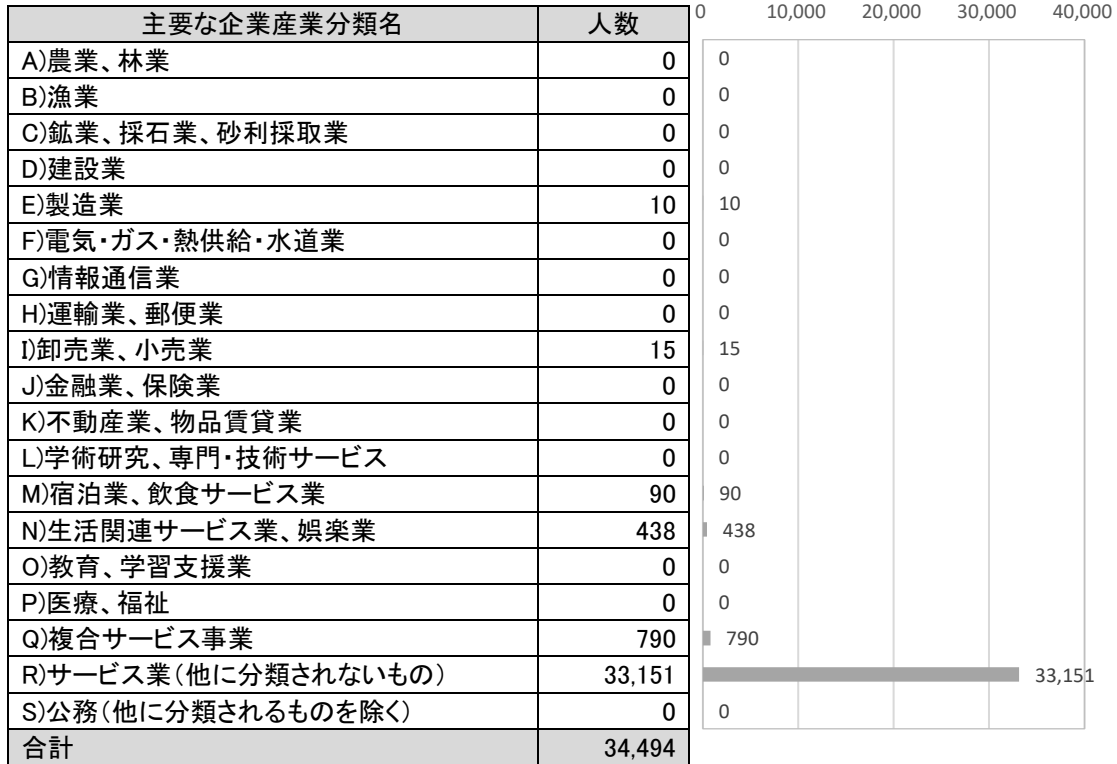


E(Exhibition)

主要な企業産業分類名	人数
A)農業、林業	4,210
B)漁業	0
C)鉱業、採石業、砂利採取業	218
D)建設業	0
E)製造業	0
F)電気・ガス・熱供給・水道業	0
G)情報通信業	165
H)運輸業、郵便業	54
I)卸売業、小売業	0
J)金融業、保険業	0
K)不動産業、物品賃貸業	0
L)学術研究、専門・技術サービス	0
M)宿泊業、飲食サービス業	0
N)生活関連サービス業、娯楽業	0
O)教育、学習支援業	0
P)医療、福祉	0
Q)複合サービス事業	0
R)サービス業(他に分類されないもの)	0
S)公務(他に分類されるものを除く)	0
合計	4,647



E(Event)



## (2) 主催企業の所在地・出発地

主催企業の所在地、および出発地において最も多かったのは東京都の107件、次いで大阪府の24件であった。例年、本県でのMICE開催件数のうち多くを占める「Incentive Travel」については、企業の本社機能のほとんどが首都圏または関西圏に集中していることが今回の結果に反映されているといえる。

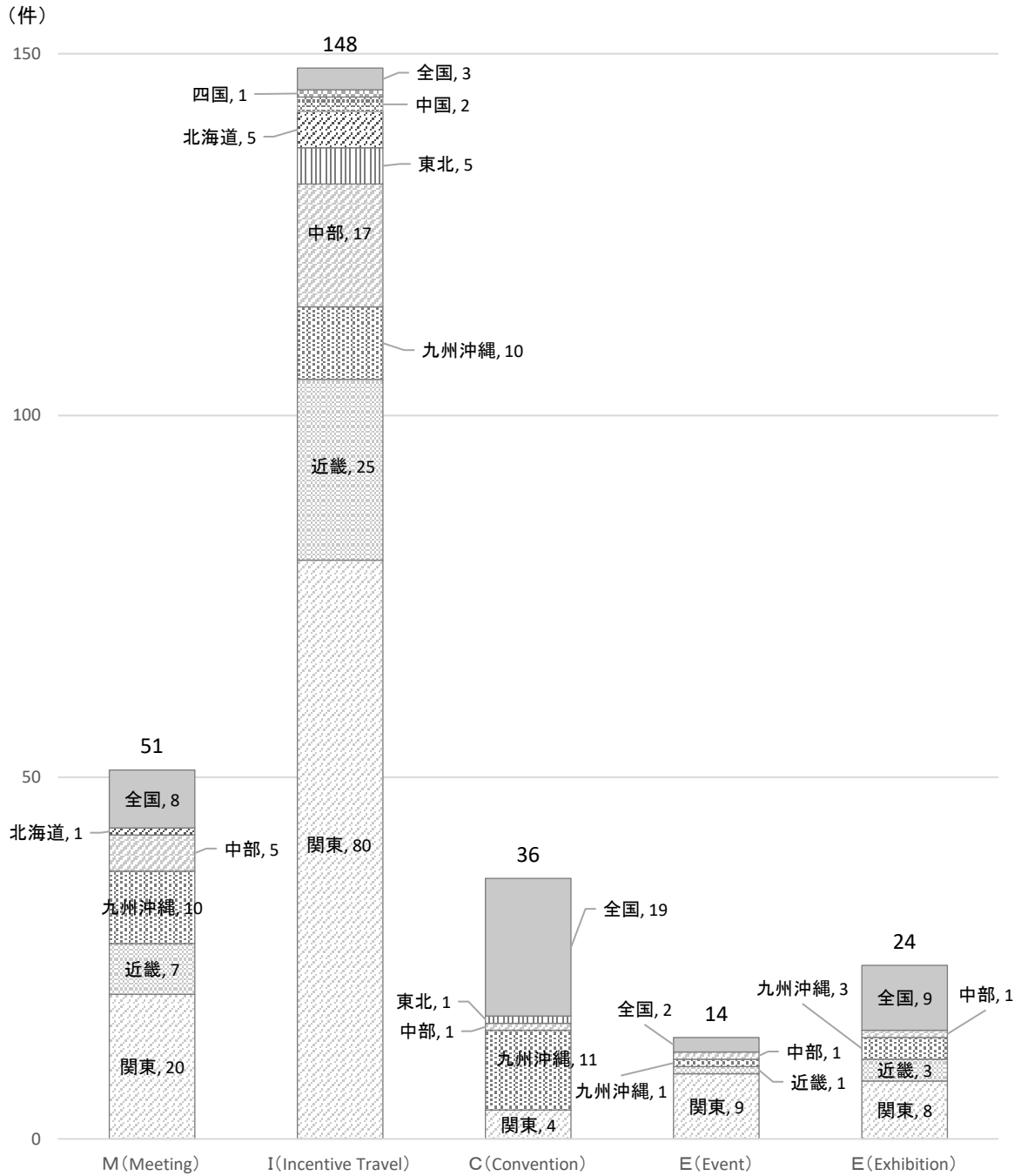
また、過年度調査と同様に、基本的には企業所在地・出発地の最寄り空港と那覇空港間が航空路線で結ばれているエリアからの件数が多く、就航している都市が多岐にわたっていることがプラスに働いていると考えられるが、一方で沖縄への航空路線が就航していない都道府県（秋田県、福島県、長野県、山形県など）からの案件も少なからず存在していることにも注目したい。

図表39. 令和3年 主催企業の所在地・出発地別開催件数

	都道府県等	地方	開催件数	M(Meeting)	I(Incentive Travel)	C(Convention)	E(Exhibition)	E(Event)
1	東京都	関東	107	20	66	4	9	8
2	大阪府	近畿	24	3	20	0	0	1
3	九州沖縄	九州沖縄	15	5	4	5	0	1
4	愛知県	中部	11	2	9	0	0	0
5	福岡県	九州沖縄	9	2	4	3	0	0
6	沖縄県	九州沖縄	9	2	1	3	1	2
7	神奈川県	関東	8	0	8	0	0	0
8	中部	中部	7	0	6	1	0	0
9	兵庫県	近畿	6	4	2	0	0	0
10	北海道	北海道	6	1	5	0	0	0
11	埼玉県	関東	4	0	4	0	0	0
12	近畿	近畿	3	0	3	0	0	0
13	広島県	中国	2	0	2	0	0	0
14	関東	関東	2	0	2	0	0	0
15	秋田県	東北	2	0	2	0	0	0
16	岐阜県	中部	2	0	1	0	0	1
17	静岡県	中部	2	2	0	0	0	0
18	三重県	近畿	2	0	0	0	0	2
19	福島県	東北	1	0	0	1	0	0
20	長野県	中部	1	0	0	0	1	0
21	宮崎県	九州沖縄	1	0	1	0	0	0
22	山形県	東北	1	0	1	0	0	0
23	大分県	九州沖縄	1	1	0	0	0	0
24	富山県	中部	1	1	0	0	0	0
25	宮城県	東北	1	0	1	0	0	0
26	徳島県	四国	1	0	1	0	0	0
27	石川県	中部	1	0	1	0	0	0
28	京都府	近畿	1	0	0	0	1	0
29	東北	東北	1	0	1	0	0	0
30	全国	全国	41	8	3	19	2	9
	合計		273	51	148	36	14	24

※ 『6 沖縄県』は主催者が沖縄県内の企業となり、県外からの参加者があった案件となる。

図表40. 令和3年 主催企業の所在地・出発地別開催件数



### (3) エリア別・市町村別開催件数

エリア別開催件数は、本島南部が 126 件で最も多く、次いで本島北部が 67 件となっている。これは、後述の市町村別開催件数で上位となっている那覇市と名護市がそれぞれ含まれていることに起因している。

なお、宮古・八重山エリアにおける開催件数は 45 件で、昨年と同数になったものの、このうち 28 件は緊急事態宣言解除後の 10 月～12 月に開催が集中していた。宮古・八重山地域の回答協力施設等へのヒアリングにおいて、団体旅行客は耳目を集めるため、医療体制の脆弱さ、住民感情への配慮等を勘案して開催を延期または断念した案件があった旨の回答が寄せられた。これらから、企業イメージの毀損や企業活動への影響等の懸念が宣言期間中における開催件数の伸び悩みにつながったものと考えられる。

市町村別開催件数は、那覇市が 106 件で最も多く、続いて名護市 (36 件)、石垣市 (31 件) の順となっている。

那覇市は、すべての催事分類において件数が最多である。名護市、石垣市は「Incentive Travel」が開催件数の 7 割以上、恩納村も約半数が「Incentive Travel」となっている。市町村別実績では、例年「Incentive Travel」の開催実績が多い市町村が上位を占める傾向にあるが、本年は特にその傾向が顕著であった。

図表41. 令和3年 MICEエリア別開催件数

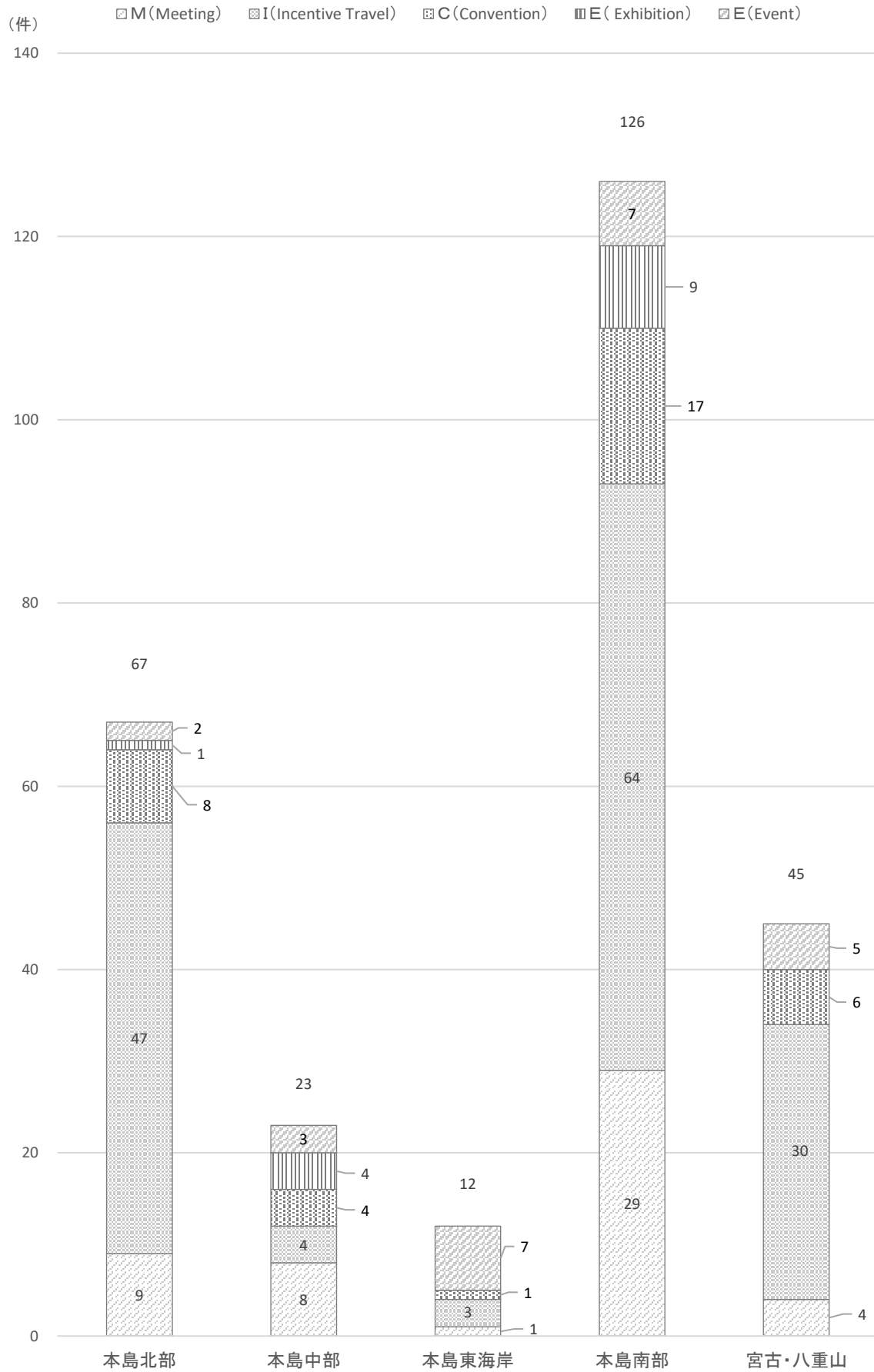
(単位:件)

エリア区分	開催件数	M	I	C	Ex	Ev
本島北部	67	9	47	8	1	2
本島中部	23	8	4	4	4	3
本島東海岸	12	1	3	1	0	7
本島南部	126	29	64	17	9	7
宮古・八重山	45	4	30	6	0	5
計	273	51	148	36	14	24

図表42. MICE エリア区分一覧

本島北部		本島中部	本島東海岸	本島南部		宮古・八重山
名護市	宜野座村	宜野湾市	沖縄市	那覇市	渡嘉敷村	宮古島市
国頭村	金武町	浦添市	うるま市	糸満市	座間味村	多良間村
大宜味村	伊江村	読谷村	南城市	豊見城市	粟国村	石垣市
東村	伊平屋村	嘉手納町	北中城村	南風原町	渡名喜村	竹富町
今帰仁村	伊是名村	北谷町	中城村	八重瀬町	南大東村	与那国町
本部町			西原町	久米島町	北大東村	
恩納村			与那原町			

図表43. 令和3年 エリア別開催件数



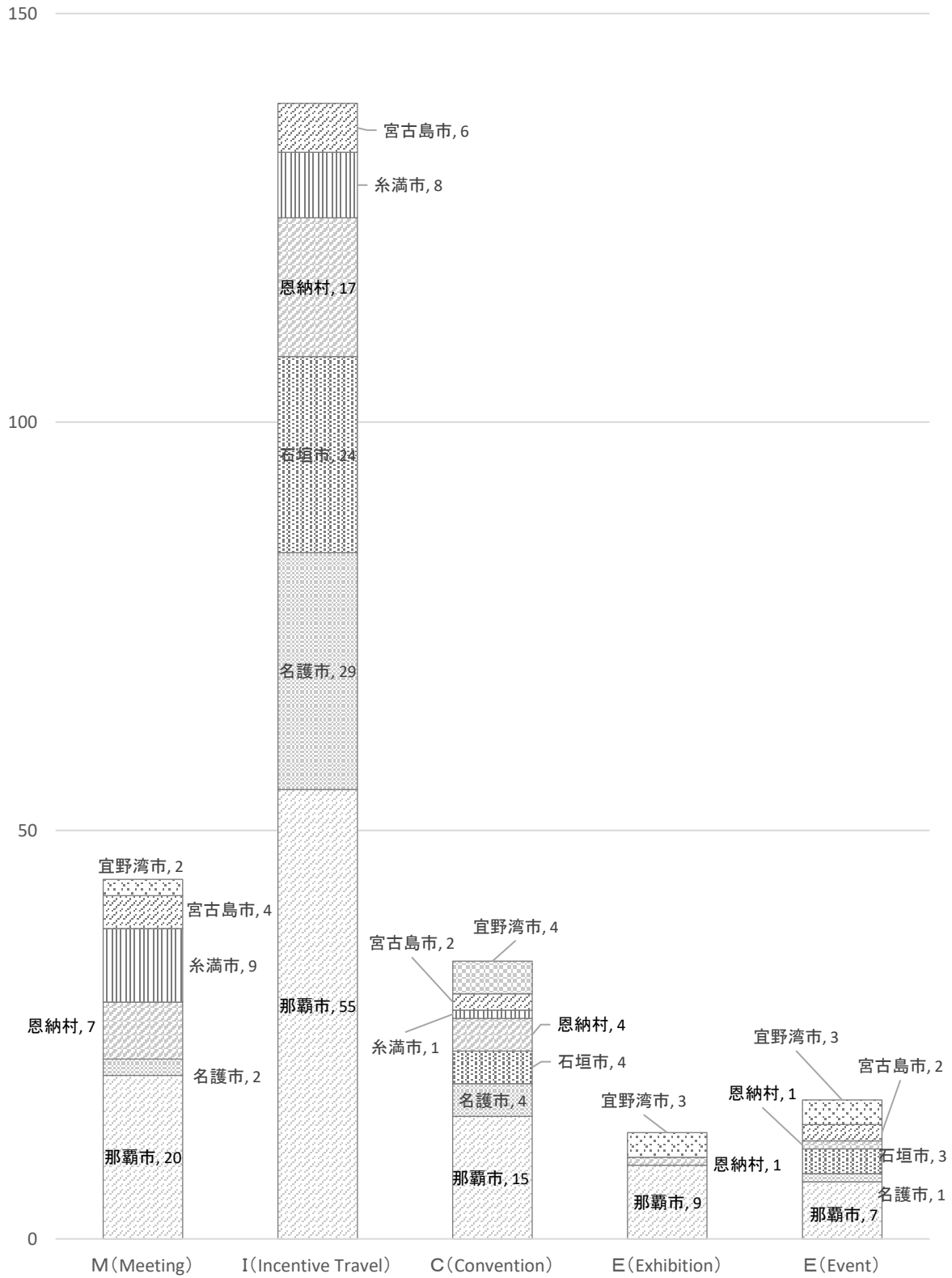
図表44. 令和3年 市町村別開催件数

(単位:件)

	市町村名	開催件数	M(Meeting)	I(Incentive Travel)	C (Convention)	E (Exhibition)	E(Event)
1	那覇市	106	20	55	15	9	7
2	名護市	36	2	29	4	0	1
3	石垣市	31	0	24	4	0	3
4	恩納村	30	7	17	4	1	1
5	糸満市	18	9	8	1	0	0
6	宮古島市	14	4	6	2	0	2
7	宜野湾市	12	2	0	4	3	3
8	沖縄市	6	1	2	1	0	2
9	読谷村	5	4	1	0	0	0
10	南城市	4	0	1	0	0	3
11	浦添市	3	1	1	0	1	0
12	北谷町	3	1	2	0	0	0
13	豊見城市	2	0	1	1	0	0
14	うるま市	1	0	0	0	0	1
15	北中城村	1	0	0	0	0	1
16	国頭村	1	0	1	0	0	0
	合計	273	51	148	36	14	24

図表45. 令和3年 催事別 市町村別 開催件数  
 (年間開催件数が10件未満の市町村を除く)

(件)





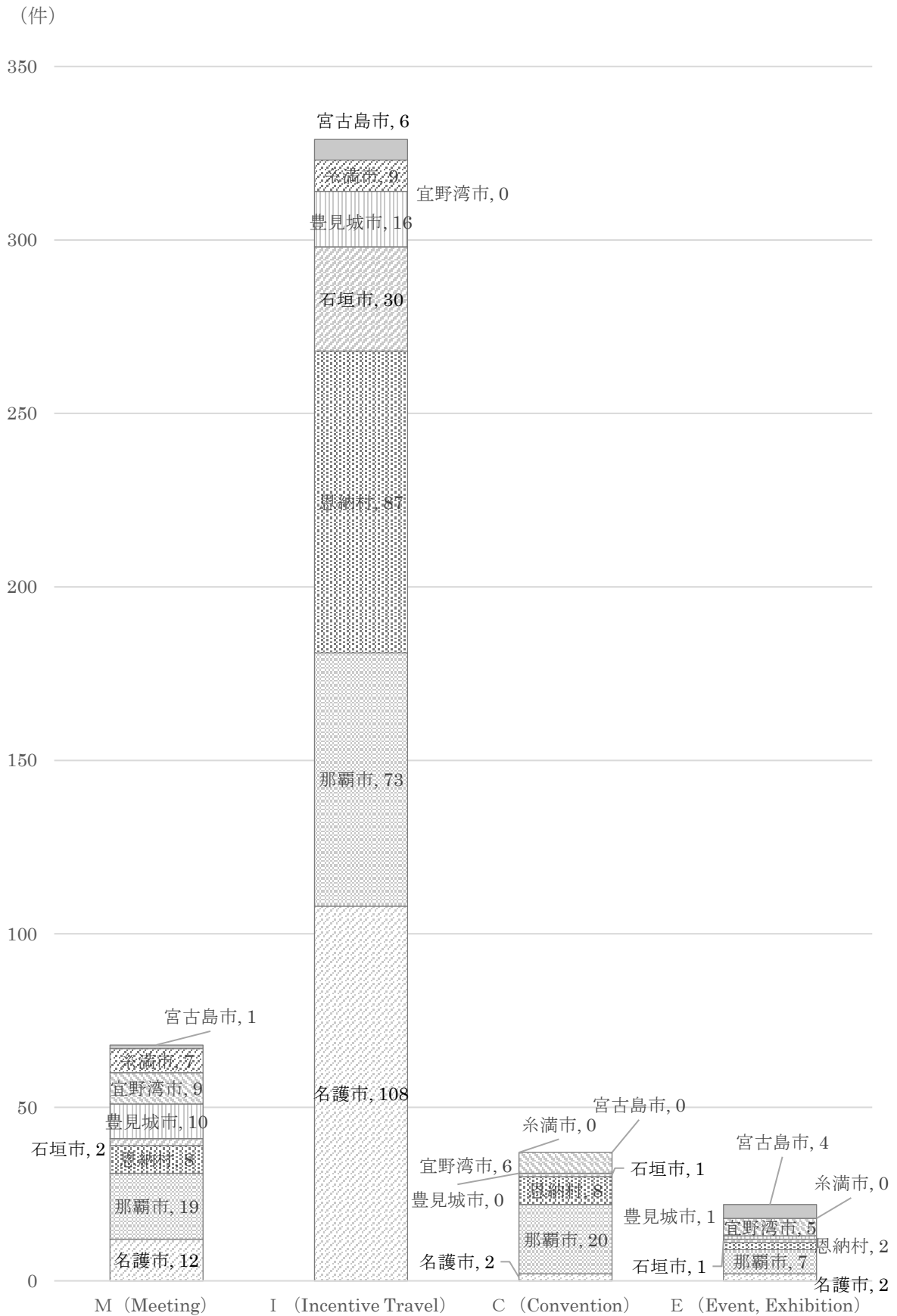
<参考> 令和2年 市町村別開催件数

図表46. 令和2年 市町村別開催件数

(単位:件)

	市町村名	開催件数	M(Meeting)	I(Incentive Travel)	C (Convention)	E(Event, Exhibition)
1	名護市	124	12	108	2	2
2	那覇市	119	19	73	20	7
3	恩納村	105	8	87	8	2
4	石垣市	34	2	30	1	1
5	豊見城市	27	10	16	0	1
6	宜野湾市	20	9	0	6	5
7	糸満市	16	7	9	0	0
8	宮古島市	11	1	6	0	4
9	南城市	9	1	4	1	3
10	読谷村	6	1	4	1	0
11	うるま市	6	6	0	0	0
12	北谷町	3	1	2	0	0
13	本部町	3	0	2	0	1
14	浦添市	2	1	0	0	1
15	沖縄市	2	2	0	0	0
16	与那原町	2	1	0	0	1
17	西原町	1	0	0	1	0
	合計	490	81	341	40	28

図表47. 令和2年 催事別 市町村別 開催件数  
 (年間開催件数が10件未満の市町村を除く)



#### (4) エリア別・市町村別参加者数

エリア別参加者数は、本島南部が 60,287 人で最も多く、次いで本島東海岸の 7,217 人、本島中部の 7,022 人となっている。これは、後述の市町村別開催件数で上位となっている那覇市と沖縄市、宜野湾市がそれぞれ含まれていることに起因していると考えられる。

市町村別参加者数は、那覇市が 58,451 人で最も多く、続いて沖縄市の 6,951 人、宜野湾市の 5,693 人の順となっている。このうち、沖縄市、宜野湾市の 2 市について、開催件数では名護市(2位)・石垣市(3位)等よりも下位になっているが(沖縄市:8位、宜野湾市:7位)、沖縄市には「沖縄アリーナ」、宜野湾市には「沖縄コンベンションセンター」といった大型施設が所在しており、参加者数の多い大型催事が開催されたことから、参加者数では上位に位置している。

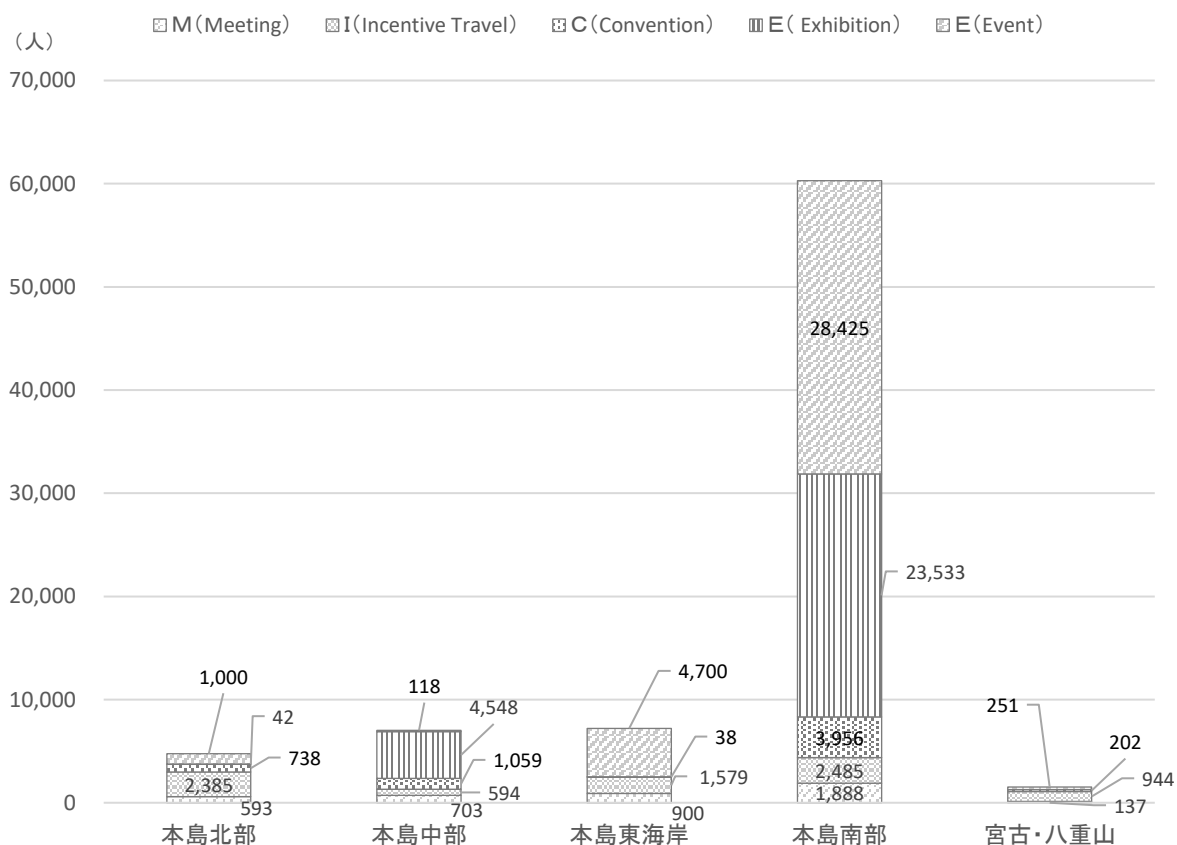
図表48. 令和3年 MICEエリア別参加者数

(単位:人)

エリア区分	参加者数	M	I	C	Ex	Ev
本島北部	4,758	593	2,385	738	42	1,000
本島中部	7,022	703	594	1,059	4,548	118
本島東海岸	7,217	900	1,579	38	0	4,700
本島南部	60,287	1,888	2,485	3,956	23,533	28,425
宮古・八重山	1,534	137	944	202	0	251
計	80,818	4,221	7,987	5,993	28,123	34,494

※MICE エリア区分については、図表 42(33 ページ)を参照のこと。

図表49. 令和3年 エリア別参加者数

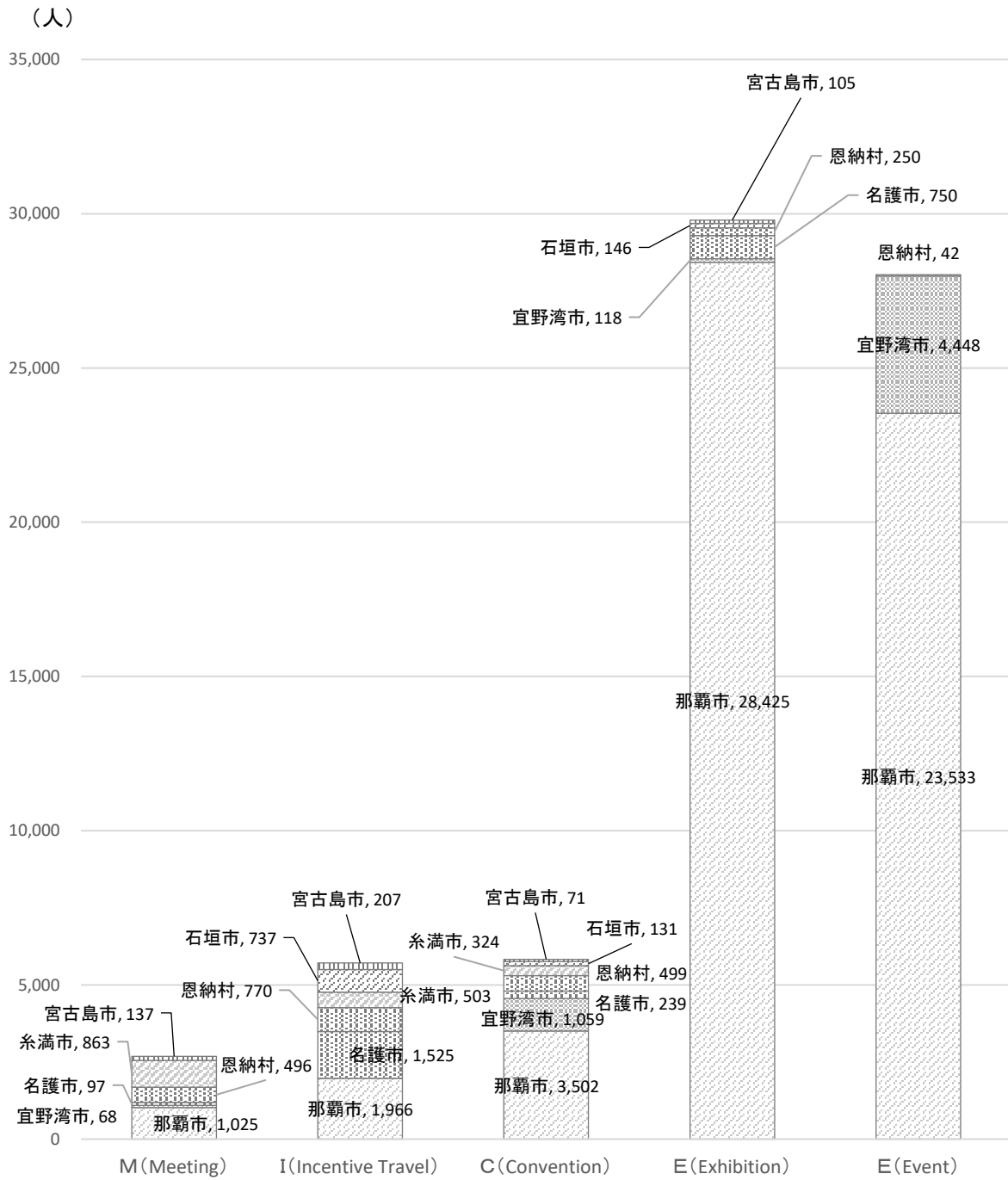


図表50. 令和3年 市町村別参加者数

(単位:人)

	市町村名	参加者数	M(Meeting)	I(Incentive Travel)	C (Convention)	E (Exhibition)	E(Event)
1	那覇市	58,451	1,025	1,966	3,502	23,533	28,425
2	沖縄市	6,951	900	1,538	38	0	4,475
3	宜野湾市	5,693	68	0	1,059	4,448	118
4	名護市	2,611	97	1,525	239	0	750
5	恩納村	2,057	496	770	499	42	250
6	糸満市	1,690	863	503	324	0	0
7	石垣市	1,014	0	737	131	0	146
8	浦添市	726	150	476	0	100	0
9	宮古島市	520	137	207	71	0	105
10	読谷村	414	357	57	0	0	0
11	南城市	201	0	41	0	0	160
12	北谷町	189	128	61	0	0	0
13	豊見城市	146	0	16	130	0	0
14	国頭村	90	0	90	0	0	0
15	北中城村	55	0	0	0	0	55
16	うるま市	10	0	0	0	0	10
	合計	80,818	4,221	7,987	5,993	28,123	34,494

図表51. 令和3年 催事別 市町村別 参加者数  
(年間開催件数が10件未満の市町村を除く)



## (5) 施設別開催件数

施設別開催件数をみると例年、ホテルや会議施設の利用が多くなっており、令和3年も同様にホテルでの開催が185件(前年比65%、101件減)、会議施設が69件(前年比101%、1件増)の結果となっている。

また、ユニークベニューでは特別感や地域特性を演出できるため「Incentive Travel」の開催が多く、新型コロナウイルス感染症の影響を受けない平成31年(令和元年)では433件開催されていたが、その他の施設別開催件数と同様に令和2年から令和3年の2年間で大幅に減少している。さらに令和3年は9件の開催にとどまり、令和2年との比較でも(前年比9%、96件減)減少した結果となっている。

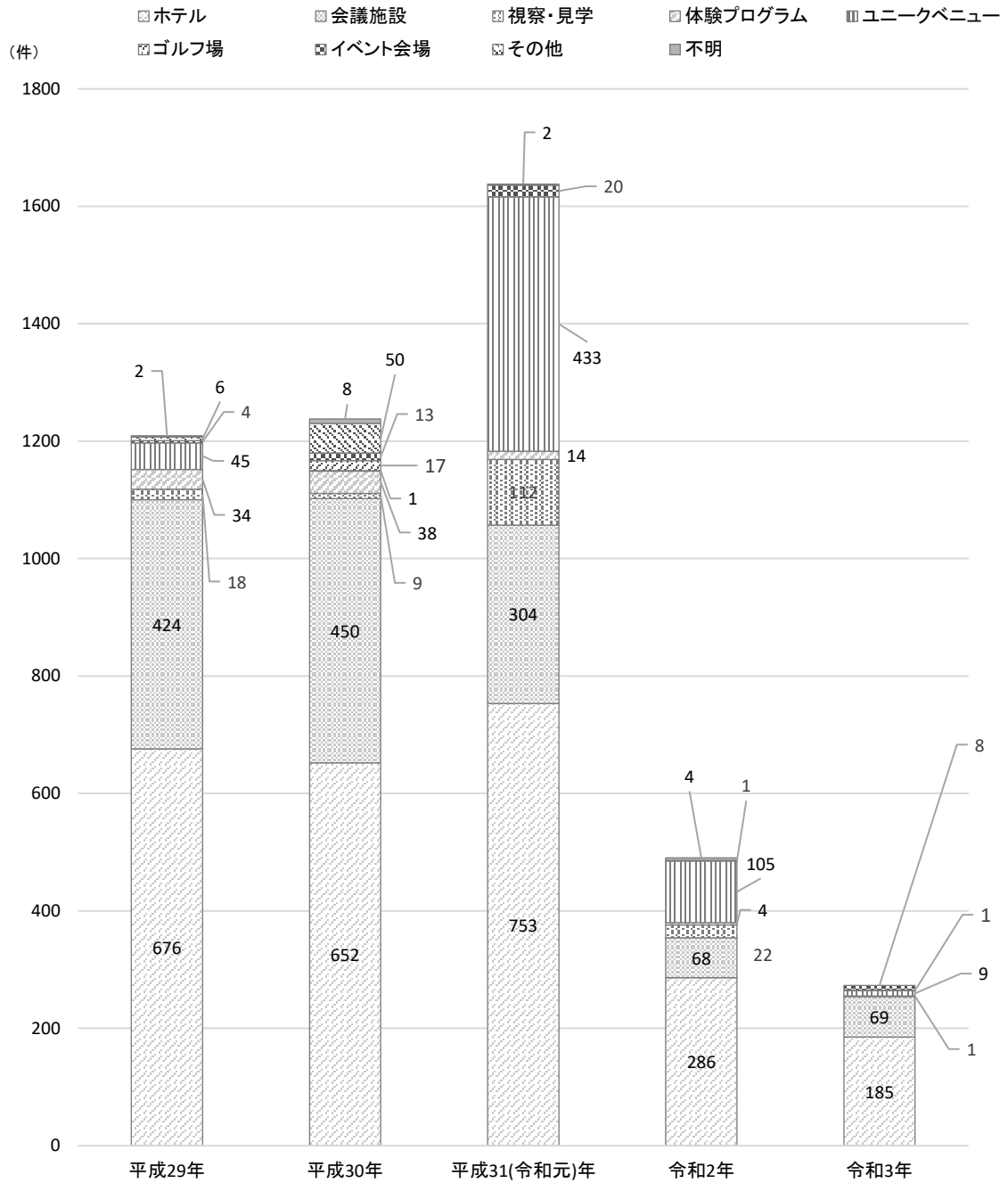
図表52. 施設別開催件数【平成29年～令和3年】

(単位:件)

No		平成29年					平成30年					平成31(令和元)年				
		M	I	C	E	計	M	I	C	E	計	M	I	C	E	計
1	ホテル	67	533	47	29	676	70	511	57	14	652	87	609	42	15	753
2	会議施設	105	64	154	101	424	86	78	171	115	450	40	26	169	69	304
3	視察・見学	1	14	3	0	18	0	8	1	0	9	0	112	0	0	112
4	体験プログラム	4	23	0	7	34	0	31	1	6	38	0	13	1	0	14
5	ユニークベニュー	0	31	5	9	45	0	1	0	0	1	0	429	2	2	433
6	ゴルフ場	0	0	0	0	0	3	1	0	13	17	0	0	0	0	0
7	イベント会場	0	1	0	3	4	4	1	4	4	13	0	2	1	17	20
8	その他	0	4	0	2	6	7	36	7	0	50	1	0	1	0	2
9	不明	0	1	0	1	2	0	7	0	1	8	0	0	0	0	0
	合計	177	671	209	152	1,209	170	674	241	153	1,238	128	1,191	216	103	1,638

No		令和2年					令和3年					
		M	I	C	E	計	M	I	C	Ex	Ev	計
1	ホテル	44	222	11	9	286	30	135	6	5	9	185
2	会議施設	20	7	28	13	68	20	7	29	8	5	69
3	視察・見学	4	18	0	0	22	0	1	0	0	0	1
4	体験プログラム	0	3	0	1	4	0	0	0	0	0	0
5	ユニークベニュー	11	88	1	5	105	0	5	1	0	3	9
6	ゴルフ場	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
7	イベント会場	0	1	0	0	1	0	0	0	1	7	8
8	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	不明	2	2	0	0	4	0	0	0	0	0	0
	合計	81	341	40	28	490	51	148	36	14	24	273

図表53. 施設別開催件数の推移 【平成29年～令和3年】



## 1-6. 新型コロナウイルス感染症 MICE 影響調査

本調査は、当初開催予定だったものの中止となった催事(翌年以降に延期された催事を含む)と、実際に開催されたものの開催方式の変更(オンライン開催、ハイブリッド開催)により県外および海外からの参加者が10人に満たなくなった催事等(\*1)について、その件数や開催予定規模などを調査し、新型コロナウイルス感染症の流行が本県のMICE開催に与えた影響を把握することを目的としている。

なお「Exhibition, Event」カテゴリーの大規模催事については、当初想定に参加者数把握が困難なケースがあったため、主催企業・団体へのヒアリングにより、開催予定会場の通常時収容人数、例年の参加者数(県内・県外・海外内訳の割合を含む)を元に数値を計上することとした。

(\*1) 開催方式が実会場開催からオンライン・ハイブリッド開催へ変更となった結果、本調査のガイドラインで定める「県外・海外参加者10人以上の催事」を満たさなくなった催事については、コロナの影響を大きく受けた催事として、その経済損失を図るため、中止案件として取り扱う。

### 1-6-1. 調査結果概要(全体の中止件数)

令和3年における中止案件は全体で470件となった。なお、本調査過程において「中止案件の把握が難しい」「下半期は予約自体がない」との回答が一定数寄せられているため、新型コロナウイルス感染症流行の影響を受けた案件すべてを網羅できた数値でないことに留意されたい。

中止理由については主催者判断であるためすべてを把握できないものの、本調査の回答や主催者企業・団体へのヒアリングから、主催者の多くは、本県の新型コロナウイルス感染症流行状況や政府等による移動自粛要請などを鑑みて開催可否を検討していたことが分かった。

中止案件の内訳として、M「44件」、I「290件」、C「119件」、Ex「7件」、Ev「10件」の合計470件となっている。

新型コロナウイルス感染拡大以前から沖縄県で開催されるMICEでは「Incentive」が最も多いことから、令和3年の中止件数も最多となっている。

「Convention」は、1,000人以上の催事・海外参加予定者のある催事が9件予定されていたが中止になった案件のほか、開催方式のオンライン開催への変更によって現地参加者を大幅に制限したことで、本調査においては中止案件と扱われた案件も複数含まれている。

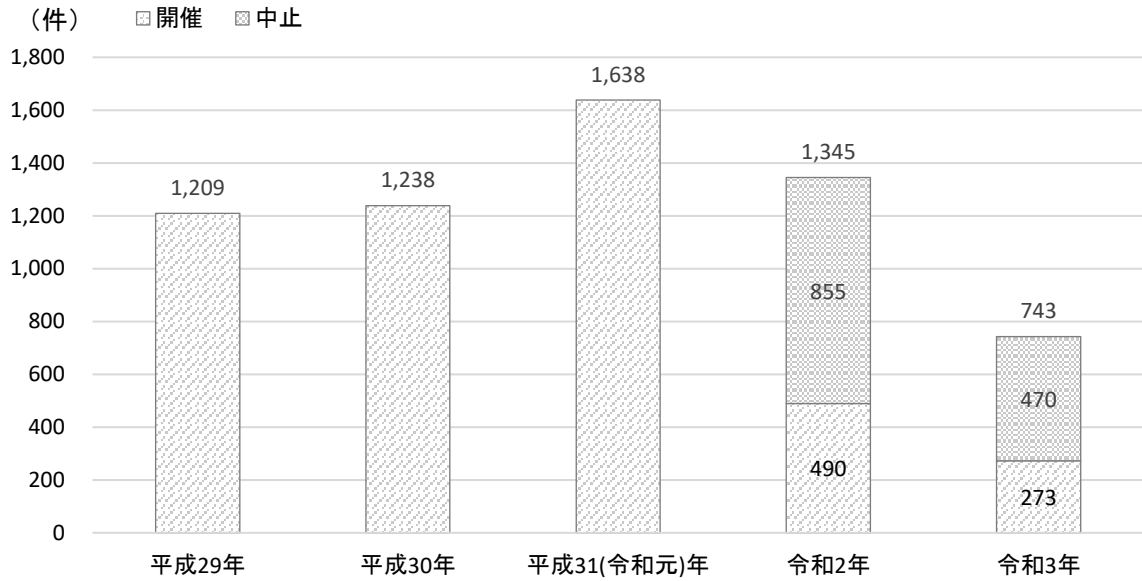
「Exhibition」「Event」は県民向けの催事が多く、県内の感染状況を見据え中止となったものと考えられる。

図表54. 新型コロナウイルス感染症の影響を受けたMICE件数等一覧

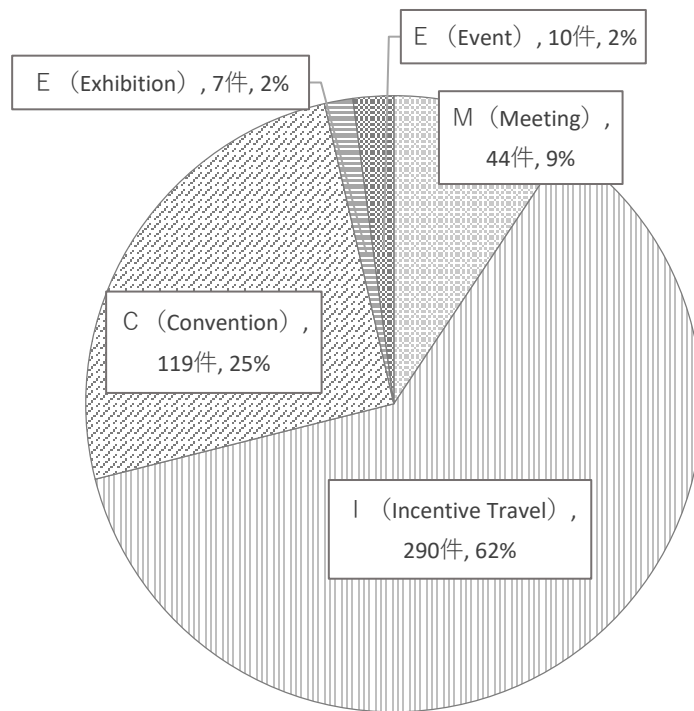
	中止件数 (件)	参加者1,000人以上の催事 (件)	海外参加予定者のある催事 (件)	うち海外参加予定者10人以上の催事 (件)	うち海外参加予定者50人以上の催事 (件)	参加予定者総数(人)
M	44	0	0	0	0	2,703
I	290	5	1	1	1	38,064
C	119	9	54	50	18	35,124
Ex	7	2	0	0	0	17,644
Ev	10	6	1	1	1	104,675
合計	470	22	56	52	20	198,210



図表55. 開催件数の推移（中止件数を合計した経年比較）



図表56. 催事別中止件数の割合



※前述の通り、令和3年度におけるMICEの中止件数総数は470件であった。しかし、当該件数には、参加を予定していた人数が不明な催事も含まれており、次頁以降の一部の項においては、参加予定者数が把握・計上できた455件をもとに整理・分析を行っている。

### (1) 規模別開催・中止件数

本県は新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前から小規模催事（10～99人）、中規模催事（100～999人）の割合が高く、令和3年もまた小規模催事（275件、60%）、中規模催事（156件、34%）の割合が高い結果となっている。

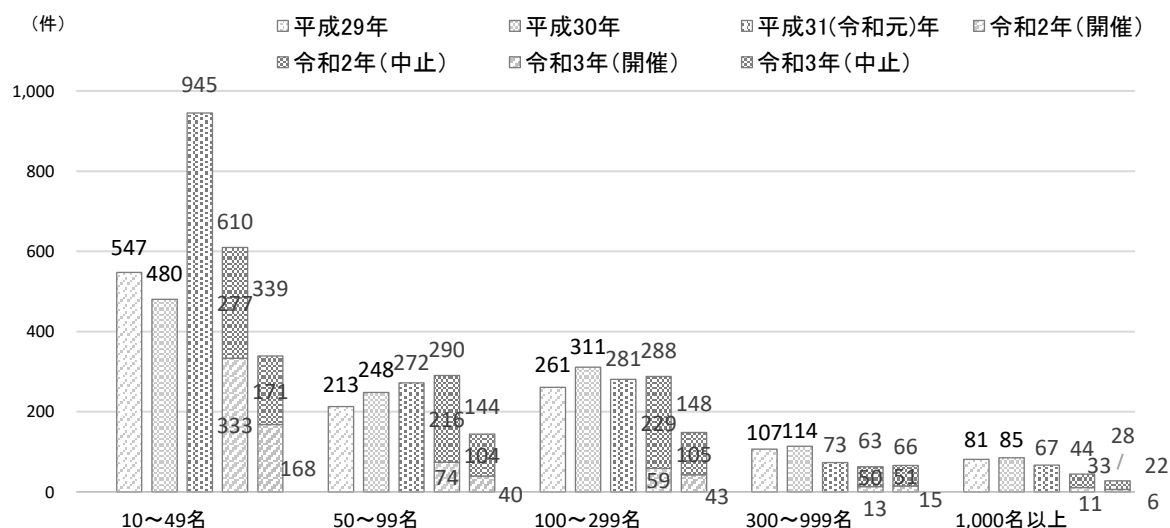
規模別の催事件数は、これまで県外関係の多かった300人未満の規模の催事について、新型コロナウイルス感染症の流行の長期化もあり、令和2年に引き続き大きく減少した。

また、催事の中止も令和2年に引き続き多くみられ、緊急事態宣言等に伴う休業等の経済活動停滞の長期化から主要企業等の財務状況悪化による資金面の不安もあり、開催を見送ったものと思われる。

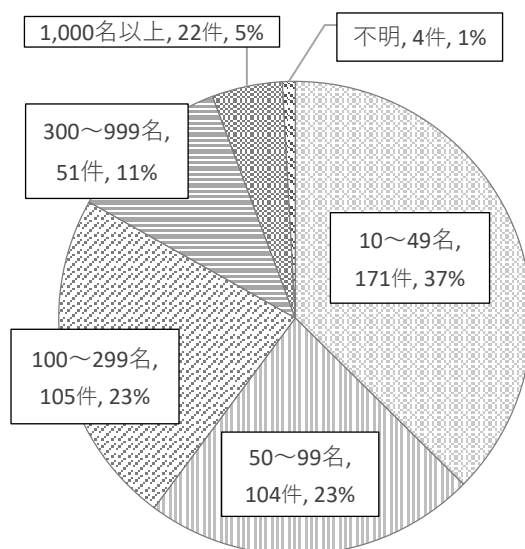
なお、300人～999人規模の催事については、13件から15件と増加したものの、平成31年（令和元年）の2割弱と低い水準にある。

こうした大幅減少の要因としては、新型コロナウイルス感染症流行の長期化により、MICE開催が及ぼす企業イメージの毀損等の影響が考慮されたことだけでなく、緊急事態宣言等に伴う休業等の経済活動停滞の長期化から主催企業等の財務状況悪化による資金面の不安があり、令和3年においては当初から開催を見送った主催者が少なくないものと思われる。

図表57. 規模別催事件数（中止件数を含む）



図表58. 規模別中止件数の割合



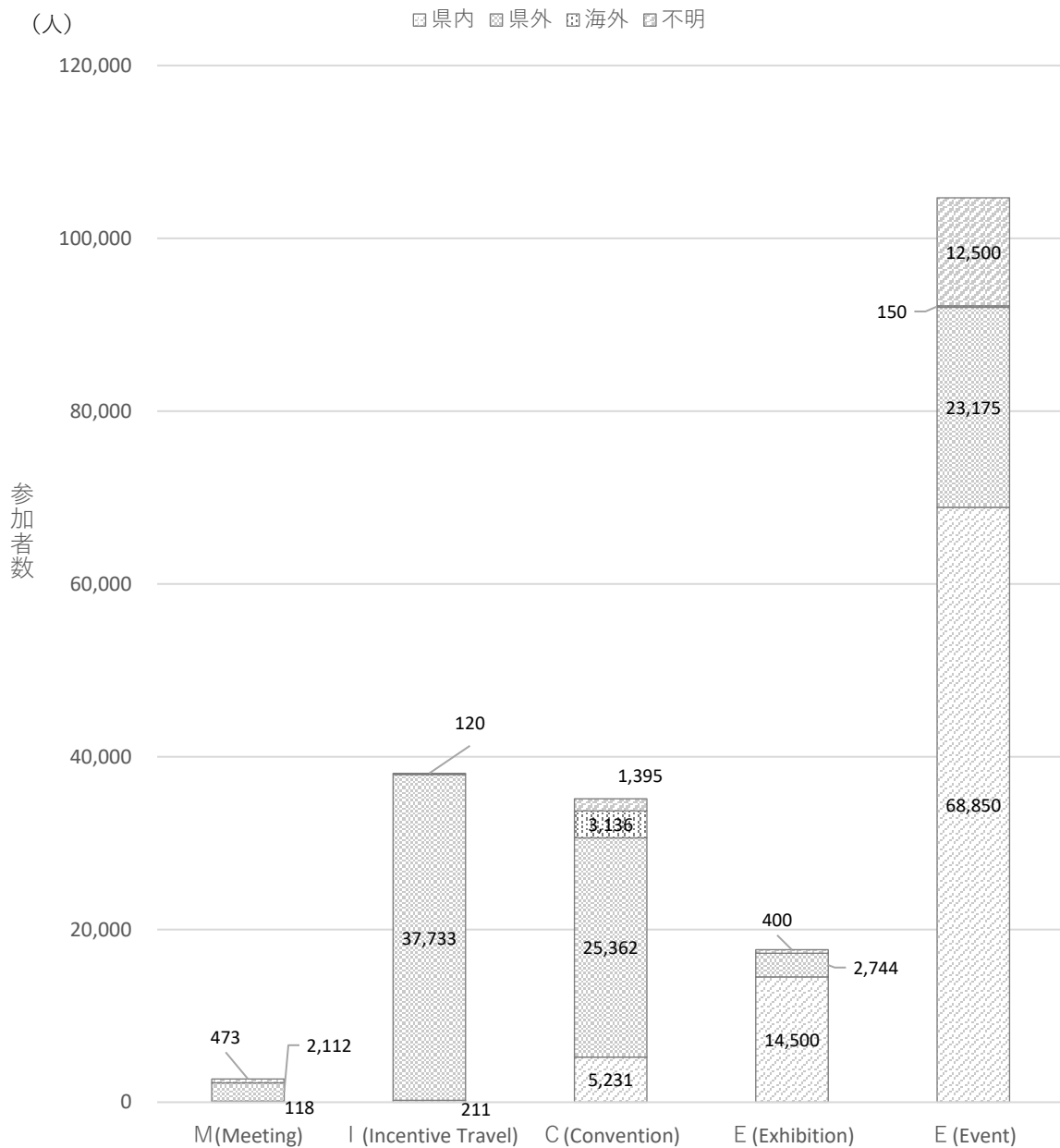
## 1-6-2. 参加区分から見た実態

### (1) 中止案件における参加予定者の地域分布

参加者の地域分布を見ると、「Event」の県内からの参加予定者数が突出している。これは沖縄県内の参加者をメインターゲットとした「わったー那覇めしグランプリウィーク（参加者合計：60,000）」や「第3回島酒フェスタ 2020（参加者合計：15,500）」等の催事が開催予定であったからである。（県外参加者予定数が県民参加者予定数を上回る案件は2件のみ。）

一方で「Meeting」、「Incentive Travel」、「Convention」については県外からの参加予定者の割合が高く、政府による県外移動自粛要請等の影響で中止となったものと考えられる。

図表59. 中止案件における参加予定者の地域分布



## (2) エリア別・市町村別中止件数

エリア別中止件数は、本島北部(245件)、本島南部(102件)の順となっている。

市町村別では、名護市(131件)、恩納村(107件)、那覇市(87件)の順となった。名護市、恩納村にはリゾートホテルが多く所在しており、もともと「Incentive Travel」に強い地域であることから「Incentive Travel」の開催中止が相次いだことが大きく影響した。また、恩納村、那覇市、宜野湾市では「Convention」の中止も多い。那覇市・宜野湾市の両市については沖縄コンベンションセンター(宜野湾市)や沖縄県市町村自治会館(那覇市)などの会議施設が多く立地しているほか、恩納村では沖縄科学技術大学院大学を会場とする国際学会等が軒並み中止(またはオンライン開催)となったことが大きく影響している。

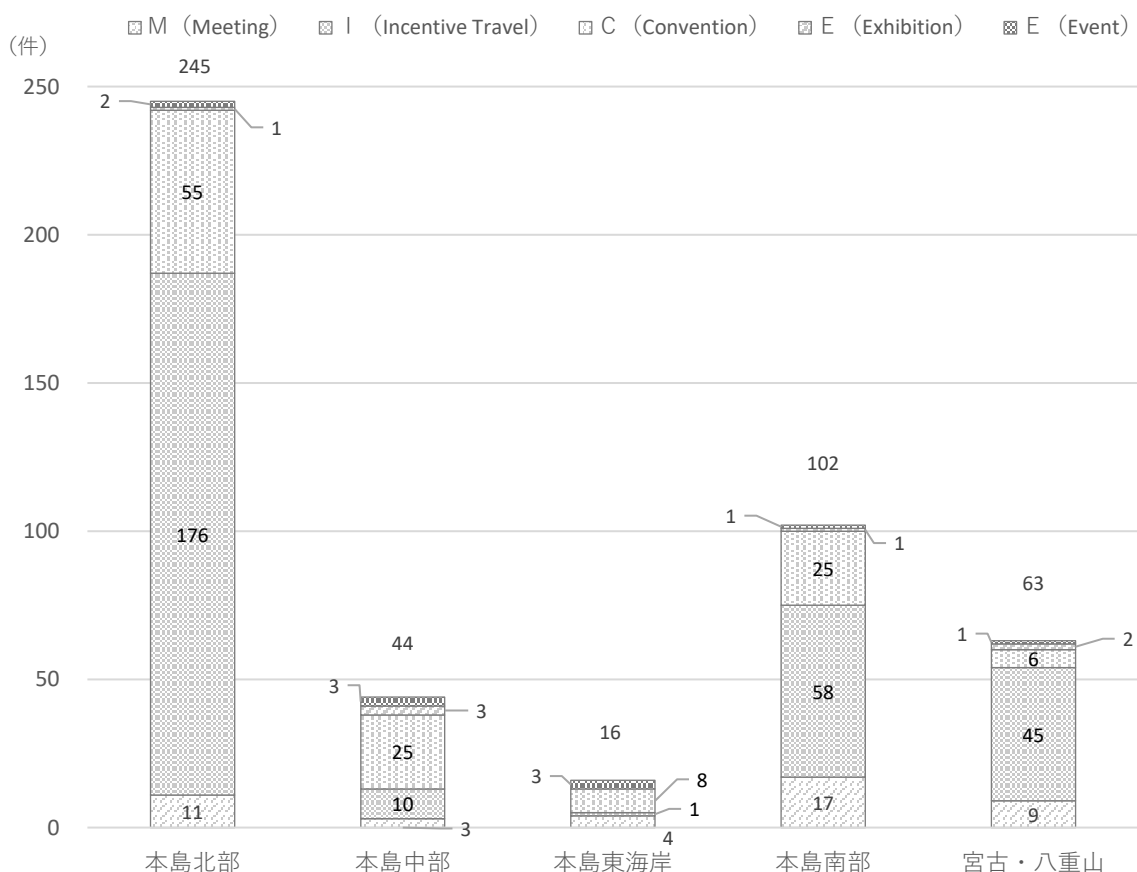
図表60. 令和3年 MICE エリア別中止件数

(単位:件)

エリア区分	中止件数	M	I	C	Ex	Ev
本島北部	245	11	176	55	1	2
本島中部	44	3	10	25	3	3
本島東海岸	16	4	1	8	0	3
本島南部	102	17	58	25	1	1
宮古・八重山	63	9	45	6	2	1
計	470	44	290	119	7	10

※MICE エリア区分については、図表 42(33 ページ)を参照のこと。

図表61. 令和3年 エリア別中止件数

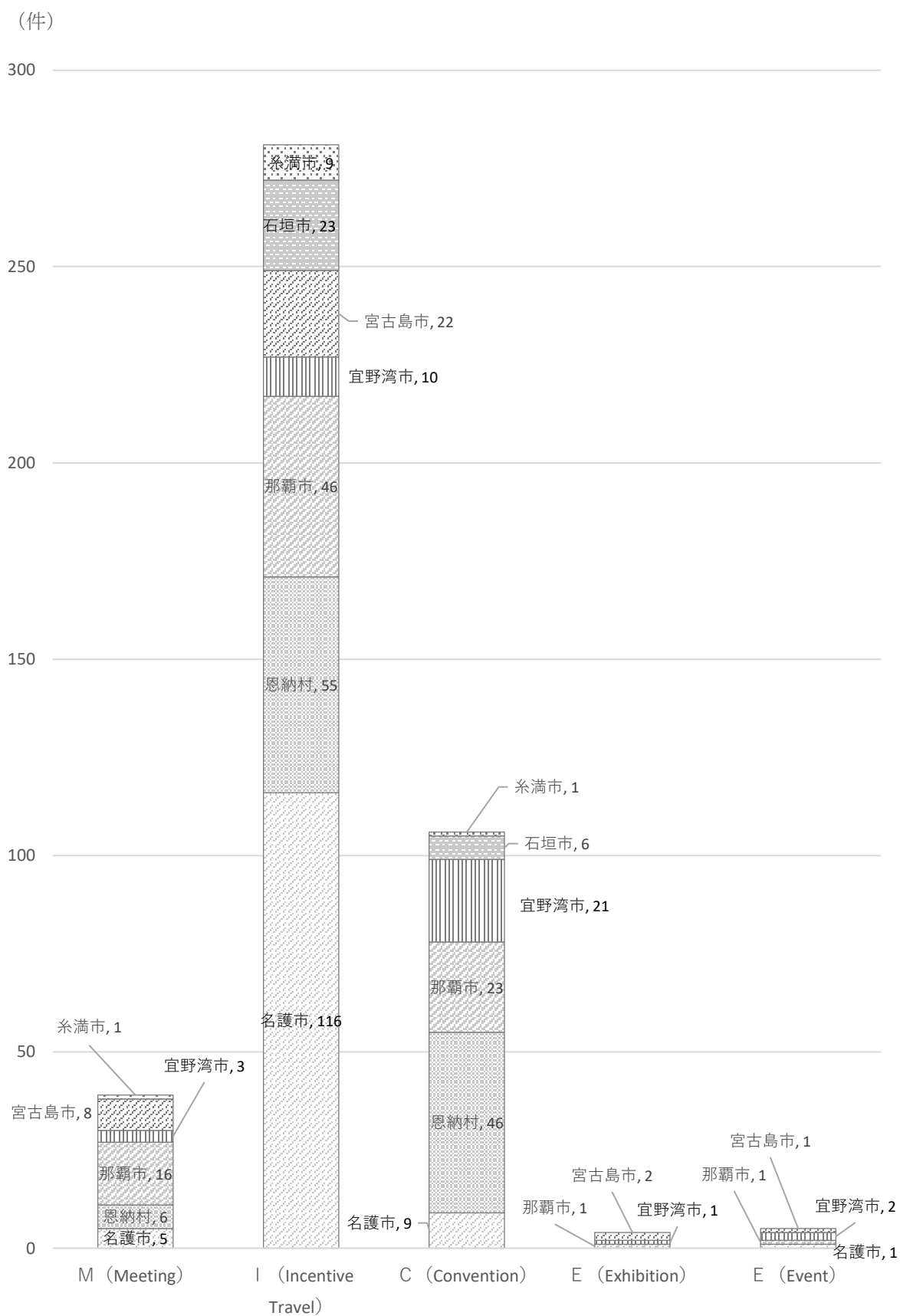


図表62. 令和3年 市町村別中止件数

(単位:件)

	市町村名	開催件数	M(Meeting)	I(Incentive Travel)	C(Convention)	E(Exhibition)	E(Event)
1	名護市	131	5	116	9	0	1
2	恩納村	107	6	55	46	0	0
3	那覇市	87	16	46	23	1	1
4	宜野湾市	37	3	10	21	1	2
5	宮古島市	34	9	22	0	2	1
6	石垣市	29	0	23	6	0	0
7	糸満市	11	1	9	1	0	0
8	西原町	9	4	0	5	0	0
9	本部町	7	0	5	0	1	1
10	浦添市	5	0	0	2	2	1
11	沖縄市	5	0	1	1	0	3
12	豊見城市	3	0	3	0	0	0
13	南城市	2	0	0	2	0	0
14	南風原町	1	0	0	1	0	0
15	読谷村	1	0	0	1	0	0
16	北谷町	1	0	0	1	0	0
	合計	470	44	290	119	7	10

図表63. 令和3年 催事別 市町村別 中止件数  
 (年間開催件数が10件未満の市町村を除く)



### (3) エリア別・市町村別参加予定者数（中止案件）

エリア別の参加予定者数は、本島南部(91,969人)、本島中部(41,984人)の順となっている。

市町村別では那覇市(88,564人)、宜野湾市(39,764人)、沖縄市(19,500人)の順となった。

那覇市については「Event」の大規模催事1件(わったー那覇めしグランプリウィーク、60,000人)の影響が特に大きかったほか、宜野湾市では沖縄コンベンションセンターでの「Convention」「Event」の複数の大規模催事、沖縄市では沖縄アリーナでの「Event」の大規模催事が中止された影響が大きかった。

名護市、恩納村、宮古島市は、「Incentive Travel」の中止件数が非常に多く、参加予定者数も中止件数に比例する形で多くなっているほか、恩納村については、沖縄科学技術大学院大学での開催が予定されていた国際学会等の多くが中止(またはオンライン開催)となったことが大きく影響している。

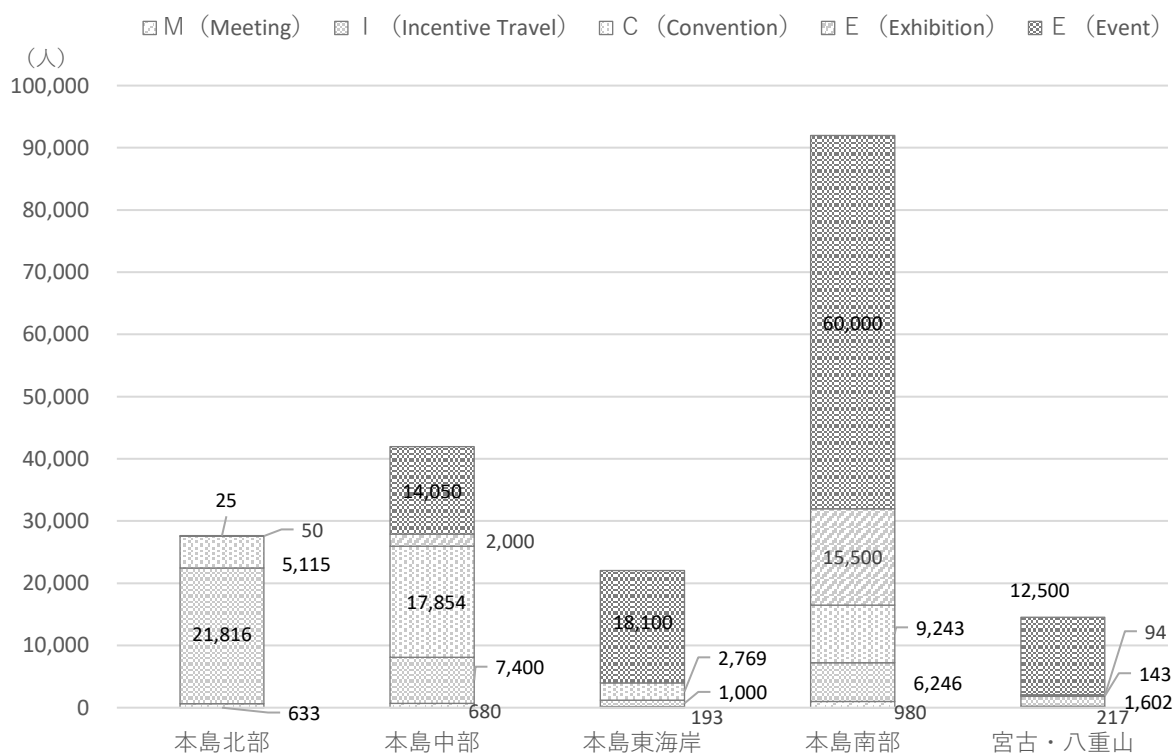
図表64. 令和3年 MICE エリア別参加予定者数

(単位:人)

エリア区分	参加予定者数	M	I	C	Ex	Ev
本島北部	27,639	633	21,816	5,115	50	25
本島中部	41,984	680	7,400	17,854	2,000	14,050
本島東海岸	22,062	193	1,000	2,769	0	18,100
本島南部	91,969	980	6,246	9,243	15,500	60,000
宮古・八重山	14,556	217	1,602	143	94	12,500
計	198,210	2,703	38,064	35,124	17,644	104,675

※MICE エリア区分については、図表 42(33 ページ)を参照のこと。

図表65. 令和3年 エリア別参加予定者数



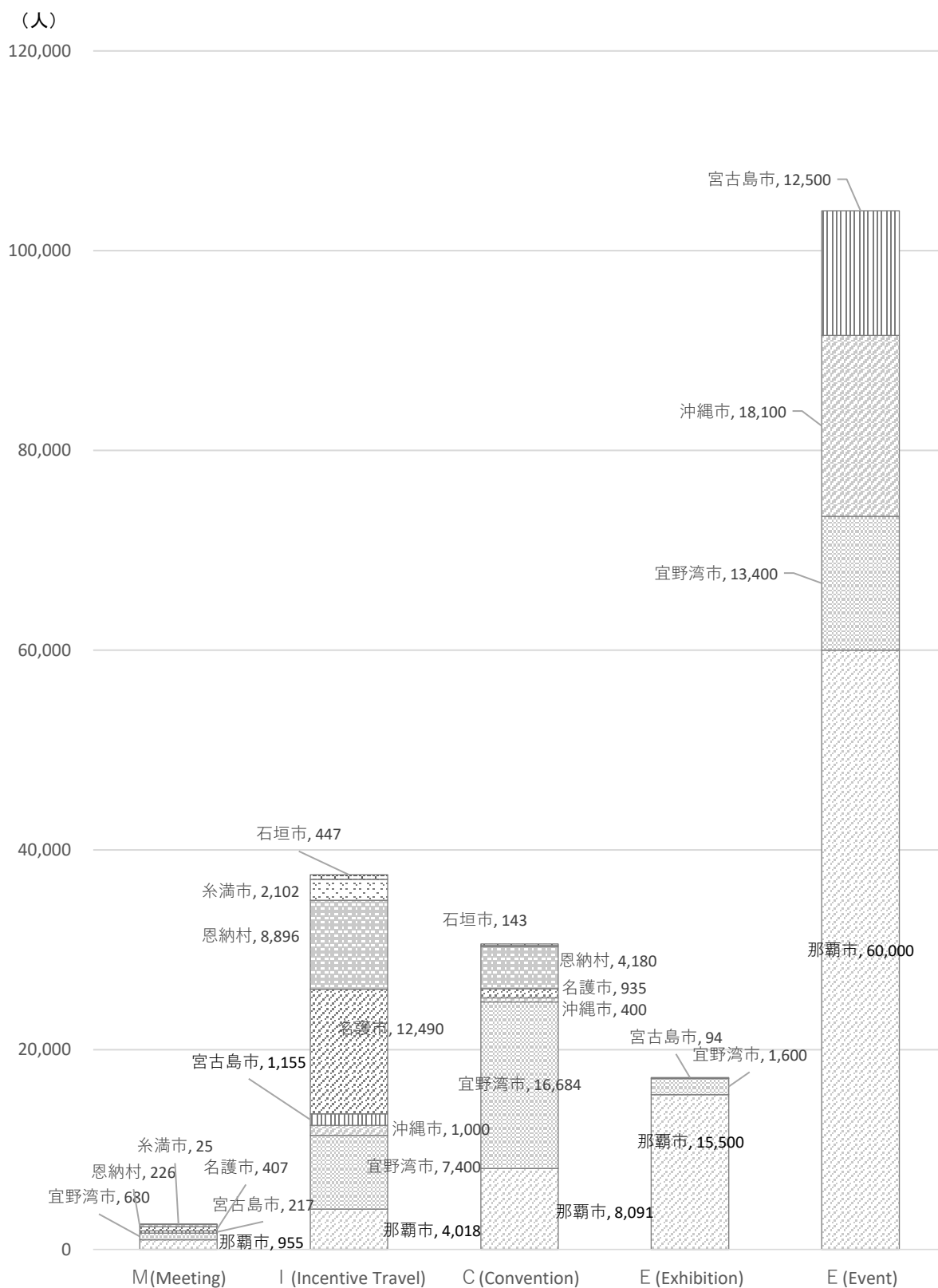
図表66. 令和3年 市町村別参加予定者数

(単位:人)

	市町村名	参加 予定者数	M(Meeting)	I(Incentive Travel)	C (Convention)	E (Exhibition)	E(Event)
1	那覇市	88,564	955	4,018	8,091	15,500	60,000
2	宜野湾市	39,764	680	7,400	16,684	1,600	13,400
3	沖縄市	19,500	0	1,000	400	0	18,100
4	宮古島市	13,966	217	1,155	0	94	12,500
5	名護市	13,832	407	12,490	935	0	0
6	恩納村	13,302	226	8,896	4,180	0	0
7	西原町	2,352	193	0	2,159	0	0
8	糸満市	2,277	25	2,102	150	0	0
9	浦添市	2,000	0	0	950	400	650
10	南風原町	1,002	0	0	1,002	0	0
11	石垣市	590	0	447	143	0	0
12	本部町	505	0	430	0	50	25
13	南城市	210	0	0	210	0	0
14	読谷村	150	0	0	150	0	0
15	豊見城市	126	0	126	0	0	0
16	北谷町	70	0	0	70	0	0
	合計	198,210	2,703	38,064	35,124	17,644	104,675



図表67. 令和3年 催事別 市町村別 参加予定者数  
 (沖縄市を除き、年間開催件数が10件未満の市町村を除く)



### 1-6-3. 様々な区分から見た実態

#### (1) 産業別中止件数

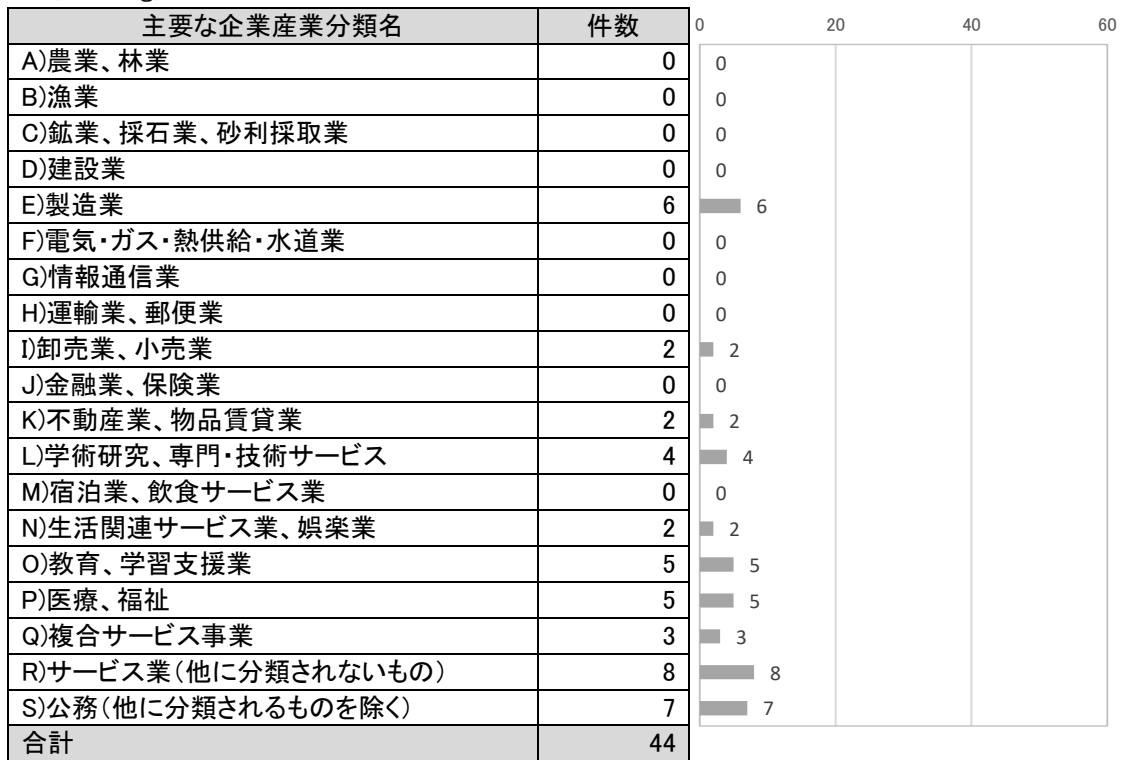
「Incentive Travel」の中止件数では「R）サービス業（その他に分類されないもの）」を除き、「E）製造業」、「I）卸売業・小売業」、「N）生活関連サービス業、娯楽業」が上位となり、参加予定者数では「E）製造業」、「J）金融業、保険業」、「N）生活関連サービス業、娯楽業」がそれぞれ上位3位の結果となった。

「Convention」では「2）科学・技術・自然」および「3）医学」が中止件数および参加予定者数の上位を占め、開催案件でも同様の結果が確認できている。これは、国立大学法人琉球大学、沖縄科学技術大学院大学が各学会の主催者となり行われている案件が多いからである。また、15件の開催が予定されていた「5）芸術・文化・教育」においては、13件の催事が中止となっている。

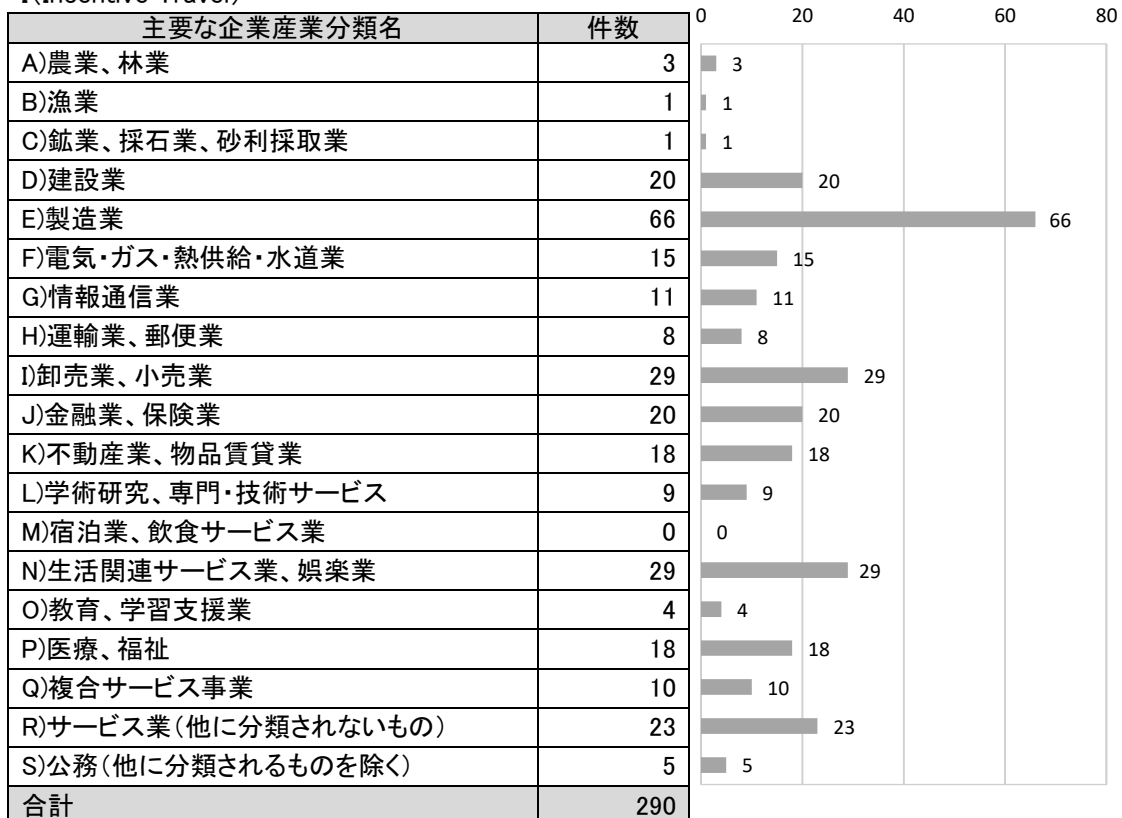
「Exhibition」については、「I）卸売業、小売業」で3件の中止件数があった。一方で、「Q）複合サービス事業」の中止件数は1件であったが、本催事は大型催事（島酒フェスタ）で15,500人の参加者が予定されていた。また、「Event」について、「N）生活関連サービス業、娯楽業」で3件の中止件数があった。一方で、「M）宿泊業、飲食サービス業」の中止件数は2件であったものの、うち1件は大型催事（わったー那覇めしグランプリウィーク）であり60,000人の参加見込があったものである。

図表68. 令和3年産業別中止件数

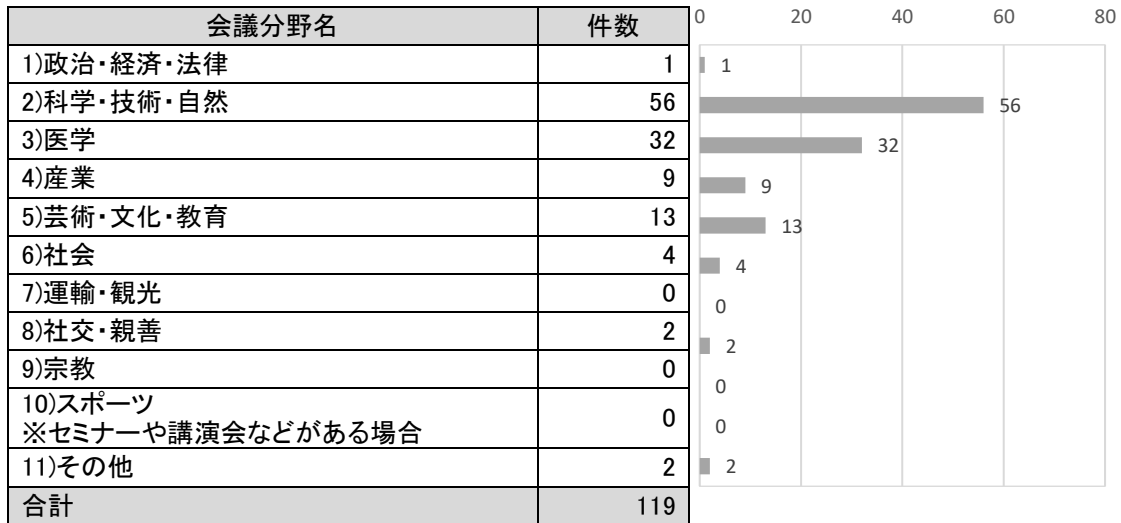
M(Meeting)



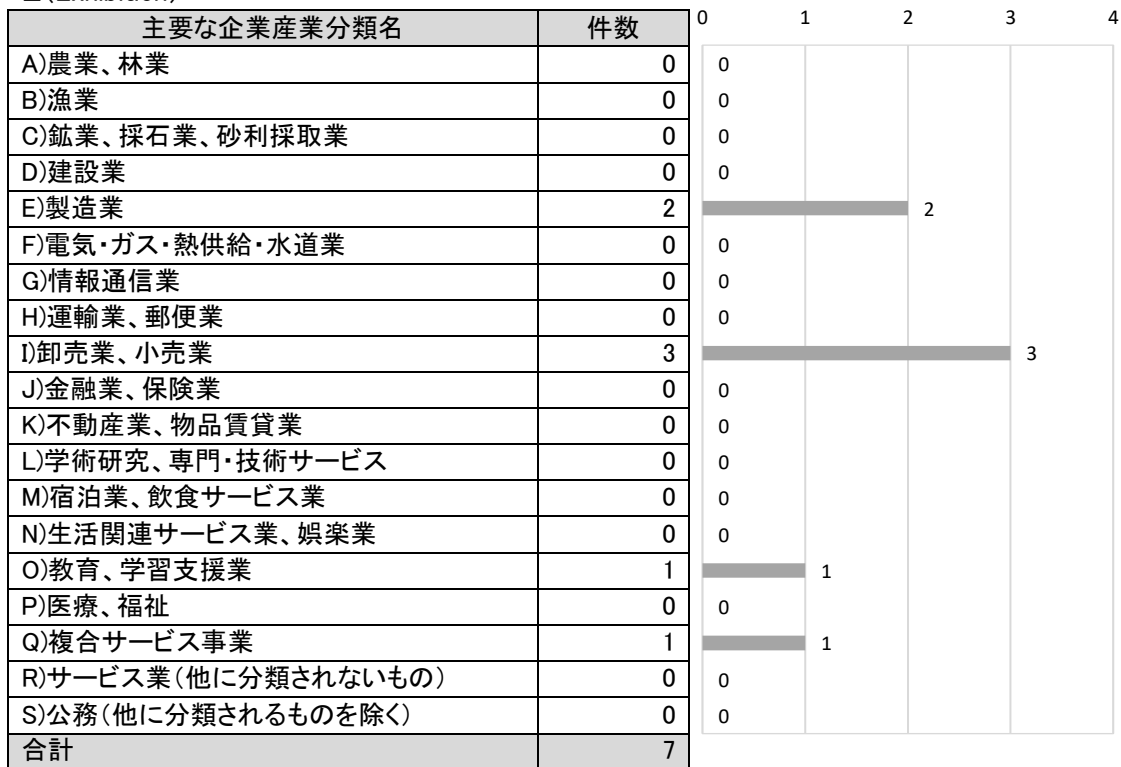
I(Incentive Travel)



C(Convention)



E(Exhibition)

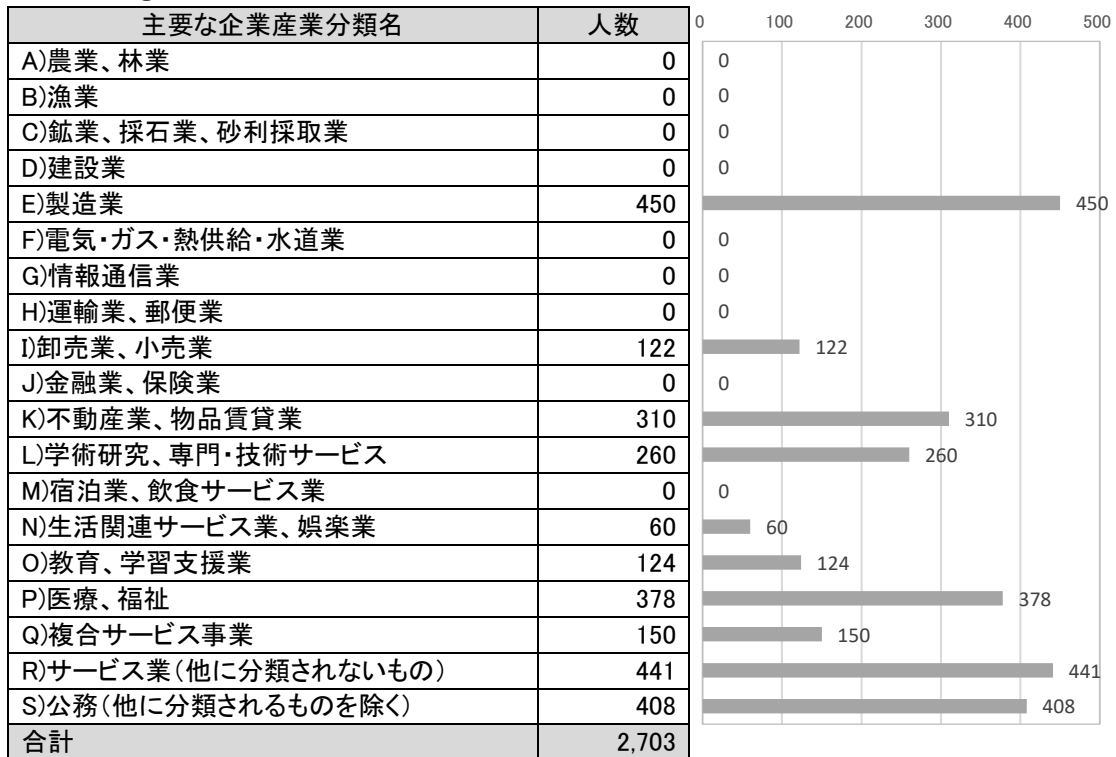


E(Event)

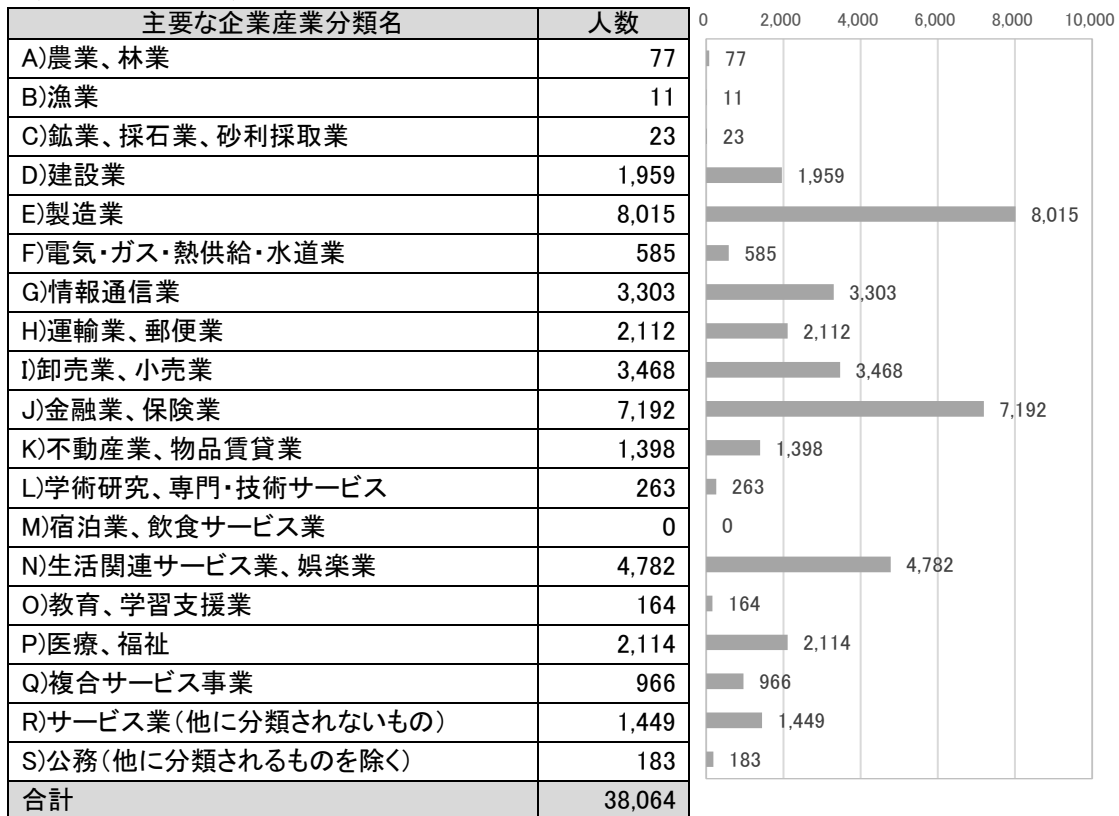
主要な企業産業分類名	件数	0	1	2	3	4	5
A)農業、林業	0	0					
B)漁業	0	0					
C)鉱業、採石業、砂利採取業	0	0					
D)建設業	0	0					
E)製造業	0	0					
F)電気・ガス・熱供給・水道業	0	0					
G)情報通信業	0	0					
H)運輸業、郵便業	0	0					
I)卸売業、小売業	0	0					
J)金融業、保険業	0	0					
K)不動産業、物品賃貸業	0	0					
L)学術研究、専門・技術サービス	0	0					
M)宿泊業、飲食サービス業	2			2			
N)生活関連サービス業、娯楽業	3				3		
O)教育、学習支援業	0	0					
P)医療、福祉	0	0					
Q)複合サービス事業	1		1				
R)サービス業(他に分類されないもの)	4					4	
S)公務(他に分類されるものを除く)	0	0					
合計	10						

図表69. 令和3年産業別参加予定者数

M(Meeting)

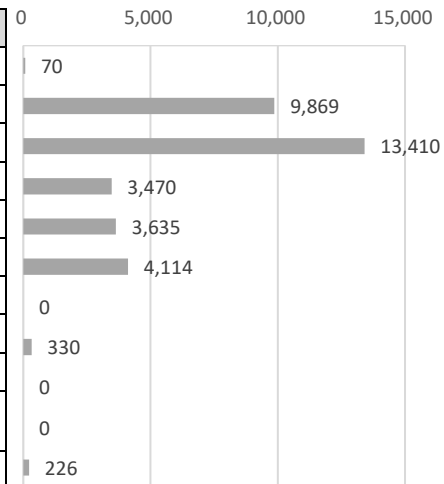


I(Incentive Travel)



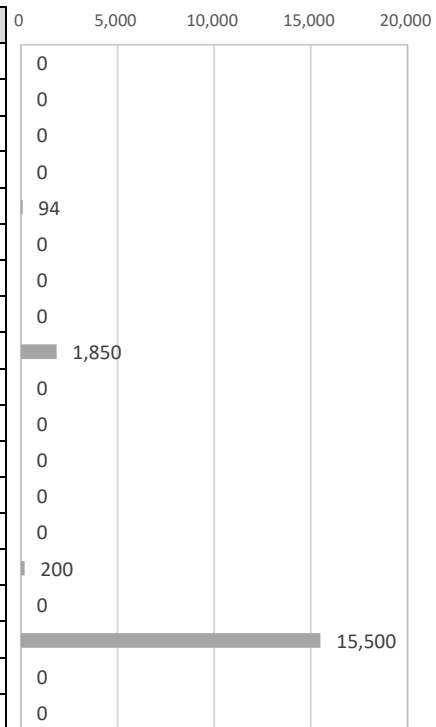
C(Convention)

会議分野名	人数
1)政治・経済・法律	70
2)科学・技術・自然	9,869
3)医学	13,410
4)産業	3,470
5)芸術・文化・教育	3,635
6)社会	4,114
7)運輸・観光	0
8)社交・親善	330
9)宗教	0
10)スポーツ ※セミナーや講演会などがある場合	0
11)その他	226
合計	35,124

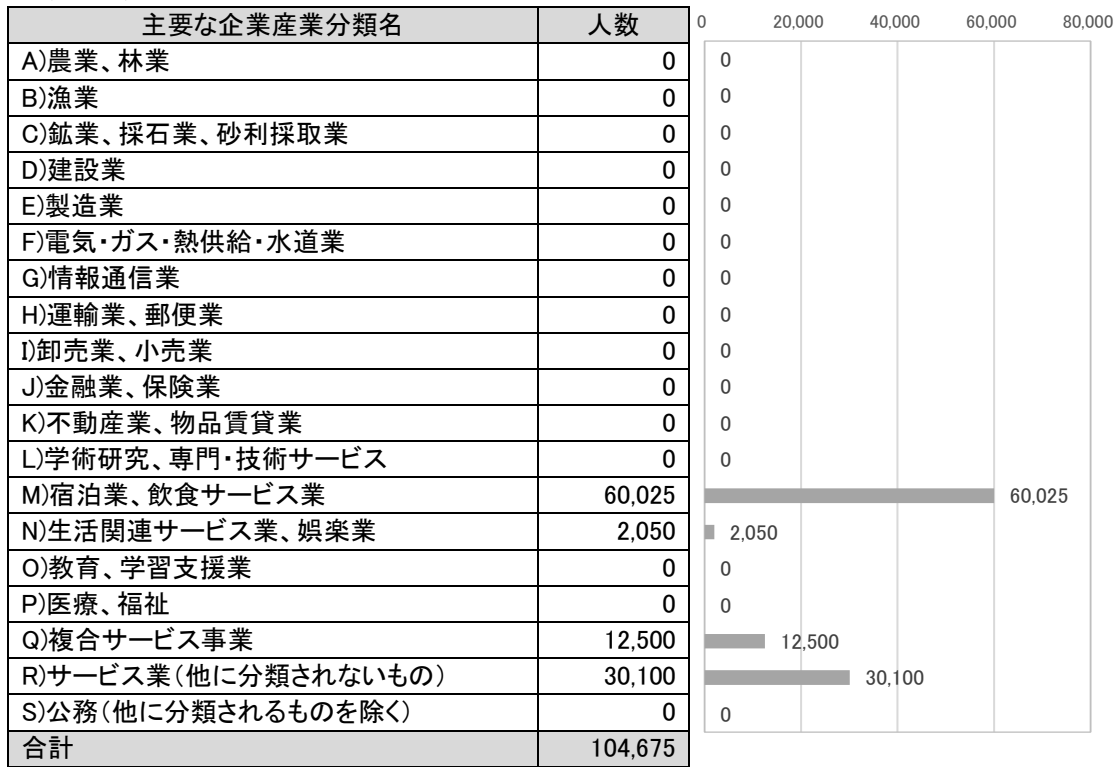


E(Exhibition)

主要な企業産業分類名	人数
A)農業、林業	0
B)漁業	0
C)鉱業、採石業、砂利採取業	0
D)建設業	0
E)製造業	94
F)電気・ガス・熱供給・水道業	0
G)情報通信業	0
H)運輸業、郵便業	0
I)卸売業、小売業	1,850
J)金融業、保険業	0
K)不動産業、物品賃貸業	0
L)学術研究、専門・技術サービス	0
M)宿泊業、飲食サービス業	0
N)生活関連サービス業、娯楽業	0
O)教育、学習支援業	200
P)医療、福祉	0
Q)複合サービス事業	15,500
R)サービス業(他に分類されないもの)	0
S)公務(他に分類されるものを除く)	0
合計	17,644



E(Event)





## 1-7. 経済波及効果の結果

平成 28 (2016) 年度に策定した「沖縄 MICE 振興戦略」で掲げる目標指標の達成状況を把握することを目的として、本調査で得られた基礎データを基に、経済効果の算出を行った。

### 1-7-1. 経済効果（直接効果）

経済効果（直接効果）の算出については、沖縄 MICE 振興戦略で示している以下の算出方法を用いた。なお平成 28 年度から消費税率が変わっているため、本調査においてはそれぞれの原単位の値について若干の修正を加えている。また、「不明」の参加者数は、催事別の県内・県外・海外の参加者の構成比に合わせて割り振りを行った。

算出結果は約 36 億円となり、令和 2 年の 43 億円から 7 億円の減少となった。

#### 【計算式】

$$\text{経済効果 (直接効果)} = \left[ \begin{array}{c} \text{参加者} \\ \text{原単位} \\ \text{(M/I/C/E)} \end{array} \times \begin{array}{c} \text{参加者} \\ \text{人数} \\ \text{(M/I/C/E)} \end{array} \right] + \left[ \begin{array}{c} \text{主催者} \\ \text{原単位} \\ \text{(M/I/C/E)} \end{array} \times \begin{array}{c} \text{参加者} \\ \text{人数} \\ \text{(M/I/C/E)} \end{array} \right] + \left[ \begin{array}{c} \text{出展者} \\ \text{原単位} \\ \text{(Exのみ)} \end{array} \times \begin{array}{c} \text{出展者数} \\ \text{(Exのみ)} \end{array} \right]$$

出典:沖縄県(平成 28(2016)年)「沖縄 MICE 振興戦略」より

図表70. 本調査において経済効果（直接）算出に用いた各種数値

区分	件数	参加者数(人)				参加者原単位(円)			主催者原単位(円)	一人当たりの直接経済効果(円)			
		県内	県外	海外	計	県内	県外	海外		県内	県外	海外	
						(a)			(b)	(a)+(b)			
M	51	1,403	2,818	0	4,221	3,829	31,294	56,549	39,051	42,880	70,346	95,601	
I	148	30	7,957	0	7,987	3,829	27,803	79,741	60,072	63,901	87,876	139,814	
C	36	1,639	4,354	0	5,993	12,094	68,661	74,302	50,282	62,377	118,944	124,585	
E	38	50,815	11,802	0	62,617	4,706	35,252	39,057	11,699	16,405	46,950	50,757	
内訳	Ex	14	17,772	10,351	0	28,123	7,854	72,781	100,618	21,122	28,976	93,903	121,741
	Ev	24	33,043	1,451	0	34,494	4,328	29,482	36,294	10,525	14,854	40,007	46,820
計	273	53,887	26,931	0	80,818								

※Ex: Exhibition (展示会・商談会)、Ev: Event (イベント)

図表71. 令和 3 年 催事別経済効果（直接効果）

(単位:億円)

区分	参加者消費額	主催者消費額	出展者支出額	直接効果	
	(a)	(b)	(c)	(a)+(b)+(c)	
M(Meeting)	0.9	1.6	-	2.5	
I(Incentive Travel)	2.2	4.8	-	7.0	
C(Convention, Conference)	3.1	3.0	-	6.1	
E(Event, Exhibition)	10.8	9.6	-	20.4	
内訳	Ex(展示会等)	8.9	5.9	-	14.8
	Ev(イベント)	1.9	3.6	-	5.5
計	17	19	-	36	

※それぞれの合計値については小数点以下四捨五入により計算。

図表72. 経済効果(直接効果)の推移(平成29年～令和3年)

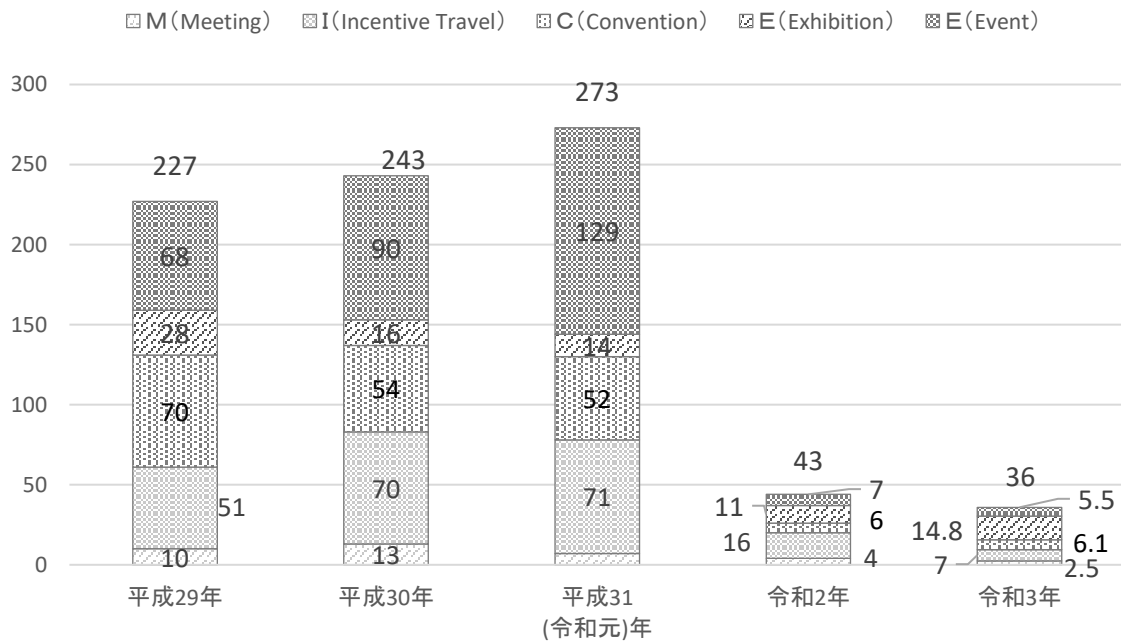
(単位:億円)

区分	平成29年	平成30年	平成31 (令和元年)	令和2年	令和3年		
					金額	前年比	
M(Meeting)	10	13	7	3.5	2.5	▲1.0	
I(Incentive Travel)	51	70	71	15.9	7.0	▲8.9	
C(Convention, Conference)	70	54	52	6.3	6.1	▲0.2	
E(Event, Exhibition)	96	106	143	17.2	20.4	3.2	
内訳	Ex(展示会等)	28	16	14	10.6	14.8	4.2
	Ev(イベント)	68	90	129	6.6	5.5	▲1.1
計	227	243	273	43	36	▲7	

※それぞれの合計値については小数点以下四捨五入により計算。

図表73. 経済効果(直接効果)の推移(平成29年～令和3年)

(単位:億円)



## 1-7-2. 経済波及効果（間接効果）

経済波及効果（間接効果）の算出については、本調査で得られた基礎データを基に、1催事当たりの会期日数、参加者数等のモデルを作成し、観光庁の「MICEの経済波及効果測定のための地域別簡易測定モデル」（観光庁モデル）を用いて1催事あたり経済波及効果（間接効果）を算出した後、令和3年のMICE開催件数を乗ずることで算出した。

算出の結果、令和3年の経済波及効果（間接効果）は約43億円となり、令和2年の53億円から10億円の減少となった。

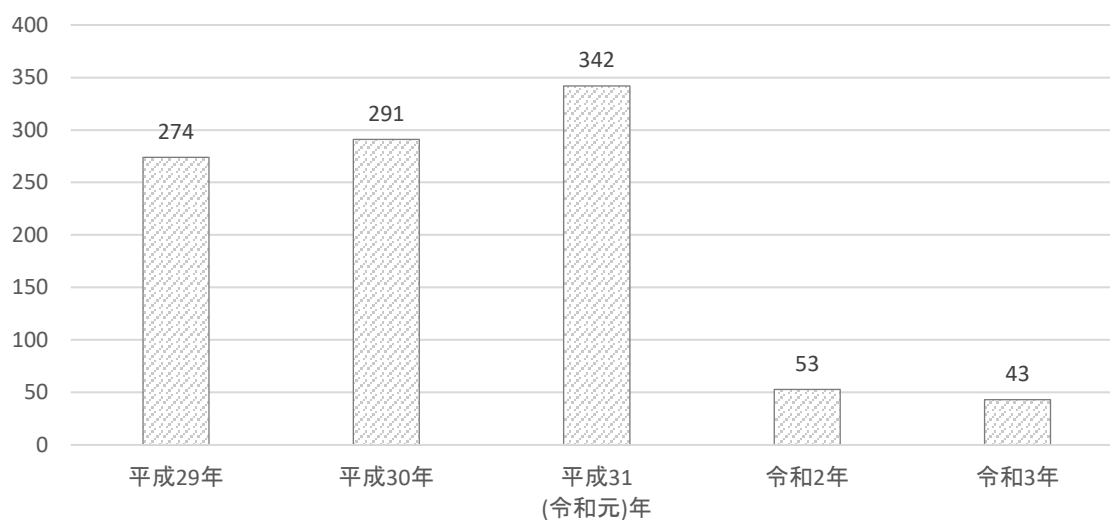
### 【計算式】

$$\boxed{\text{経済波及効果 (間接効果)}} = \boxed{\text{1催事当たりの経済波及効果 (間接効果)}} \times \boxed{\text{MICE開催件数 (令和3年)}}$$

出典:沖縄県(平成28(2016)年)「沖縄MICE振興戦略」より

図表74. 経済効果(間接効果)の推移(平成29年～令和3年)

(単位:億円)



## 1-8. 経済損失(直接効果)について

本項では、新型コロナウイルス感染症 MICE 影響調査により得られた中止件数をもとに、同感染症の影響がなければ得られていたであろう経済効果(直接効果)、つまり経済損失を算出している。算出にあたっては、前項の「経済効果」と同様に沖縄 MICE 振興戦略で示している以下の方法を用いた。

中止件数全体では 470 件あるが、ここでは「参加予定者数の把握が可能であった」455 件の催事を基に計算を行っている。算出結果は約 103 億円となっているが、本調査過程において「中止案件の把握が難しい」「下半期は予約自体がない」という回答が一定数寄せられていたこともあり、この数値については把握できた範囲で算出された最低限の額となっている。なお間接効果については、実際に開催されていない案件における数値の算出にあたって不確定な要素が多いため割愛することとした。

### 【計算式】

$$\text{経済効果(直接効果)} = \left( \begin{array}{c} \text{参加者} \\ \text{原単位} \\ \text{(M/I/C/E)} \end{array} \times \begin{array}{c} \text{参加者} \\ \text{人数} \\ \text{(M/I/C/E)} \end{array} \right) + \left( \begin{array}{c} \text{主催者} \\ \text{原単位} \\ \text{(M/I/C/E)} \end{array} \times \begin{array}{c} \text{参加者} \\ \text{人数} \\ \text{(M/I/C/E)} \end{array} \right) + \left( \begin{array}{c} \text{出展者} \\ \text{原単位} \\ \text{(Exのみ)} \end{array} \times \begin{array}{c} \text{出展者数} \\ \text{(Exのみ)} \end{array} \right)$$

出典:沖縄県(平成 28(2016)年)「沖縄 MICE 振興戦略」より

図表75. 本調査において経済損失算出に用いた各種数値

区分	中止件数	参加者予定者数(人)				参加者原単位(円)			主催者原単位(円)	一人当たりの直接経済効果(円)		
		県内	県外	海外	計	県内	県外	海外		県内	県外	海外
						(a)			(b)	(a)+(b)		
M	41	143	2,560	0	2,703	3,829	31,294	56,549	39,051	42,880	70,346	95,601
I	281	211	37,733	120	38,064	3,829	27,803	79,741	60,072	63,901	87,876	139,814
C	117	5,447	26,411	3,266	35,124	12,094	68,661	74,302	50,282	62,377	118,944	124,585
E	16	93,023	29,126	170	122,319	4,706	35,252	39,057	11,699	16,405	46,950	50,757
内訳	Ex	7	14,836	2,808	17,644	7,854	72,781	100,618	21,122	28,976	93,903	121,741
	Ev	9	78,187	26,318	104,675	4,328	29,482	36,294	10,525	14,854	40,007	46,820
計	455	98,824	95,830	3,556	198,210							

※Ex: Exhibition (展示会・商談会)、Ev: Event (イベント)

図表76. 令和3年 催事別経済損失(直接効果)

(単位:億円)

区分	参加者消費額	主催者消費額	出展者支出額	直接効果
	(a)	(b)	(c)	(a)+(b)+(c)
M(Meeting)	0.8	1.1	-	1.9
I(Incentive Travel)	10.6	22.9	-	33.5
C(Convention, Conference)	21.2	17.7	-	38.9
E(Event, Exhibition)	14.4	14.7	-	29.1
内訳	Ex(展示会等)	3.2	3.7	6.9
	Ev(イベント)	11.2	11.0	22.2
計	47	56.4	-	103

※それぞれの合計値については小数点以下四捨五入により計算。



## 2-2. ガイドライン

### 「沖縄県 MICE 開催実態調査（令和3年版）」ガイドライン

#### 「MICE」の定義

「MICE」とは、企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・招待・研修旅行（Incentive Travel）、国際機関・団体や学会等が行う国内・国際会議（Convention）、展示会・見本市（Exhibition）、イベント等（Event）に該当する催事のことを指します。

#### 調査対象となる「MICE」

本調査業務の対象となる「MICE」催事は、下記催事区分の定義に該当する催事のうち、**沖縄県外または日本国外からの参加者数が合計10名以上の催事**とします。

#### 催事区分（M・I・C・E）について

本調査業務における「MICE」の催事区分は、以下の通りとします。

#### ■（Meeting/企業・団体会議）

企業・団体等（公共機関・学術団体等を除く）が主催する会議、研修、セミナー等

企業・団体会議は、企業・団体等（公共機関・学術団体等を除く）が「ビジネスの促進」や「アイデアの共有」等を目的として開催する「会議」、「研修」、「式典」、「セミナー」等を指すものとし、具体的には以下のような形態の催事をいいます。

- (1) 沖縄県外または日本国外拠点の社員を含む社内会議、顧客（沖縄県外・日本国外を含む）との会議・商談、サプライヤーとの会議等
- (2) 複数の顧客を対象とした新商品セミナー・業界セミナー・ビジネスカンファレンス等
- (3) 自社社員・販売員・販売代理店やサプライヤー企業を対象とした教育や情報発信目的の研修・セミナー等
- (4) 自社社員・顧客・販売代理店・サプライヤー等を対象とした周年パーティーや記念式典等

※ただし、上記(1)～(4)に相当する場合であっても、「Incentive Travel/インセンティブ旅行」の定義に該当する催事は、I（Incentive Travel/インセンティブ旅行）としてカウントします。

#### ■企業/団体会議主催者の業種選択について■

企業/団体会議主催者の業種については、4ページ目の表1から一番近いと思われるものを選択してください。

#### 【催事区分M（Meeting）の例】

「〇〇株式会社 全国責任者会議」、「〇〇産業連合会 九州沖縄ブロック支部会議」、「〇〇会経営者総会」、「新人経営者向けの〇〇セミナー」、「グループミーティング」等

## I (Incentive Travel/インセンティブ旅行)

### 企業等が主催する報奨旅行、研修旅行、社員慰労旅行、招待旅行等

インセンティブ旅行は、沖縄県外または日本国外を出発地とする団体旅行型催事のうち、「ビジネスの促進」、「アイデアの共有」、「参加対象者の過去の実績に対する報奨の提供」を目的とするものを指します。具体的には以下のような形態の催事をいいます。

- (1) 自社社員・販売員・販売代理店を対象とした報奨・研修・慰労目的の旅行
- (2) 社員・販売員全員や部署全員を対象としたものではなく、業績に応じて一定の条件をクリアした社員を選抜して開催する催事
- (3) 催事の中に、経営方針・新商品等についての会議や研修等の要素が入るものもあるが、主目的が「参加社員のモチベーション向上」、「好業績に対する報奨」である催事

※したがって、上記の要件に該当しない教育旅行(修学旅行、ゼミ旅行等)、募集型企画旅行、ファンクラブ向けツアー等は除きます。

### ■インセンティブ旅行主催企業の業種選択について■

インセンティブ旅行主催企業の業種については、4ページ目の表1から一番近いと思われるものを選択してください。

#### 【催事区分I (Incentive Travel) の例】

「〇〇株式会社 全社研修旅行」、「〇〇販売店グループ 成績優秀者表彰旅行」、「〇〇代理店 沖縄特別セミナーツアー」等

## C (Convention, Conference/学会・大会)

### 協会・学会・国内(国際)機関・団体等が主催する国際会議、学術会議、学会、研究会・報告会・大会、講習会、セミナー、シンポジウム、ワークショップ等

学会・大会は、公共機関が主催する公益性の高いテーマを討議する国内・国際会議、大会等、または学術団体等が主催する学術的、技術的な議論・研究発表を目的とした学術会議、研究会、報告会等を指します。具体的には以下の様な形態の催事をいいます。

- (1) 官公庁等(地方自治体等を含む)が主催する政府間協議、全国会議、エリア会議等
- (2) 国際・国内の公共機関・団体等が主催する加盟国・団体の全体会議、調整会議等
- (3) 学術団体、研究機関等が主催する学術集会や研究発表会、ワークショップ、シンポジウム等
- (4) 業界団体等が主催する年次総会やテーマごとの発表等。ただし、M(Meeting/企業・団体会議)に該当するものを除く。

### ■開催された学会・大会等の分野選択について■

学会・大会の分野については、4ページ目の表2から一番近いと思われるものを選択してください。

**【催事区分C (Convention, Conference) の例】**

「日本〇〇学会 学術集会」、「〇〇協会 第〇〇回総会」、「〇〇に関する国際会議」等

**E (Exhibition, Event/展示会・見本市、イベント)**

**展示会、見本市、商談会、イベント**

展示会・見本市・商談会とは、国や地域を超えた「モノ」、「サービス」、「情報」の売買や商談を目的とし、開催する、商品やサービス等の展示・宣伝・デモンストレーションを行う催事をいいます。また、本調査におけるイベントとは、商品やサービスの販売促進、プロモーションの手段として開催する催事をいいます。

※ただし、Ex (Exhibition) の催事区分に相当する展示会であっても、「フリーマーケット」、「路上販売会」、「美術・博物展」等については本調査の対象外とします。また、Ev (Event) の催事区分に相当するイベント等であっても、「入学式・入社式」、「卒業式・修了式」、「各種試験 (採用試験、資格試験)」、「スポーツイベント」等については本調査の対象外とします。

**■展示会・見本市、イベント等の催事分野について■**

展示会・見本市、イベント等の催事分野については、4ページ目の表1から一番近いと思われるものを選択してください。

**【催事区分E (Exhibition, Event) の例】**

「国際〇〇見本市」、「〇〇業界商談会」、「〇〇物産展」、「〇〇ミュージックフェスタ」、「〇〇映画祭」、「合同企業就職説明会」、「〇〇ライブ」等



【表1】 M (Meeting)、I (Incentive Travel)、E (Exhibition, Event) 産業分類一覧  
 (日本標準産業分類に基づく)

(A)	農業、林業
(B)	漁業
(C)	鉱業、採石業、砂利採取業
(D)	建設業
(E)	製造業
(F)	電気・ガス・熱供給・水道業
(G)	情報通信業
(H)	運輸業、郵便業
(I)	卸売業、小売業
(J)	金融業、保険業
(K)	不動産業、物品賃貸業
(L)	学術研究、専門・技術サービス業
(M)	宿泊業、飲食サービス業
(N)	生活関連サービス業、娯楽業
(O)	教育、学習支援業
(P)	医療、福祉
(Q)	複合サービス事業
(R)	サービス業（他に分類されないもの）
(S)	公務（他に分類されるものを除く）

【表2】 C (Convention, Conference) 会議分野一覧 (JNTO 国際会議統計に基づく)

(1)	政治、経済、法律
(2)	科学、技術、自然
(3)	医学
(4)	産業
(5)	芸術、文化、教育
(6)	社会
(7)	運輸、観光
(8)	社交、親善
(9)	宗教
(10)	スポーツ（講演会やセミナーの開催または併催の場合のみ）
(11)	その他

## 沖縄県 MJCE 開催実態調査 ご回答用ガイドライン

沖縄県で開催される『県外・海外から10名以上の参加者がいる催事』について、以下を基準にご回答ください。

※裏面もご覧ください。

催事種別	内容	主催	備考
Meeting (企業・団体会議)	会議、研修、セミナー	企業、団体等 (公共・学術団体等を除く)	<b>I</b> (インセンティブ旅行)の定義にも該当する場合は <b>I</b> に分類する
Incentive Travel (インセンティブ旅行)	報奨旅行、研修旅行、社員慰労旅行、招待旅行等	企業等	教育旅行、募集型企画旅行、フアングラブ向けツアーは対象外
Convention / Conference (学会・大会)	国際会議、学術会議、学会、研究会・報告会、大会、講習会、セミナー、シンポジウム、ワークショップ等	団体、協会、学会、国際機関等 (公共・学術系)	<b>M</b> (Meeting/企業・団体会議) に該当するものを除く
Exhibition / Event (展示会・見本市、イベント)	展示会、見本市、商談会、イベント	団体、協同組合、企業、行政機関、実行委員会等	フリーマーケット、美術・博物館、入学・卒業式、各種試験、スポーツイベントは対象外
	例) 「国際○○見本市」、「○○業界商談会」、「○○物産展」、「○○物産展」、「○○ミュージックフェスタ」、「○○映画祭」、「○○ライブ」等		

**表1 主催企業 産業分類**

A)農業、林業 B)漁業 C)鉱業、採石業、砂利採取業 D)建設業 E)製造業 F)電気・ガス・熱供給・水道業 G)情報通信業 H)運輸業、郵便業 I)卸売業、小売業 J)金融業、保険業	K)不動産業、物品賃貸業 L)学術研究、専門・技術サービス業 M)宿泊業、飲食サービス業 N)生活関連サービス業、娯楽業 O)教育、学習支援業 P)医療、福祉 Q)複合サービス事業 R)サービス業 (他に分類されないもの) S)公務 (他に分類されるものを除く)
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**表2 会議分野**

1)政治・経済・法律 2)科学・技術・自然 3)医学 4)産業 5)芸術・文化・教育 6)社会 7)運輸・観光 8)社交・新聞 9)宗教 10)スポーツ ※セミナーや講演会などがある場合 11) その他
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※おもて面もご覧ください。

調査の目的	成長著しいアジア地域や国内の MICE 開催需要を沖縄に取り込み、本県のさらなる MICE 振興を図るため、調査を実施します。
調査票ダウンロード	本調査票は、沖縄県ウェブサイト(下記 URL)よりダウンロードすることが可能です。 [沖縄県 MICE 開催実態調査 URL] <a href="http://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/mice/">http://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/mice/*****</a>
調査対象となる催事	おもて面記載の「M/T/C/E」に該当する催事のうち、 <b>県外または海外から 10 名以上の参加者がいる催事を調査対象</b> とします。
催事名称	分からない場合は、表 2 会議分野より選択ください。
主催者	分からない場合は、表 1 産業分野より選択ください。
参加者	参加者は、出身地問わず <b>参加時の在住場所</b> により振り分けます。(例：県内在住は県内、県外在住は県外、海外在住(邦人を含む)は海外。)
参加国	<b>参加国数には日本を含まないでください。</b> 例) 日中韓会議の場合、参加国数は 2 か国
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 主催者や催事名は可能な限りご記入ください。<b>ご回答いただいた個別の催事名・団体情報は一切、公表いたしません。</b></li> <li>● 記入スペースが足りない場合は、本調査票の様式をシートごとコピーしてご利用ください。</li> <li>● FAXにてご提出される際は、お手数ですが全ての様式に、企業/団体名、アンケート回答者名をご記入ください。</li> </ul>